

# 新約聖書ものがたり





---

しん やく せい しょ

# 新約聖書ものがたり

発行

末日聖徒イエス・キリスト教会  
ユタ州ソルトレーク・シティー

表紙——「降誕」ポール・マン画。©IRI  
裏表紙——「墓の前のマリヤ」ポール・マン画。©IRI  
©1981年、2009年 Intellectual Reserve, Inc.  
版権所有  
第2版  
2008年改定  
印刷：日本  
英語版承認：2008年6月



もくじ  
**目次**

ショウ	タイトル	ページ
	はじめに——天のお父さまの計画	1
1	エリサベツとザカリヤ	6
2	マリヤとてんし	8
3	バプテスマのヨハネのたんじょう	10
4	ヨセフとてんし	12
5	イエス・キリストのこうたん	13
6	みやまいり	16
7	はかせたち	18
8	わるいヘロデ王	19
9	少年イエス	21
10	イエス、バプテスマをおうけになる	26
11	イエス、ゆうわくをおうけになる	30
12	カナでのけっこんしき	32
13	イエスと天のお父さまのみや	34
14	ニコデモ	36
15	いどのそばに来た女	38
16	やくにんのむすこ	40
17	はらを立てたナザレの人びと	42
18	イエス、しとをおえらびになる	44
19	山上のすいくん	48
20	イエス、いのりについてお教えになる	51
21	イエス、風となみにおめいじになる	53
22	あくれいにつかれた男	54
23	歩けなかつた男	57
24	ヤイロのむすめ、しからよみがえる	59
25	イエスのころもにさわった女	62
26	イエス、女をおゆるしになる	64
27	地上でお父さまのわざを行われる	67
28	イエス、5,000人に食べものをおあたえになる	69
29	イエス、水の上をお歩きになる	71

---

30	いのちのパン	73
31	イエス、 みみ 耳がふじゅうな人をいやされる ひと	75
32	ペテロ、キリストについてあかしする	76
33	えいこうをうけてみすがたをあらわされる——しゅのへんぼう	78
34	あくれいにつかれた少年 しようねん	80
35	よいサマリヤ人 びと	82
36	イエス、3つのたとえをお話しになる はなし いなくなったひつじ なくなつたぎんか いなくなったむすこ	85 86 88 90
37	おもいひふびょうにかかった10人の人 ひと にん	95
38	パリサイ人としゅぜい人 ひと にん	97
39	イエス、もうもくの人をおいやしになる ひと	100
40	よいひつじかい	102
41	イエス、子どもたちをしゅくふくされる こども	104
42	かね 金もちの青年 せいねん	105
43	イエス、ラザロを生きかえらせる い	107
44	すくいぬし、エルサレムに上られる のぼ	110
45	やもめのレプタ	113
46	さいりん	115
47	にん 10人のおとめ	118
48	タラントのたとえ	121
49	さいしょのせいさんしき	124
50	さいごのばんさんで話されたそのほかの教え はなし おしゃべり	127
51	イエス、ゲツセマネのそこでくるしまれる	129
52	イエスのしれん	133
53	イエス、十字かにおかかりになる じゅうじ	136
54	イエス、よみがえられる	139
55	しとたち、教会をみちびく きょうかい	145
56	ペテロ、男をいやす おとこ	148
57	わるい人びと、ステパンをころす ひと	150
58	シモンとしんけん	152
59	サウロ、イエスについて知る し	154
60	ペテロ、タビタを生きかえらせる い	156
61	ろうに入れられたパウロとシラス い	158
62	パウロ、せいれいにしたがう	161
63	パウロ、でんどうをおえる	162

---

新約聖書のあとじだい	167
新約聖書ものがたりに出てくることば	171
新約聖書ものがたりに出てくるばしょ	176
ちず1——新約聖書のじだいのせいち	176
ちず2——イエスさまのじだいのエルサレム	177
ほかのじゅうようなばしょ	178
新約聖書ものがたりに出てくるじんぶつ	179
せいいちのしゃしん	180
新約聖書のねんぴょう	184

# しゅつ てん 出典

---

この本の内容の一部は、聖文以外の、次の文献から取られています。

末日聖徒版の欽定訳聖書に記載されている“Bible Dictionary”（1979年）

ジェームズ・E・タルメージ『キリスト・イエス』第3版

*Teachings of the Prophet Joseph Smith* ジョセフ・フィールディング・スミス選（1976年）

## この本を読むみなさんへ

新約聖書ものがたりは、 みんなのため とくべつに 書かれ たものです。この本に のっている お話は、 しんせいな しょ もつから とられています。お話を 読むとき、 むかし ほん とうに 生きていた 人びとに ついての できごとで あることを、 おぼえておいて ください。

お話を よくおぼえるまで なんども 読みましょう。また、 聖書 から それらの お話を 読んでも よいでしょう。ほとんどの 絵 の下には、 聖書や ほかの せいてんの中で そのお話を どこに 書かれているか 分かるように さんしょうせいくが あります。 せいてんから お話を さがすときは、 お父さんや、 お母さん、 先生、 友だちに 手つだってもらうと よいでしょう。

ことばの いみが 分からないときは、 この本の 後ろにある「新約聖書ものがたりに出てくることば」を 見ましょう。ばしょに ついて 知りたいときは、「新約聖書ものがたりに出てくるばしょ」を しらべてください。じんぶつについて 知りたいときは、「新約聖書ものがたりに出てくるじんぶつ」を しらべてください。新約聖書ものがたりには、 せいちの さまざま ばしょ の しゃしんや 新約聖書の ねんぴょうも のっています。

## 両親と教師の皆さんへ

本書は、 皆さんが聖文を教えるうえで役立つものです。「新約聖書ものがたりに出てくることば」や「新約聖書ものがたりに出てくるばしょ」「新約聖書ものがたりに出てくるじんぶつ」の 項を活用して、 子供たちが本書の言葉、 人物、 場所に慣れ親しむことができるようにしてください。本書にはほかにも、 地図、 写真、 年表が記載されています。

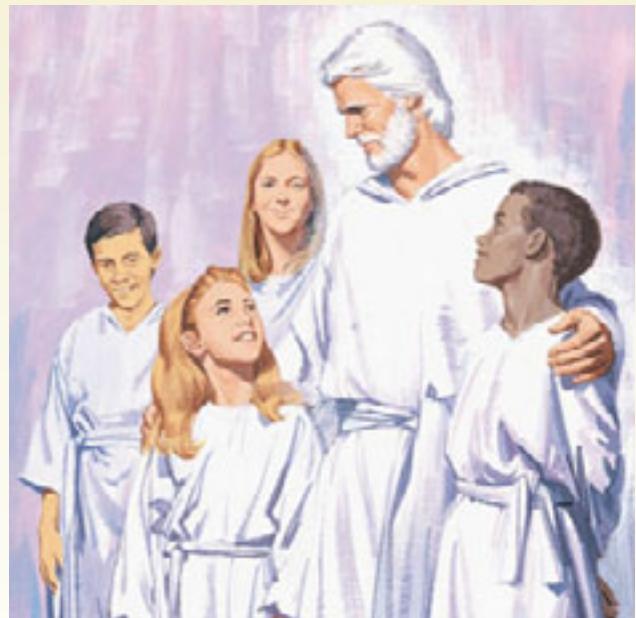
教えるとき、 聖書についての皆さんの証を述べてください。そして、 皆さんができる子供たちに、 祈りの気持ちで聖文や 救い主イエス・キリストに対する証を求めるように勧めてください。聖書そのものから子供たちの好きな物語を読み聞かせる ことで、 皆さんができる子供たちの理解はさらに深まるこ とでしょう。





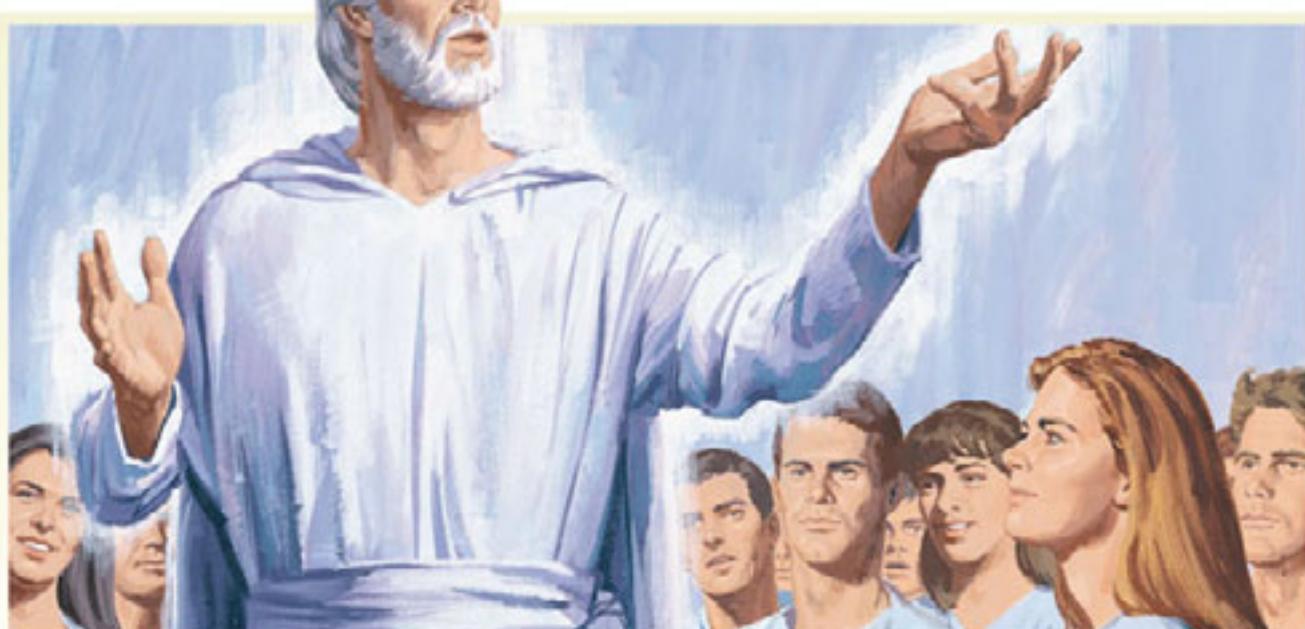
はじめに

# てんとうけいかく 天のお父さまの計画



わたくしたちはちきゅうに生まれてくる前、天のお父さまといっしょに天にすんでいました。わたしたちはお父さまのれいの子どもで、れいの体がありました。わたしたちはお父さまをあいして、お父さまもわたしたちをあいしてくださっていました。

『預言者ジョセフ・スミスの教え』354



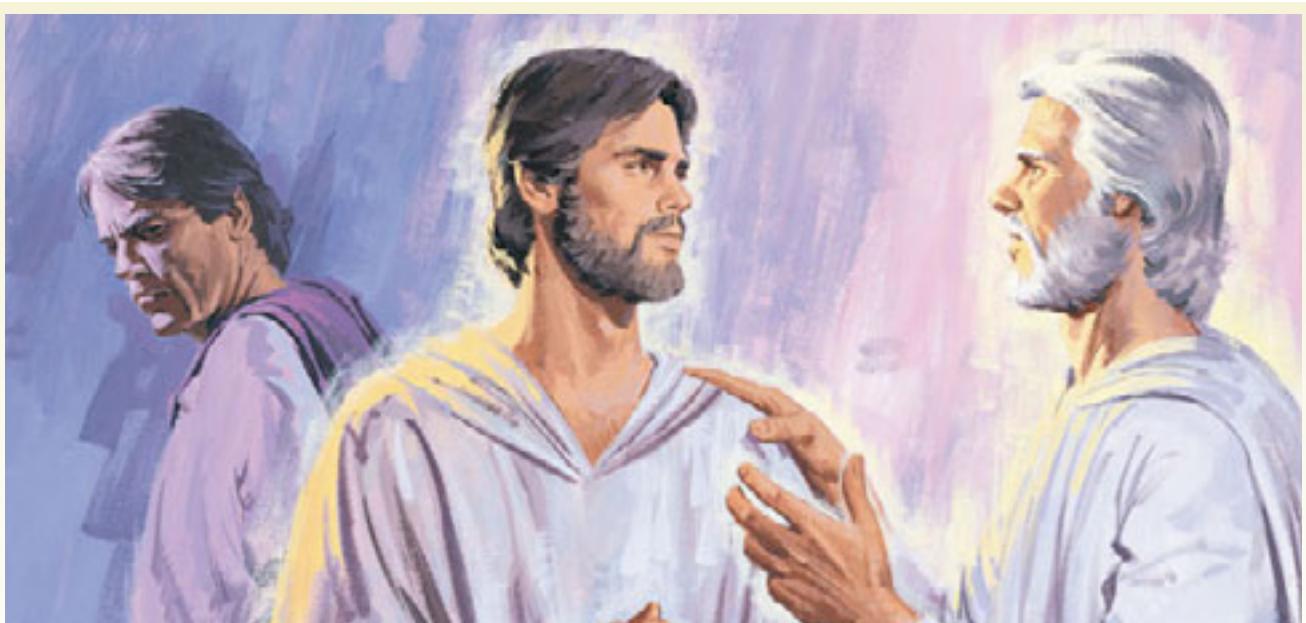
天のお父さまは、わたしたちのためによういされた計画について教えてくださいました。この計画はすくいの計画とよばれています。すくいの計画にしたがう人は、天のお父さまのようになることができます。この計画は、わたしたちがちきゅうに来て、こつにくの体をえるというものでした。神さまのいましめにしたがうかどうか、ためされるのです。

アブラハム3:24-25



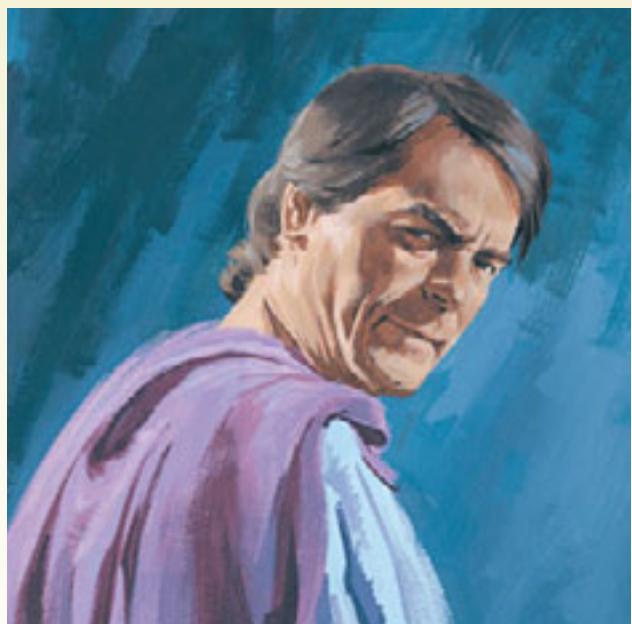
すくいの計画は、わたしたちが天のお父さまともういちどいっしょにすむための道をそなえてくれます。わたしたちはいましめをまもらなければなりません。しかし、たすけもひつようになります。つみをとりのぞいてもらい、ふつかつした体をもたなければなりません。けれども、わたしたちはつみを自分でとりされることも、体をふつかつさせることもできません。ですから、かわりにそれをしてくださるすくいぬしがひつようでした。

2ニーファイ2:5-9



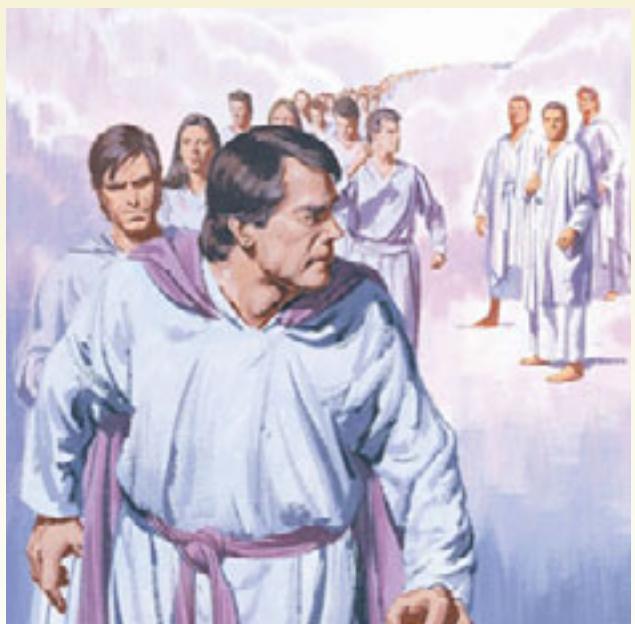
天のお父さまは、すくい主としてイエス・キリストをおえらびになりました。イエスさまは、天のお父さまをあいしておられました。また、わたしたちのこともあいしてくださっていました。イエスさまは、どうすれば正しい人になれるのかをわたしたちにしめすためにちきゅうに来ることをうけ入れられました。そして、すべての人がすくわれる道をよういしてくださり、わたしたちのつみのためにくるしむことをうけ入れられました。また、わたしたちがふつかつできるように、イエスさまはなくなって、ふつかつされるのです。

ニーファイ2:8-9;モーセ4:1-2



サタンも すくいぬしに なることを のぞみました。けれども、サタンは 天のお父さまのことも、わたしたちのことも あいしていませんでした。天のお父さまの 力とえいこうを 自分が 手にするために、天のお父さまの 計画を かえたいと おもったのです。

モーセ4:1-2



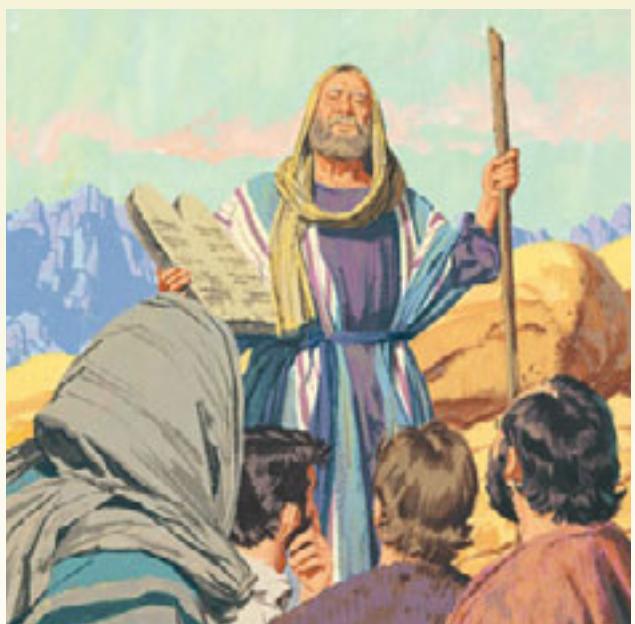
天のお父さまの れいの子どもには、サタンに したがうことを えらんだものも いました。天のお父さまは そのことを ふかく かなしまれました。お父さまは サタンと サタンに したがう れいたちを 天から おい出されました。サタンは あくまです。サタンと サタンに したがった れいたちは、わたしたちに つみを おかさせようとします。

モーセ4:3-4



天のお父さまは、わたしたちのために ちきゅうを つくるように イエスさまに めいじられました。イエスさまは そとのおりに されました。イエスさまは たいよう、月、星をおつくりに なりました。ちきゅうの しょくぶつや どうぶつも つくられました。こうして わたしたちが こつにくの からだ 体を えることのできる ちきゅうが できたのです。

ペブル1:2; モーサヤ3:8; アブラハム4:13



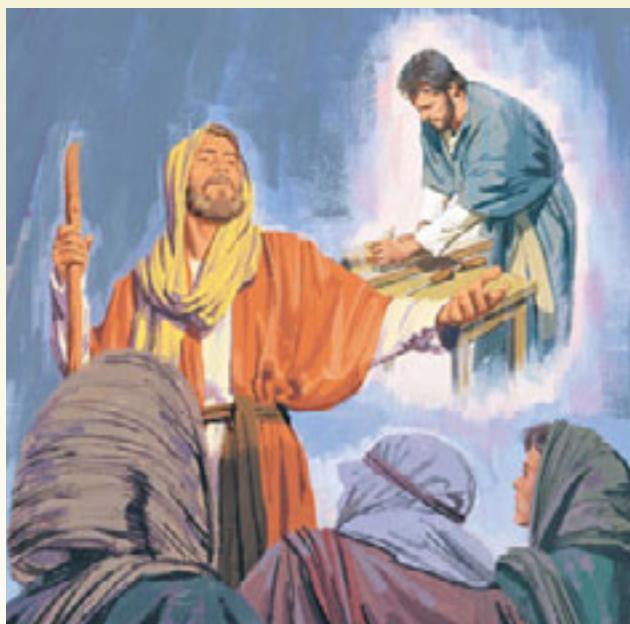
たくさんの人 ひと が ちきゅうに う 生まれてきます。神のいましめを まもることを えらぶ人も いれば、そうでない ひと 人も います。こだいの よげんしゃは、人びとに 天のお父さまの けいかく 計画や イエス・キリストについて 教えました。

2ニーファイ2:19-21, モルモン書ヤコブ7:10-11; モーセ5:13-15



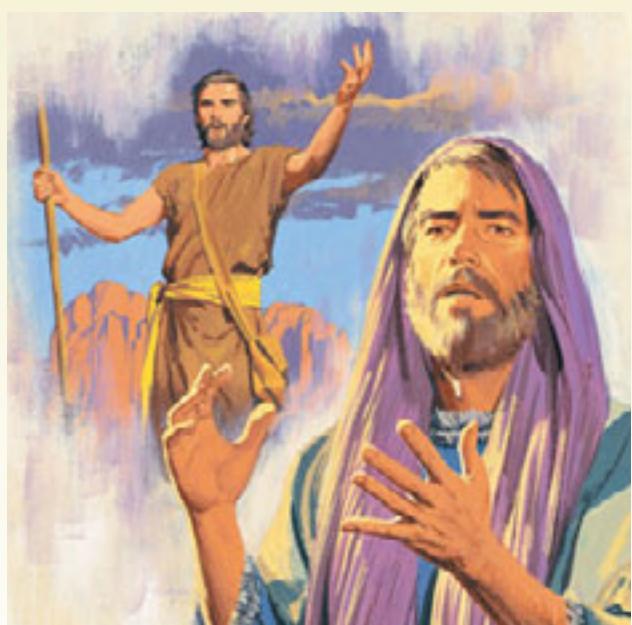
よげんしやは、イエスさまの父親は天のお父さまであれ、母親はマリヤという名前の、とても正しい女人であると言いました。そしてイエスさまはベツレヘムでお生まれになるということでした。

イザヤ7：14；ミカ5：2；1ニーファイ11：18-21；アルマ7：10



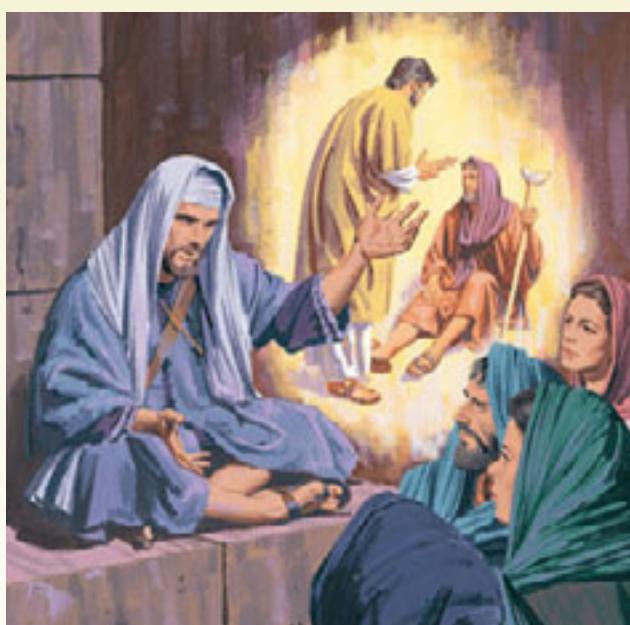
イエスがすくいぬしであられることを多くの人はしんじないだらうと、よげんしやは言いました。イエスさまはほかの人と同じようなすがたをされていて、お金もちではないからです。多くの人はイエスさまにくむのです。

イザヤ53：2-3



よげんしやはバプテスマのヨハネについても話しました。ヨハネはイエスさまが来られる前に現れて、イエスさまのことを人びとにつたえ、イエスさまにバプテスマをほどこすということでした。

イザヤ40：3；マタイ3：1-3；1ニーファイ10：7-10；11：27



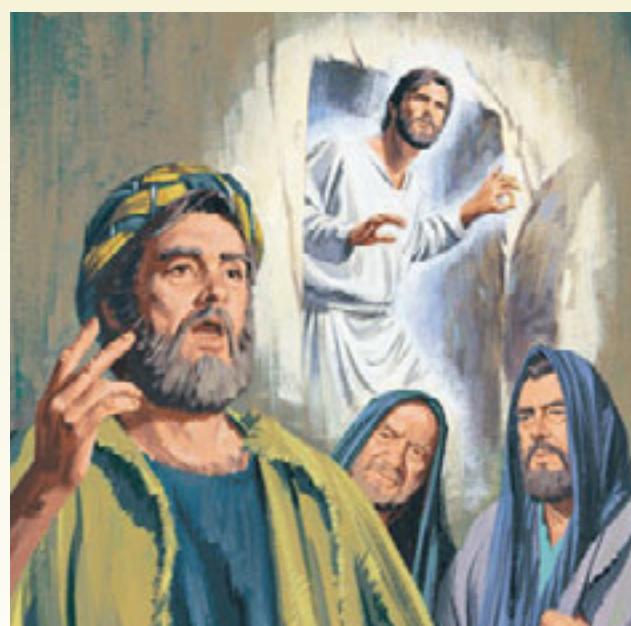
イエスさまはやさしいお方で、たくさんのきせきを行われると、よげんしやは語りました。イエスさまはなくなる前に、すべての人のつみのためにくるしまれます。すべての人がくいあらためるならくるしまなくてもいいようにしてくださいます。

モーザヤ3：5-8；教義と聖約19：16-18



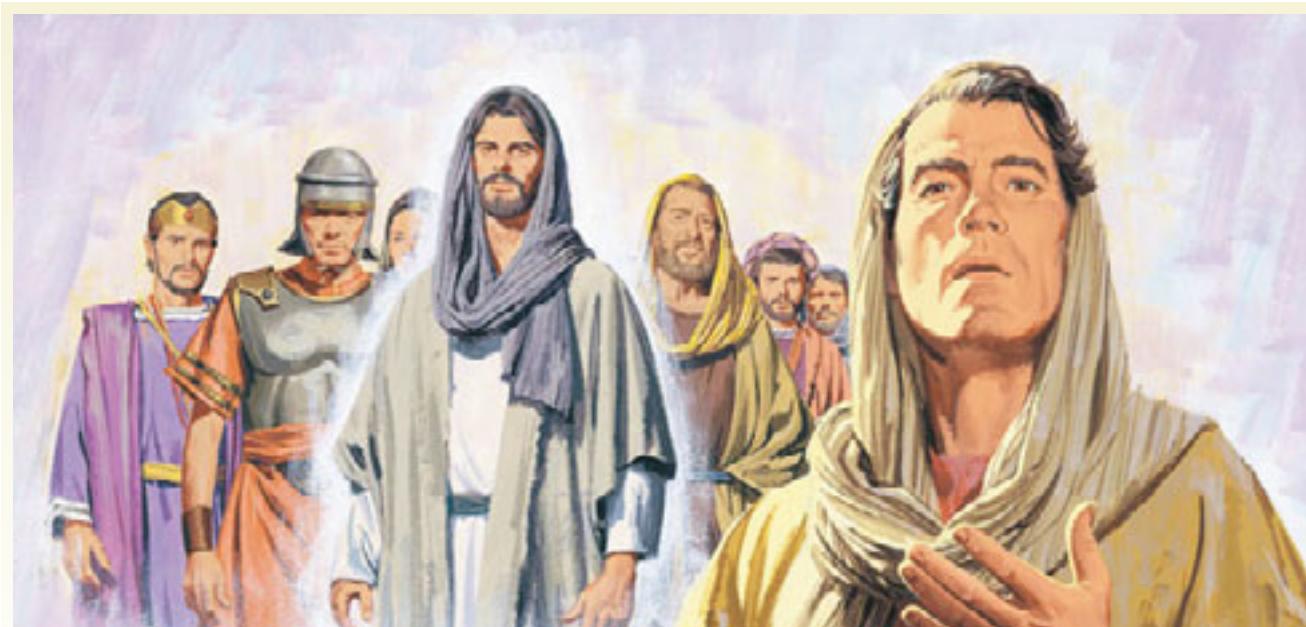
多くの よげんしやは、わたしたちの すくいぬし、イエス・キリストが 十字かに おかげになることを 知っていました。イエスさまは 木でできた 十字かに くぎで うたれて、わたしたちのために ご自分の いのちを さし出されるのです。

ヨハネ3：14-15；モーサヤ15：7-9



3日目、イエスさまは ふっかつされます。イエスさまの れいが 肉体にもどるのです。イエスさまが なくなつて ふっかつされるので、すべての人も ふっかつできるようになります。

イザヤ25：8；1コリント15：22；2ニーファイ2：8；アルマ33：21-22



新約聖書は よげんしやの ことばが しんじつであることを しめしています。新約聖書は イエス・キリストと そのしとたちの 話です。かれらは せいちに すんでいました。せいちに すんでいた 多くの 人びとは ユダヤ人でした。ローマ人が せいちを せんりょうし、ユダヤ人を しほしてきました。



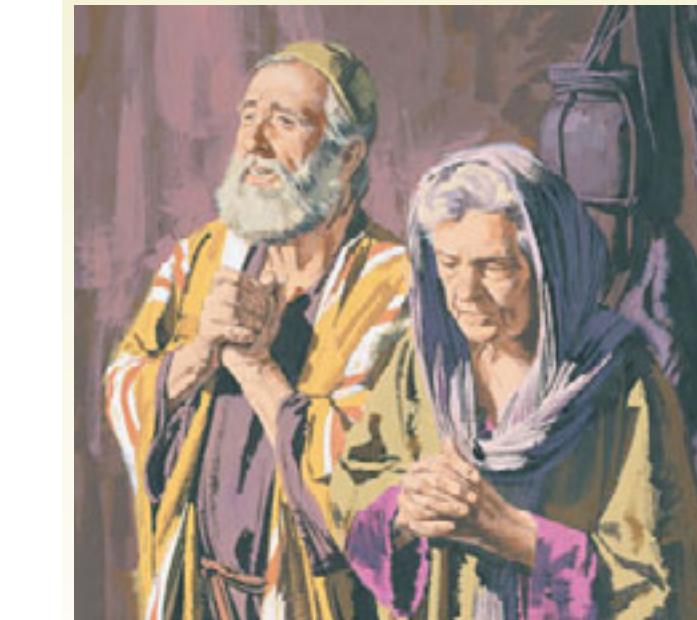
だいじょう

## エリサベツとザカリヤ



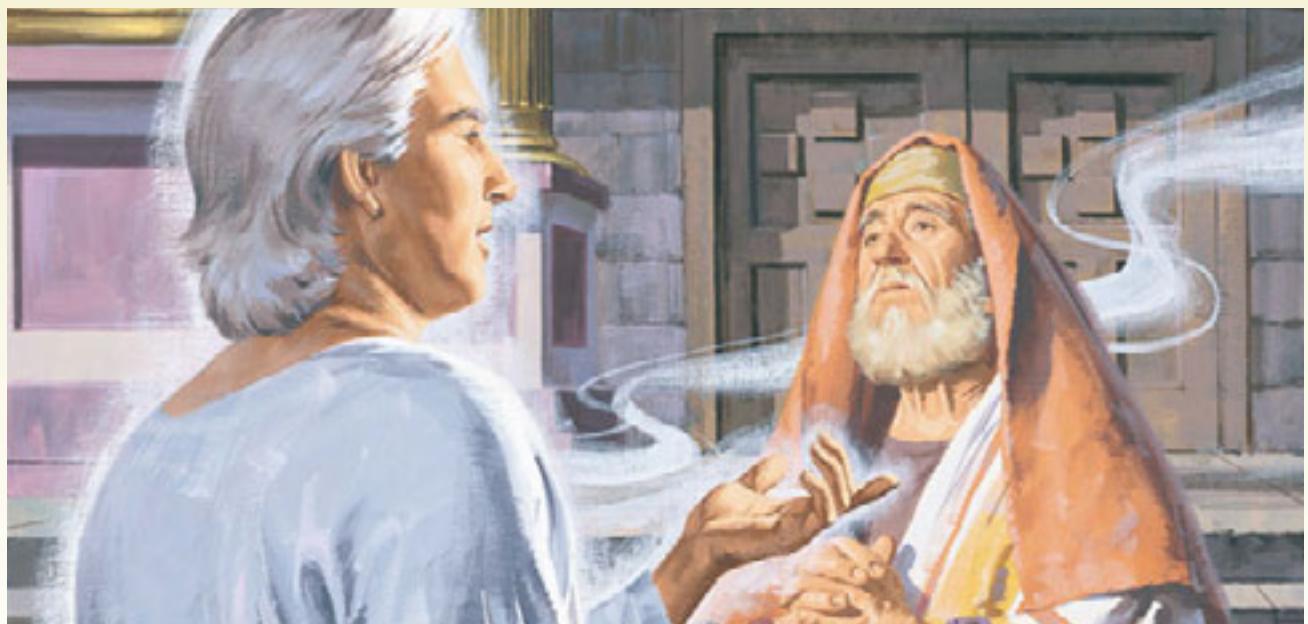
ザカリヤとそのつまのエリサベツはユダヤ人で、エルサレムの近くにすんでいました。二人は神さまのいましめにしたがっていました。長い間、赤ちゃんが生まれるようないのりましたが、年をとっても子どもがいませんでした。

ルカ1:5-7, 13



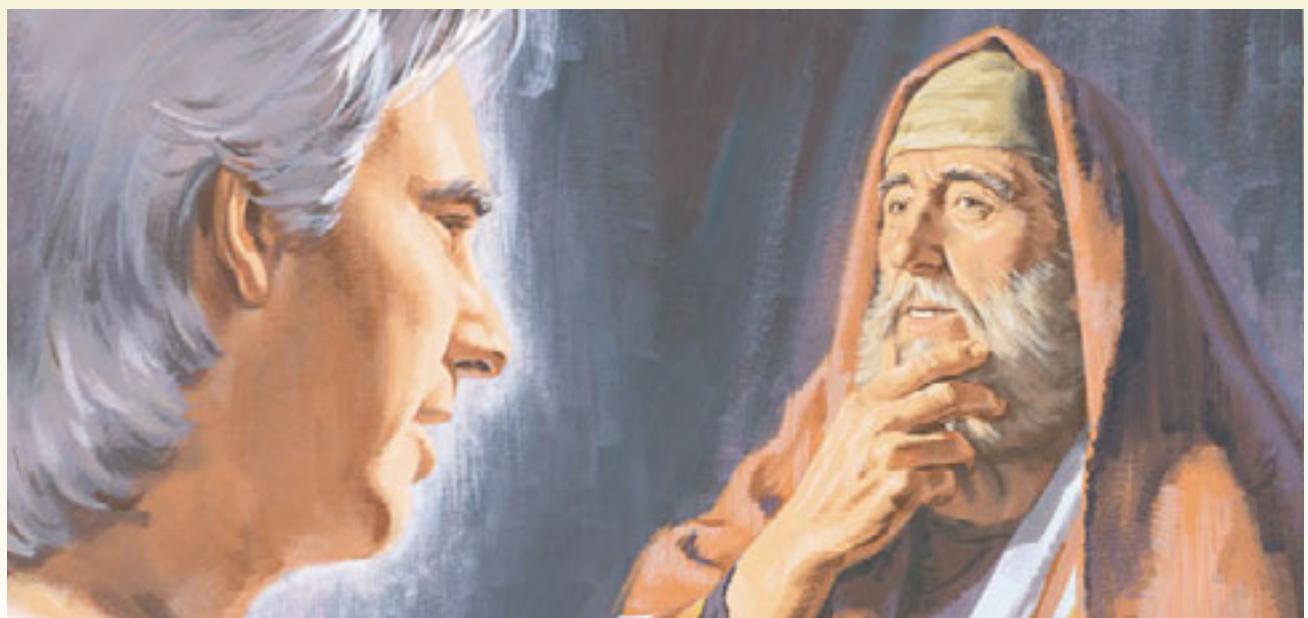
ザカリヤはしんでんではたらくさいでした。ある日、ガブリエルという名の天使があらわれました。神さまが、ザカリヤとエリサベツのいのりにこたえてくださると、ガブリエルは言いました。二人に赤ちゃんが生まれるということでした。またガブリエルは、その赤ちゃんにヨハネと名づけるように言いました。

ルカ1:8-13, 19



ガブリエルは、ヨハネが神さまの正しい預けんしゃになるだろうといました。そして、ヨハネが人びとにイエス・キリストについて教えると、つけました。

ルカ1:15-17



ザカリヤはてんしが言ったことをしんじませんでした。エリサベツは年をとりすぎていて赤ちゃんをうめないとおもったのです。ザカリヤが神さまのやくそくをしんじなかつたので、ヨハネが生まれるまで口がきけなくなると、ガブリエルはいました。

ルカ1:18-20



---

だい2しよう

## マリヤとてんし



マリヤとヨセフはナザレにすんでいました。二人は正しい人でした。二人はあいし合っていて、けっこんすることになっていました。

ルカ1:26-27



ある日、てんしガブリエルがマリヤのところにきました。ガブリエルは、神さまがマリヤをしゅくふくされると言いました。

ルカ1:26, 28-30



ガブリエルは、マリヤが神のおん子の母親になることをつたえました。また、おん子はイエスとよばれ、すべての正しい人の王となると言いました。

ルカ1:31-33



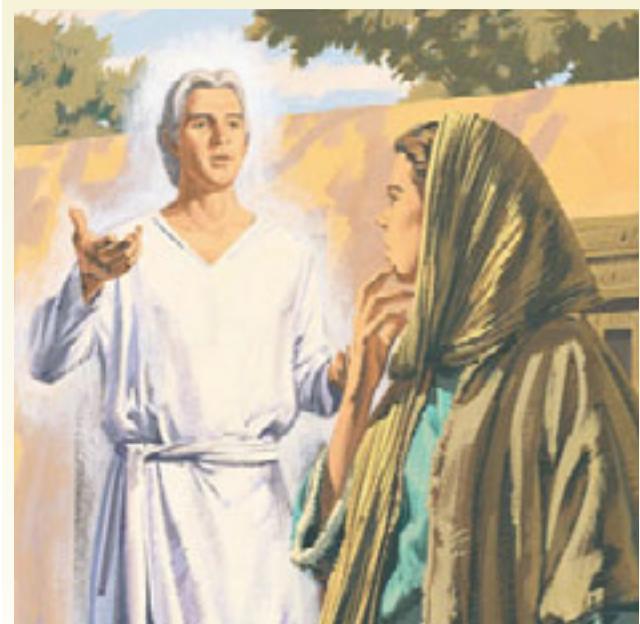
マリヤは、天のお父さまにしたがって、イエスさまの母親になります、と言いました。

ルカ1:34-35, 38; ニーファイ11:18-21



だい3じょう

## バプテスマのヨハネの たんじょう



てんし ガブリエルは マリヤに、 エリサベツも 男の赤ちゃんを うむと、 教えました。 マリヤと エリサベツは しんせきどうでした。

ルカ1:36-37



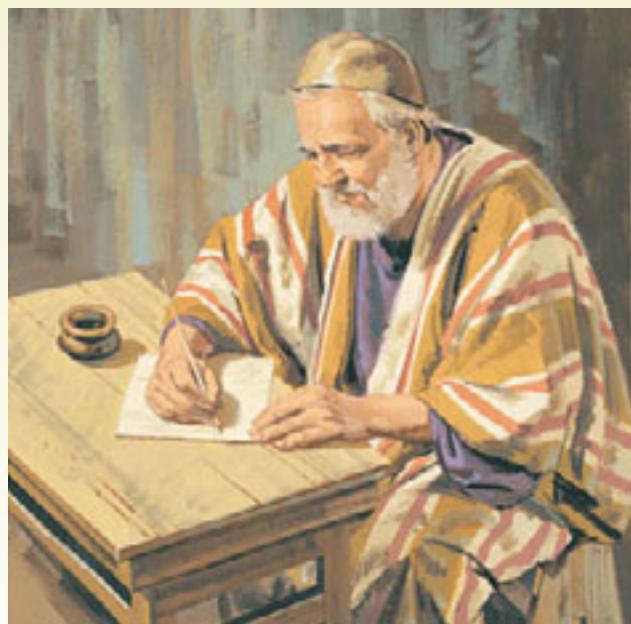
マリヤは エリサベツを たずねました。 せいれいは エリサベツに、 マリヤが イエス・キリストの 母親になることを お教えになりました。 マリヤと エリサベツは、 神さまが 二人を しゅくふくして くださったことを かんしゃしました。 マリヤは エリサベツの ところに 3か月ほど いました。 それから マリヤは ナザレに 帰りました。

ルカ1:39-56



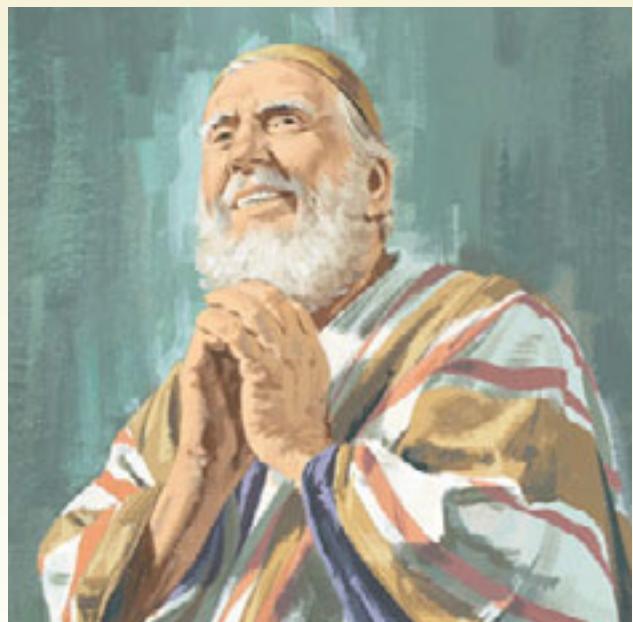
エリサベツの むすこが 生まれました。エリサベツの 友だ  
ちや かぞくは よろびました。みんな、 赤ちゃんに 父親と  
同じ ザカリヤという 名前を つけた方がいいと おもいました。  
しかし エリサベツは その子の名前は ヨハネに しなくてはならないと 言いました。みんなは おどろきました。

ルカ1:57-61



ひと  
人びとは ザカリヤに、 赤ちゃんを 何と 名づけるべきか 聞  
きました。ザカリヤは まだ口が きけなかったので、「その  
名はヨハネ」と書いて 見せました。

ルカ1:62-63



すると、 ザカリヤは また 口が きけるように なりました。  
ザカリヤは せいれいに みたされました。そして 人びとに  
もうすぐ イエス・キリストが お生まれになること、 イ  
エスさまが 来られるまで ヨハネが 人びとを そなえること  
を 話しました。

ルカ1:64, 67-69, 76



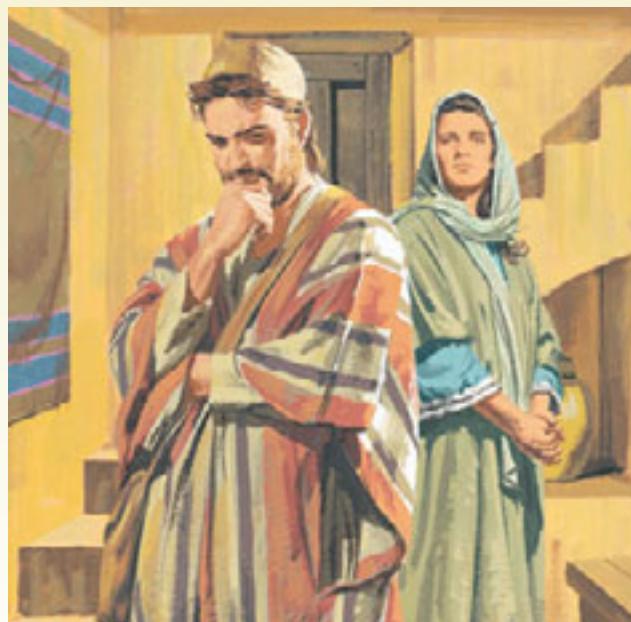
ヨハネは おお 大きくなり、 おお 大いなる よげんしやに なりました。  
ヨハネは 人びとに、 イエス・キリストについて 教えました。

ルカ1:67, 76-80



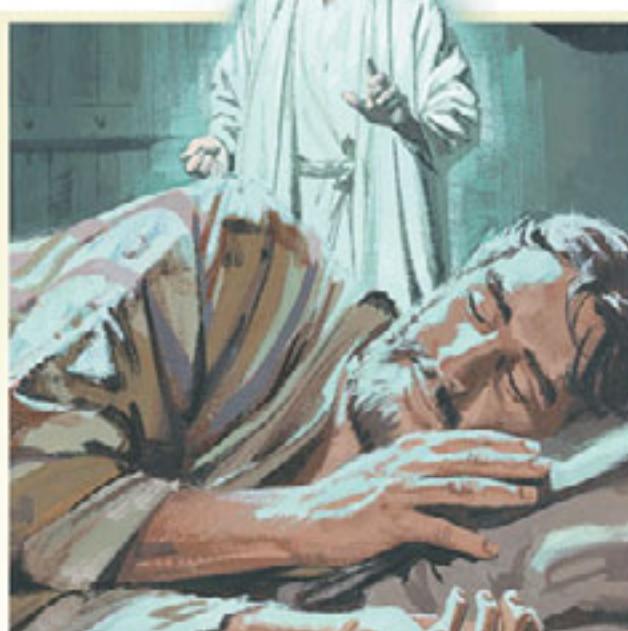
だい4じょう

## ヨセフとてんし



ヨセフは正しく、心のやさしいひとでした。ヨセフとマリヤはけっこんすることになりました。マリヤに赤ちゃんが生まれることを知ったヨセフは、どうしたらよいか分かりませんでした。その赤ちゃんが自分の子どもではないので、マリヤとのけっこんをやめようとおもいました。

マタイ1:18-19



ある夜、てんしがゆめの中でヨセフにあらわれて、マリヤの赤ちゃんは神のおん子であることをつたえました。てんしはヨセフに、マリヤとけっこんして赤ちゃんをイエスと名づけるように言いました。イエスはよのすくいぬしになられるということでした。

マタイ1:20-21



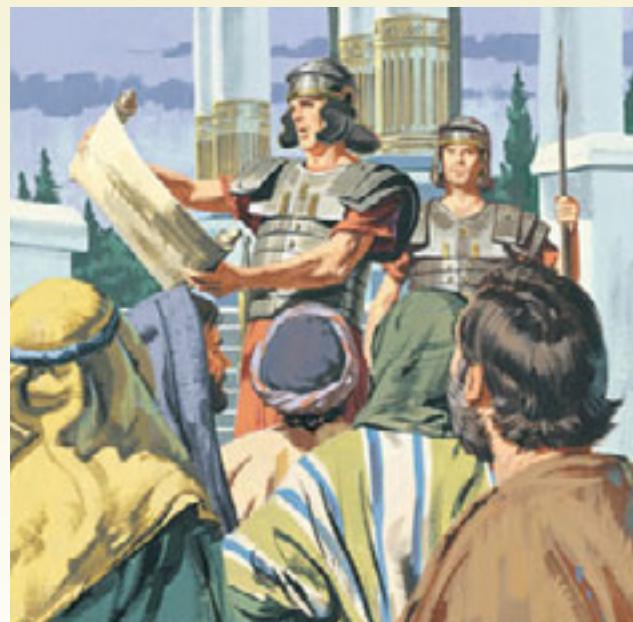
ヨセフはてんしに言われたとおりマリヤとけっこんしました。

マタイ1:24-25



だい5しよう

## イエス・キリストの こうたん



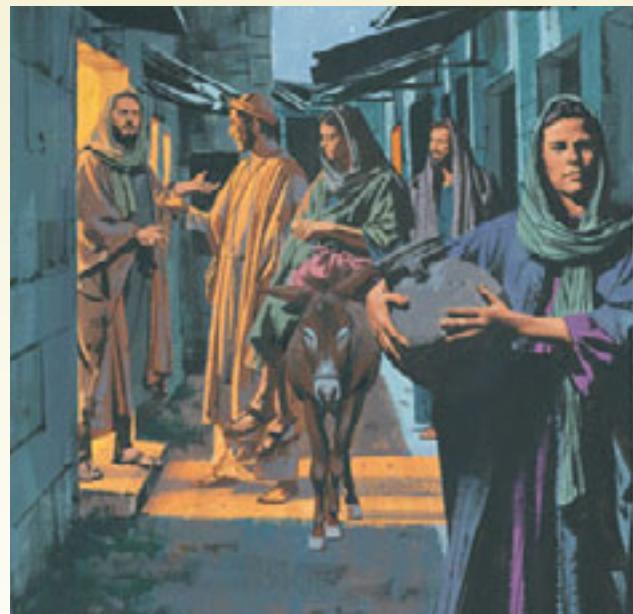
そこのころ、ローマの王は、すべての人びとはぜいきんをおさめなければならぬというほうりつを作りました。ヨセフとマリヤはナザレにすんでいました。ふたりはぜいきんをおさめるためにベツレヘムまで105キロのたびをしなければなりませんでした。

ルカ2:1-5



マリヤがベツレヘムへ行くことはたいへんでした。もうすぐ赤ちゃんが生まれそうだったからです。

ルカ2:4-5



ヨセフとマリヤがベツレヘムについたとき、やどはどこもいっぱいでした。マリヤとヨセフは馬ごやにとまらなければなりませんでした。馬ごやはどうぶつを入れておけばしょです。

ルカ2:6-7



赤ちゃんはそこで生まれました。マリヤはぬので赤ちゃんをくるみ、かいばおけにねかせました。ヨセフとマリヤは赤ちゃんをイエスと名づけました。

ルカ2:7, 21



イエスがお生まれになった夜、ひつじかいたちがベツレヘムの近くの野原でひつじの番をしていました。すると、てんしがあらわれました。ひつじかいたちはこわくなりました。

ルカ2:8-9



てんしは、こわがらないように言いました。すばらしい知らせが あったからです。すくいぬし イエス・キリストがベツレヘムでお生まれになりました。すくいぬしはかいばおけにねておられるということでした。

ルカ2:10-12



ひつじかいたちはベツレヘムへ行き、そこでおさな子イエスに会いました。

ルカ2:15-16



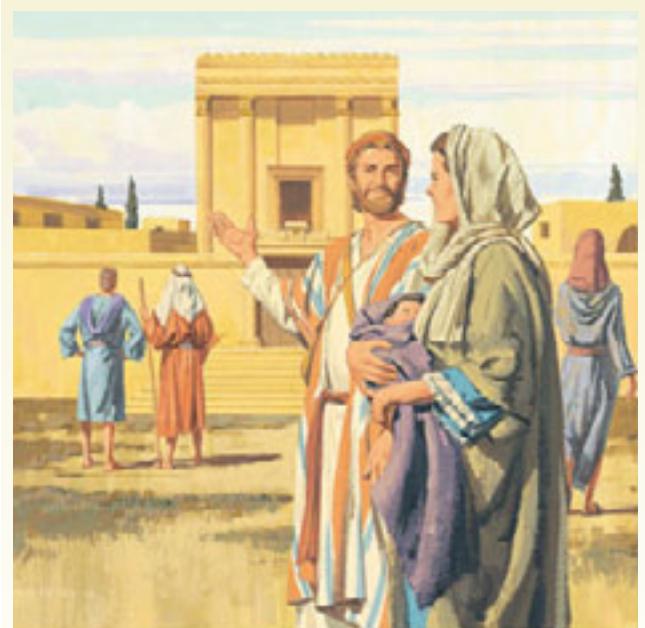
ひつじかいたちはすくいぬしに会えたことをよろこびました。自分たちが見たり聞いたりしたことのすべてを、ほかの人にも話しました。

ルカ2:17, 20



だい6しよう

## みやまいり



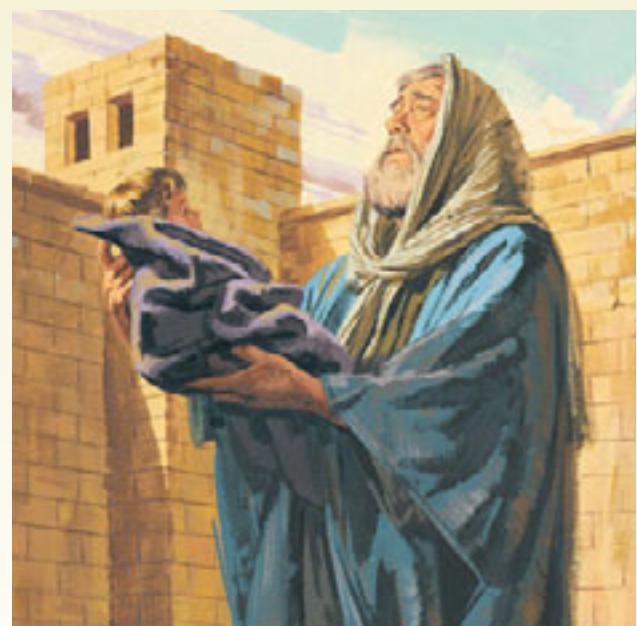
イエスさまがお生まれになってから数週間たったころ、イエスさまのりょうしんはみやまいりをするために、イエスさまをエルサレムへつれて行きました。

ルカ2:22



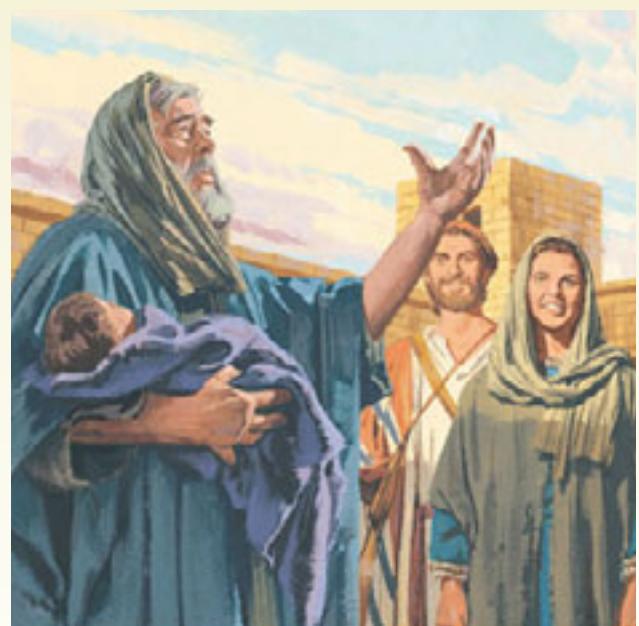
エルサレムにシメオンという正しい人がすんでいました。シメオンはその日、しんでんに来ていました。せいれいはシメオンに、死ぬ前にキリストを見るだろうと言われました。

ルカ2:25-26



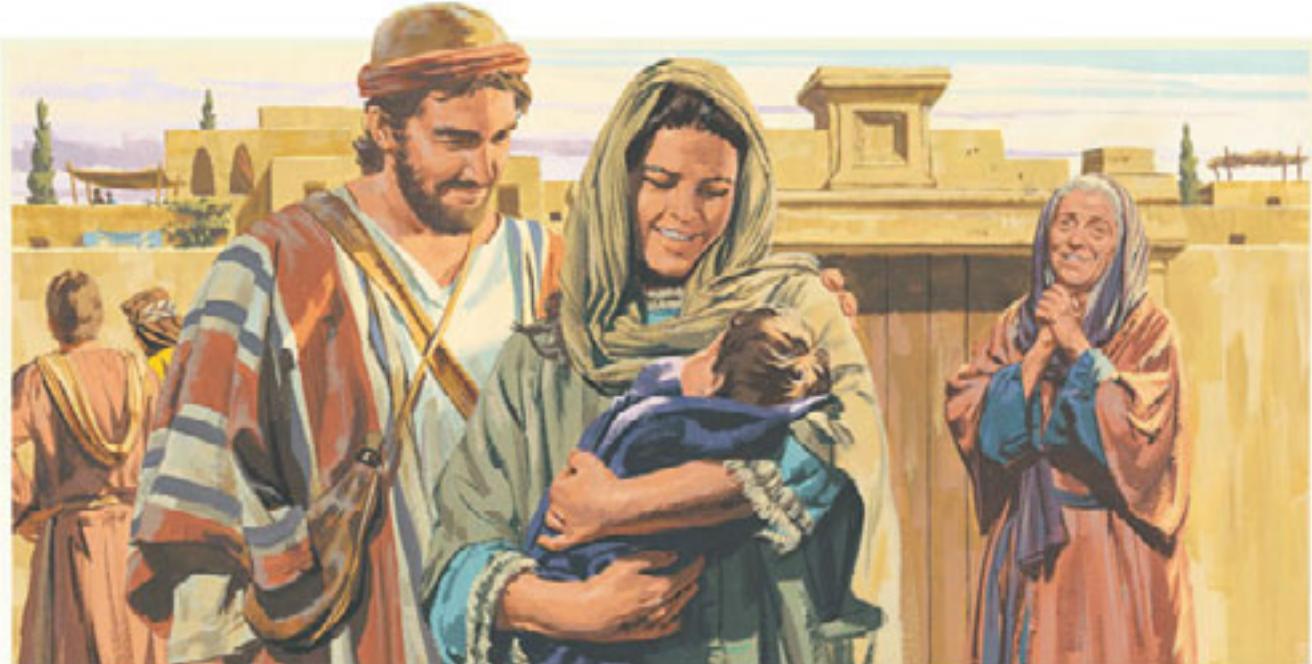
シメオンは しんでんで おさな子 イエスを見ました。イエスさまを うでに だいて、神さまを ほめたたえました。

ルカ2:27-29



シメオンは、その子がすべての人にすくいをもたらすと言いました。ヨセフとマリヤはシメオンのことばをふしぎに思いました。

ルカ2:30-33



アンナというやもめもイエスを見て、それがすくいぬしであられると分かりました。アンナはかんしゃをささげ、すくいぬしについてたくさんの人びとに話しました。

ルカ2:36-38



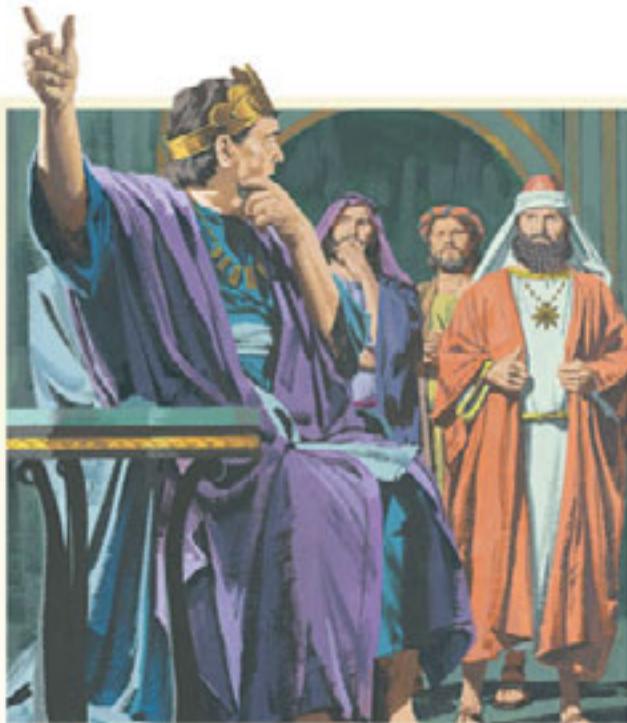
だい7しよう

## はかせたち



よ その國に はかせたちが すんでいました。はかせたちは イエスさまの こうたんについて よげんしゃが 話したことを 知っていました。空に新しい星が 見えたとき、 新しい王が お生まれになったことが 分かりました。

マタイ2:1-2



はかせたちは エルサレムの ヘロデ王に 会いに 行きました。ヘロデは ユダヤ人の 王でした。はかせたちは、 新しい王が どこにいるか たずねました。ヘロデは ベツレヘムで さがすように 言いました。はかせたちは おさな子を見つけたら、 もどって ヘロデに 知らせることになっていました。

マタイ2:1-2, 8



はかせたちは ベツレヘムへ 行って、 イエスさまを 見つけました。イエスさまを おがんで、 おくりものを ささげました。はかせたちは ゆめの中で、 エルサレムへは もどらないように、 また、 ヘロデに おさな子が いるばしょを 教えないように、 と言われました。はかせたちは そのとおりに しました。

マタイ2:11-12



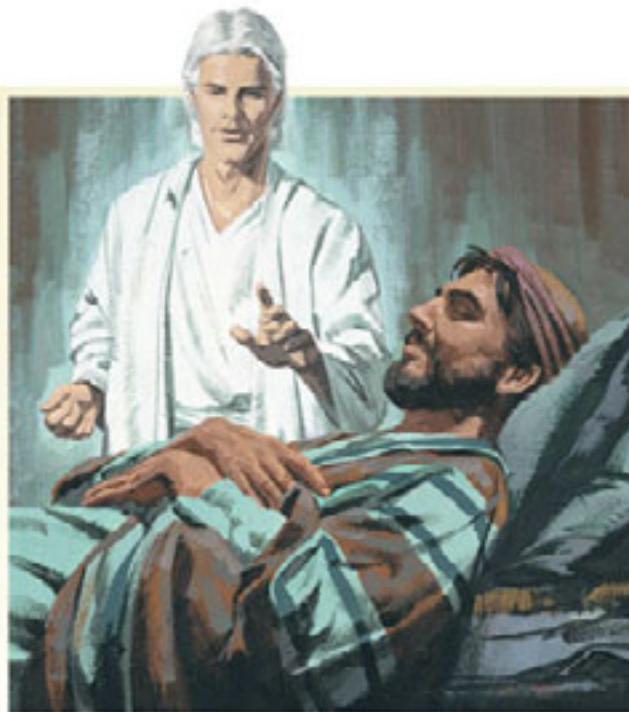
だい8しよう

## わるいヘロデ王<sup>おう</sup>



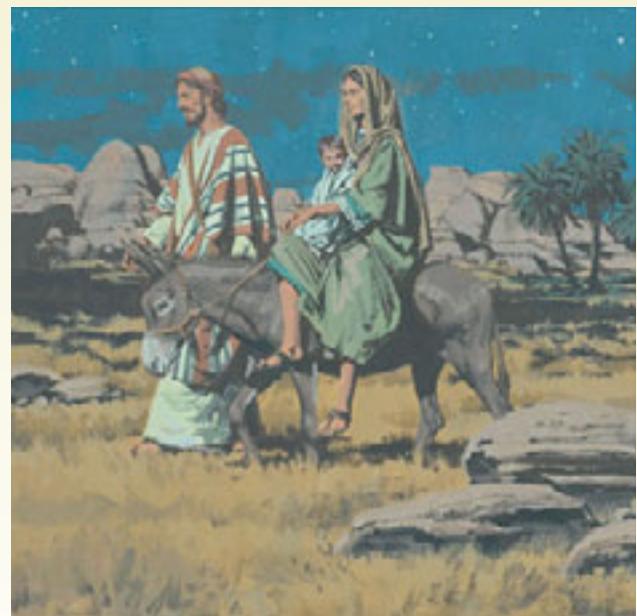
は かせたちは ヘロデに、 イエスさまが やがて 王<sup>おう</sup>にな られることを 話しました。ヘロデは 自分だけが 王<sup>おう</sup>で ありたいと おもいました。ベツレヘムと その近くにすむ 赤ちゃんを ぜんいん ころすように へいしに めいじました。

マタイ2:3, 13, 16



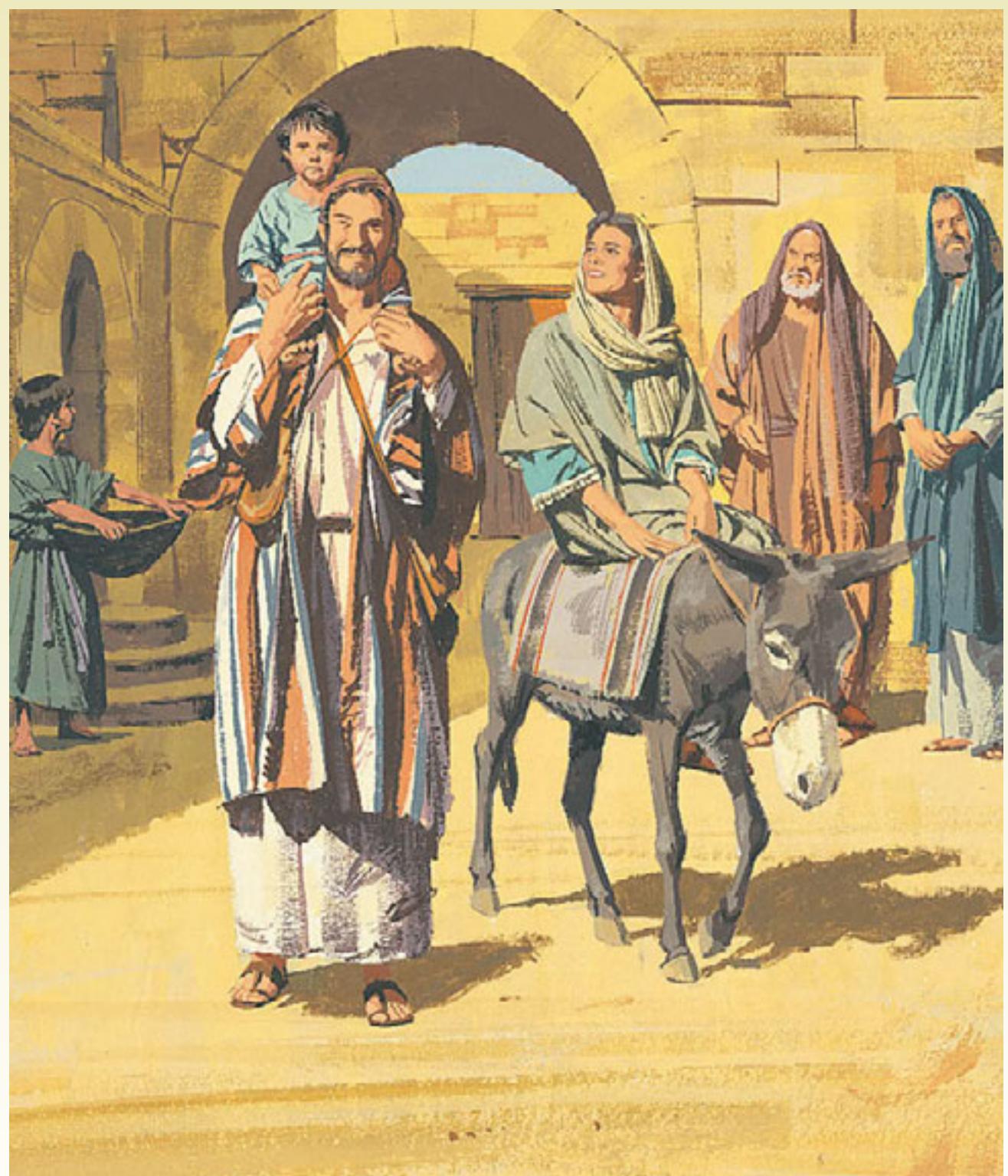
てんしは ヨセフに、 マリヤと イエスさまを エジプトへ つ れて にげるよう に 言いました。エジプトは ベツレヘムか ら 遠くはなれた 国<sup>くに</sup>なので、 ヘロデが イエスさまを さ が すこと は なかつた のです。

マタイ2:13



ヨセフは したがいました。ヘロデの へいしが ベツレヘムと その近くにすむ 赤ちゃんを ぜんいん ころしたとき、 ヨセフと マリヤと イエスさまは エジプトに いました。

マタイ2:14, 16



ヘロデ王が死んだ後、てんしはヨセフにイエスさまとマリヤを家へつれて帰るように言いました。ヨセフは二人をナザレにつれて帰り、イエスさまはぶじでした。

マタイ2:19-21, 23



だい9しよう

しょう ねん  
少年イエス



イエスさまは ナザレの まちで おそだちに なりました。  
たくさんのこと まなぶよ、 「強くなり、 ……そして 神  
の めぐみが その上に あ[りまし]た。」

ルカ2:39-40



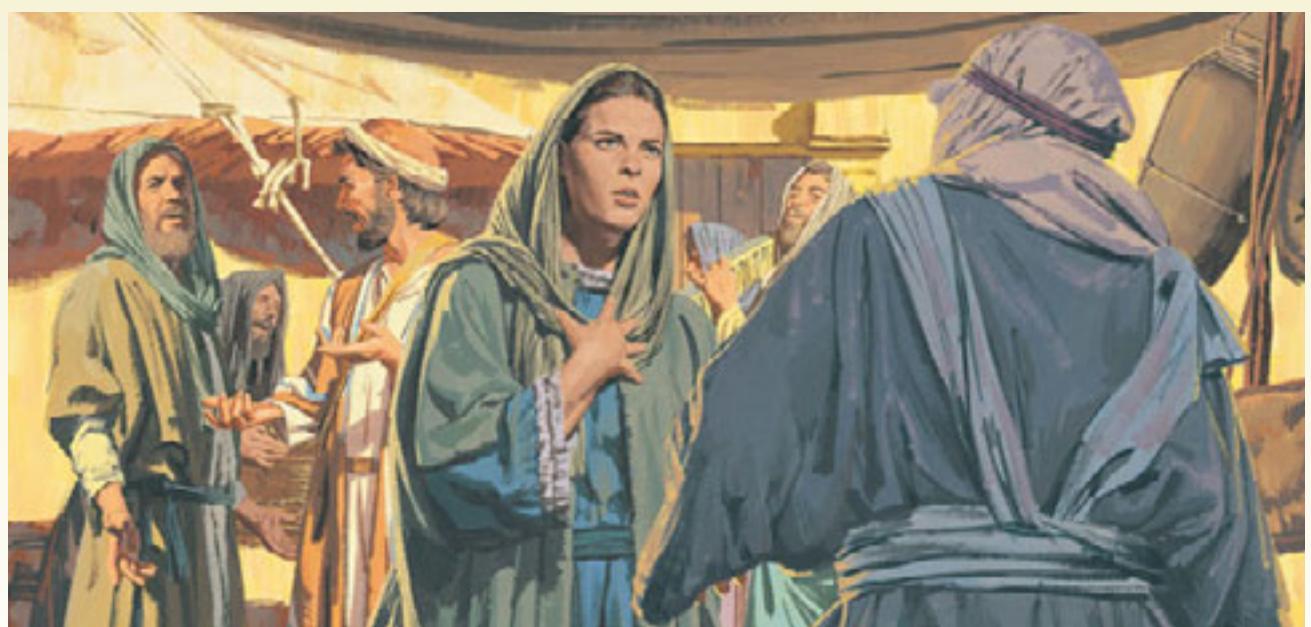
イエスさまは 12歳のとき、 ヨセフと マリヤと 何人かの ひとと いつしょに、 エルサレムの まつりへ 行かれました。 そ  
して そこに 何日間か いらっしゃいました。

ルカ2:41-43



ヨセフと マリヤが 家に 帰るとき、 二人は イエスさまが 友だちと いっしょに ナザレへ むかって 歩きはじめていると おもいました。ところが、 イエスさまは まだ エルサレムに いらっしゃいました。

ルカ2: 43-44



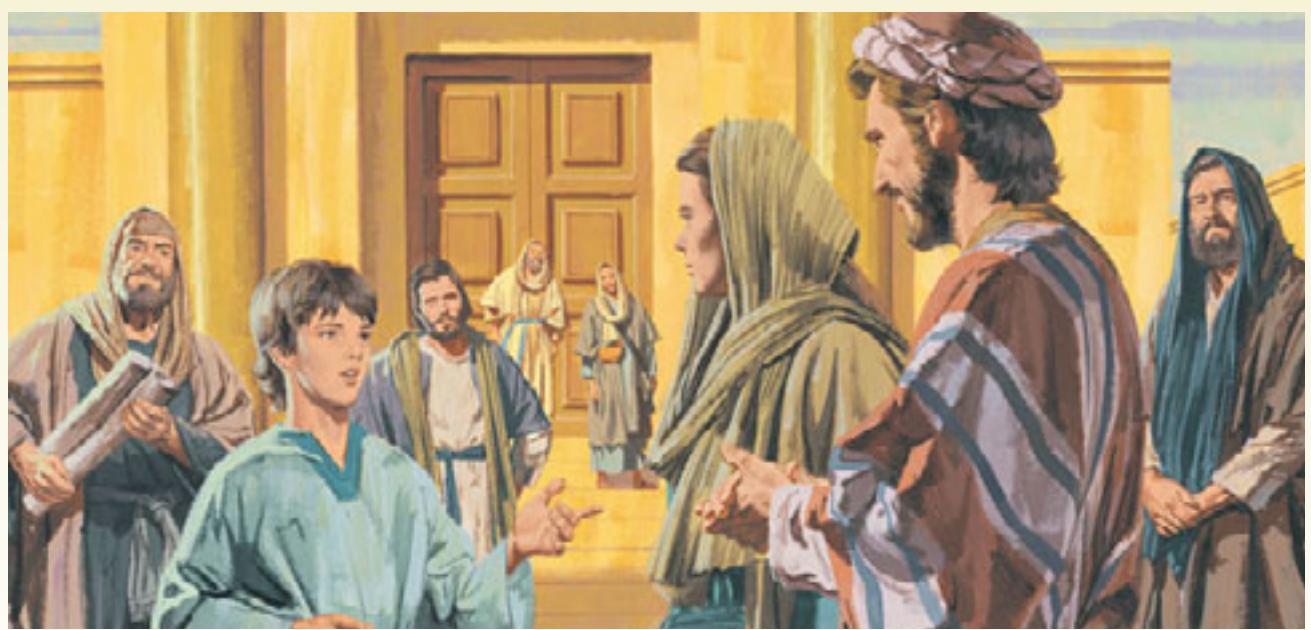
ヨセフと マリヤは イエスさまを さがしましたが、 見つけることが できませんでした。いっしょに たびを していた ひとたちは だれも イエスさまを 見ていませんでした。そこで、 ヨセフと マリヤは エルサレムへ もどりました。3日間、 イエスさまを さがしました。二人は とても かなしみました。

ルカ2: 44-46



ようやく、きょうしたちとお話しになっているイエスさまをしんでんで見つけました。イエスさまはきょうしたちのしつもんに答えていらっしゃいました。きょうしたちはイエスさまがいろいろなことをごぞんじなので、とてもおどろきました。

ルカ2：46-47



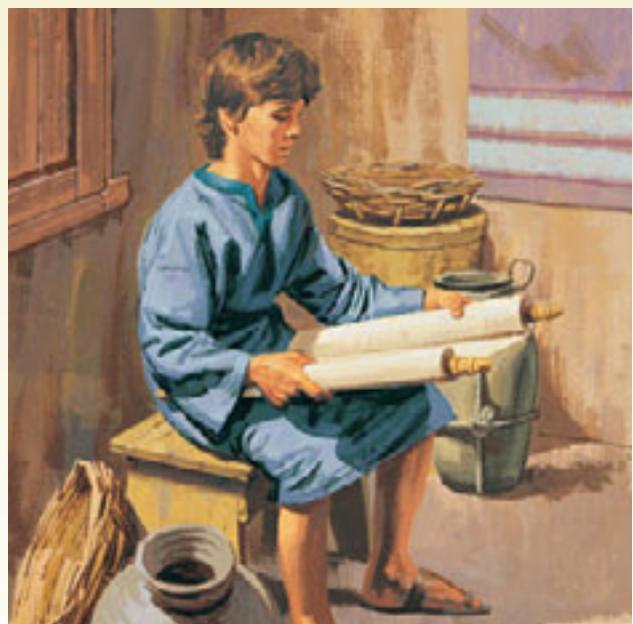
マリヤは イエスさまに、ヨセフと ふたりで 二人で しんぱいしたと 言いました。イエスさまは、お父さまの わざ、つまり 神さまの わざを していたのだと お答えになりました。ヨセフと マリヤは、それが どういうことか 分かりませんでした。

ルカ2:48-50



イエスさまは ヨセフと マリヤと いっしょに ナザレに もどって、二人に よく したがわれました。

ルカ2:51



イエスさまは、天のお父さまの わざについて さらによく  
学ばれました。

ルカ2:52



イエスさまは せが のび、たくましく なられました。

ルカ2:52



そして ひと に あいされました。イエスさまは、神さま  
が のぞまれることを 行われました。

ルカ2:52



かみ 神さまは イエスさまを あいされました。

ルカ2:52



だい10しよう

## イエス、バプテスマをおうけになる



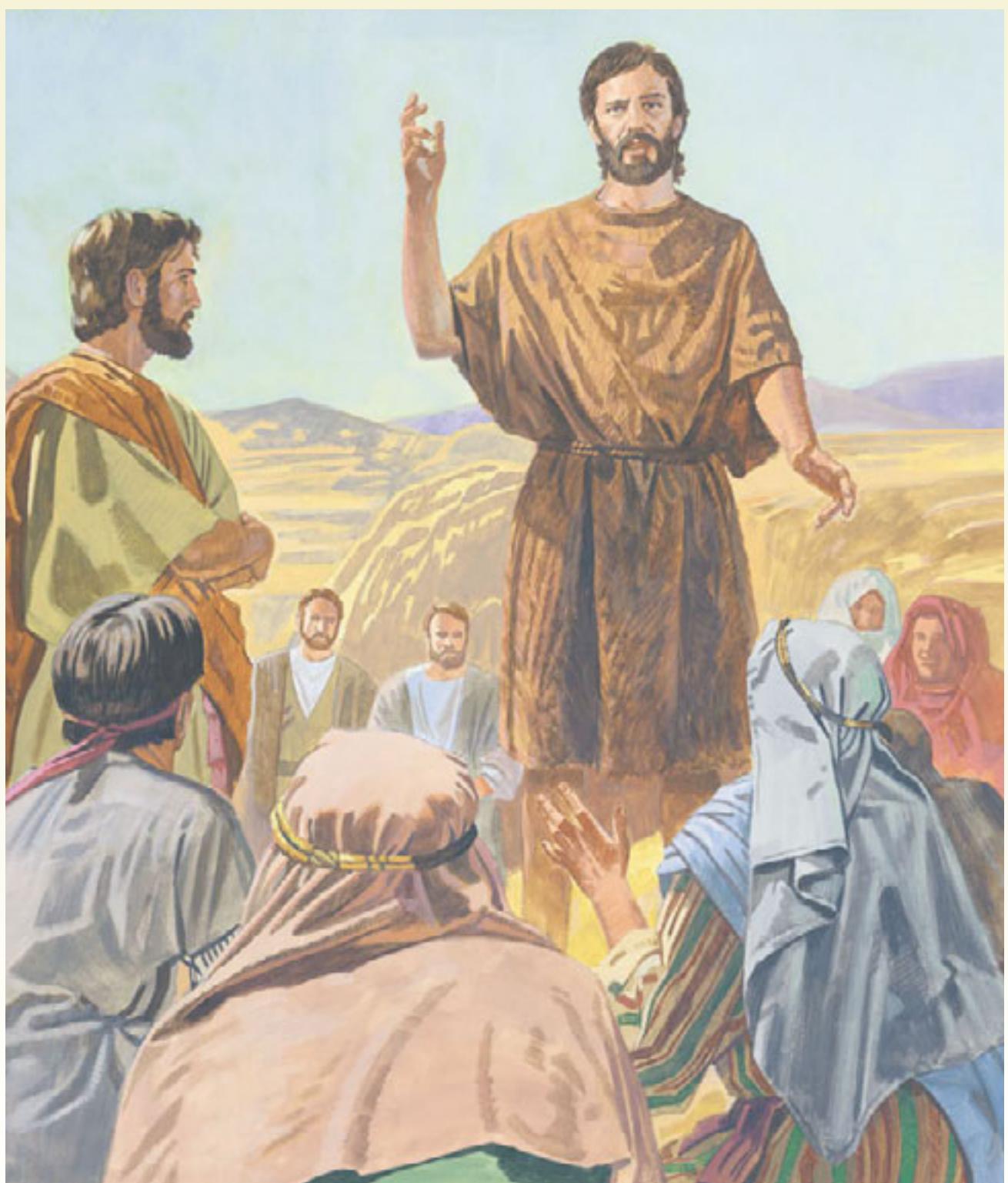
ヨハネは長い間、さばくにすんでいました。らくだの毛で作ったふくをきて、野みつといなごを食べていました。人びとはヨハネの教えを聞きに町からやってきました。ヨハネは、バプテスマのヨハネとして知られていました。

マタイ3:1-5



バプテスマのヨハネは、イエス・キリストについてひととに教えました。つみをくいあらためてバプテスマをうけるようにすすめました。ヨハネはつみをくいあらためた人にバプテスマをほどこしました。

マタイ3:2-3, 5-6



ひと  
人びとは、バプテスマのヨハネに、もっと よい生活を するには どうしたらよいか たずねました。ヨハネは、まずしい人に  
ものを 分けて、正直に なるように、そして 人に びょうどうに せっするように 言いました。また、イエス・キリストが  
もうすぐ 来られること、そして イエスさまが せいれいの たまものを さずけて くださることを 話しました。

マタイ3:2, 11-12; ルカ3:10-14



ある日、バプテスマのヨハネがヨルダン川で人びとにバプテスマをさずけていると、イエス・キリストがやって来られました。イエスさまはヨハネからバプテスマをうけたいと言われました。ヨハネは、イエスさまがいつも神さまのいましめにしたがっていて、くいあらためをなさるひつようがないことを知っていました。そこでヨハネは、イエスさまにバプテスマをほどこしてさしあげるひつようはないともいました。

マタイ3:13-15; 2ニーファイ31:5-7



しかし、神さまはすべての人がバプテスマをうけるようにめいじられて いるので、イエスさまはヨハネにバプテスマをさずけてくれるように言されました。イエスさまは、バプテスマをうけなさいという神さまのいましめにしたがうことでもはんをしめしてくださいました。

マタイ3:16; 2ニーファイ31:7-9



イエスさまが水から上がらると、せいれいがくだって来られました。天から、「これはわたしのあいする子、わたしの心にかなうものである」という神さまの声が聞こえました。バプテスマのヨハネも、イエスさまが神のおん子であられるとあかししました。

マタイ3：16-17；ヨハネ1：33-36；『キリスト・イエス』146-147



だい11しょう

## イエス、 ゆうわくを おうけになる



イエスさまは 神さまと お会いになるために あれ野へ 行かれました。すくいぬしは 天の お父さまと お話を されました。だんじきを していたので、 40日間 何も お食べになりませんでした。

マタイ4：1-2；ルカ4：1-2



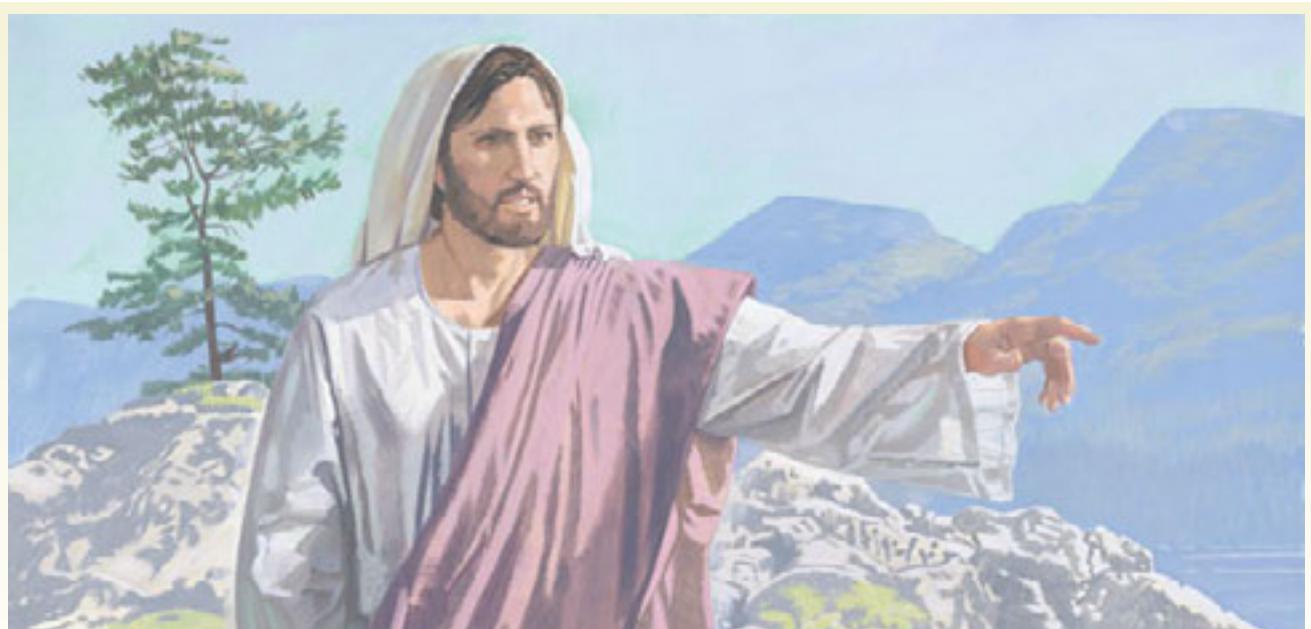
あくまが 来て、 神の おん子であることを しょうめいするように イエスさまを ゆうわくしました。さいしょに、 あくまは 石を パンに かえるように 言いました。イエスさまは おなかを すかせて いらっしゃいましたが、 ご自分の 力は 人を たすけるためだけに つかうべきであると りかいされていました。ですから、 あくまの 言うことは お聞きになりませんでした。

マタイ4：2-4；『キリスト・イエス』125-127



つぎに、せいれいはイエスさまをしんでんの高いばしょにつれて行かれました。あくまはイエスさまに2回目のゆうわくをして、しんでんのかべからとびおりるようと言いました。もしイエスさまが神のおん子なら、けがをしないようにてんしがまもってくれるだろうと、あくまは言いました。イエスさまはとびおりることはなさいませんでした。このようなほうほうでご自分のしんせいいな力をつかうのは間ちがっているとござんじだったからです。

マタイ4:5-7



それから、せいれいはイエスさまを山の上へつれて行かれました。せいれいはイエスさまに、せかい中の王国とたからをお見せになりました。あくまは、もし自分にしたがえばそのたからをぜんぶ手に入れられるとイエスさまに言いました。イエスさまは、天のお父さまにしかしたがわないとお答えになりました。そして、あくまをおいかえされました。あくまはさって行きました。てんしが来て、イエスさまをしゅくふくしました。こうして、イエスさまはご自分のわざをはじめるじゅんびがととのいました。

マタイ4:8-11



だい12しよう

## カナでのけっこんしき



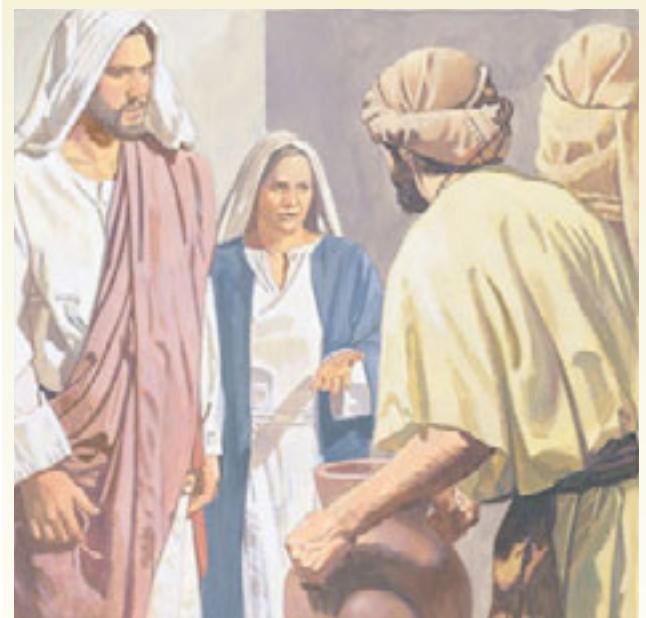
イエス・キリストは でしたちと、カナで ひらかれた けっこんの おいわいに 行かれました。イエスさまの お母さんの マリヤも いました。マリヤは イエスさまに、おきやくさんに出す ぶどうしゅが なくなつたと 言いました。

ヨハネ2:1-3



イエスさまは お母さんを うやまい、あいしておられました。そこで、何をしてほしいか おたずねになりました。

ヨハネ2:4



マリヤは けっこんしきで はたらいていた しもべたちに、何でも イエスの 言うとおりに するように 言いました。

ヨハネ2:5



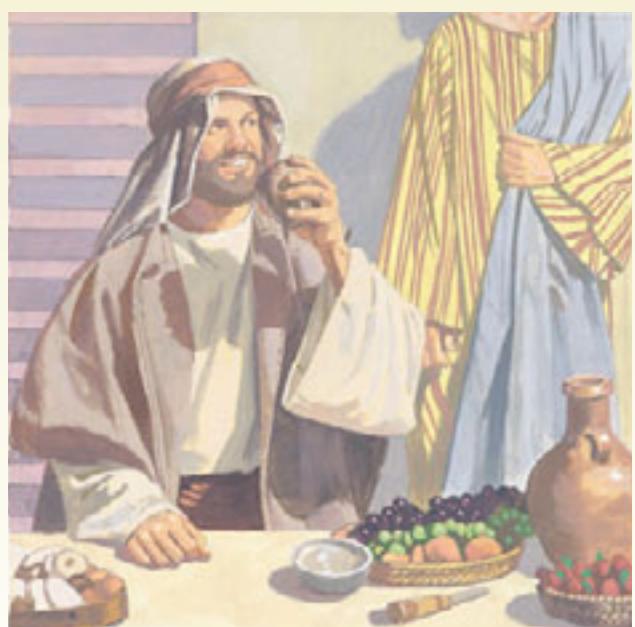
イエスさまは しもべたちに、6つの 大きな 石の かめに  
水を いっぱい 入れるように 言われました。それぞれ 68  
から 102リットルの 水が入る かめでした。それから イエ  
スさまは、水を ぶどうしゅに かえられました。

ヨハネ2:6-7



イエスさまは しもべたちに、かめから ぶどうしゅを くんで、りょうりがしらの ところへ もって行くように 言われました。

ヨハネ2:8



りょうりがしらは ぶどうしゅを のんで おどろきました。  
ふつう、いちばん おいしい ぶどうしゅを さいしょに 出す  
からです。でも、そのときは いちばん おいしい ぶどうし  
ゅが さいごに 出されたのです。

ヨハネ2:9-10



これは イエスさまが 地上に いらっしゃる間に 行われた、  
きろくされている さいしょの きせきです。イエスさまは  
お母さんを たすけるために このきせきを 行われました。  
このきせきによって、でしたちの しんこうも 強くなりました。

ヨハネ2:11



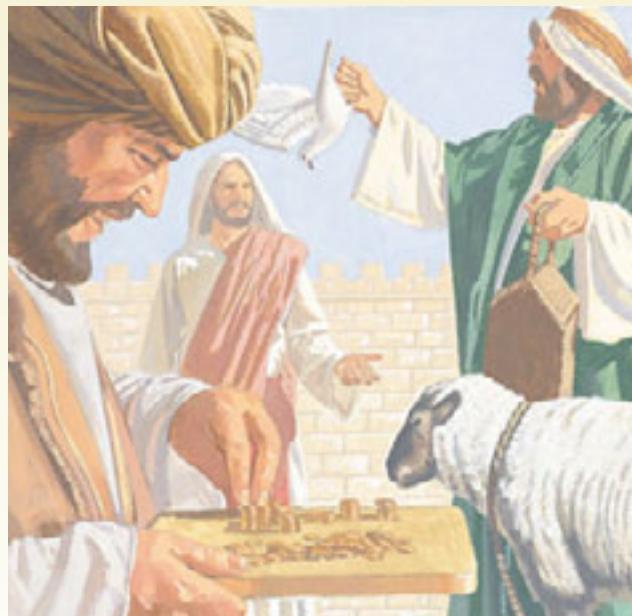
だい13しよう

## イエスと天のお父さまの みや



イエスさまはエルサレムのしんでんに行かれました。しんでんにはたくさんの人びとがいけにえをささげるために来ていました。どうぶつをころしてさいだんでやくのです。いけにえをささげることで、人びとは自分たちのためにくるしでなくなってくれるすくいぬしをおもいおこすことができるのでした。

レビ1:3-9; ヨハネ2:13; モーセ5:5-7



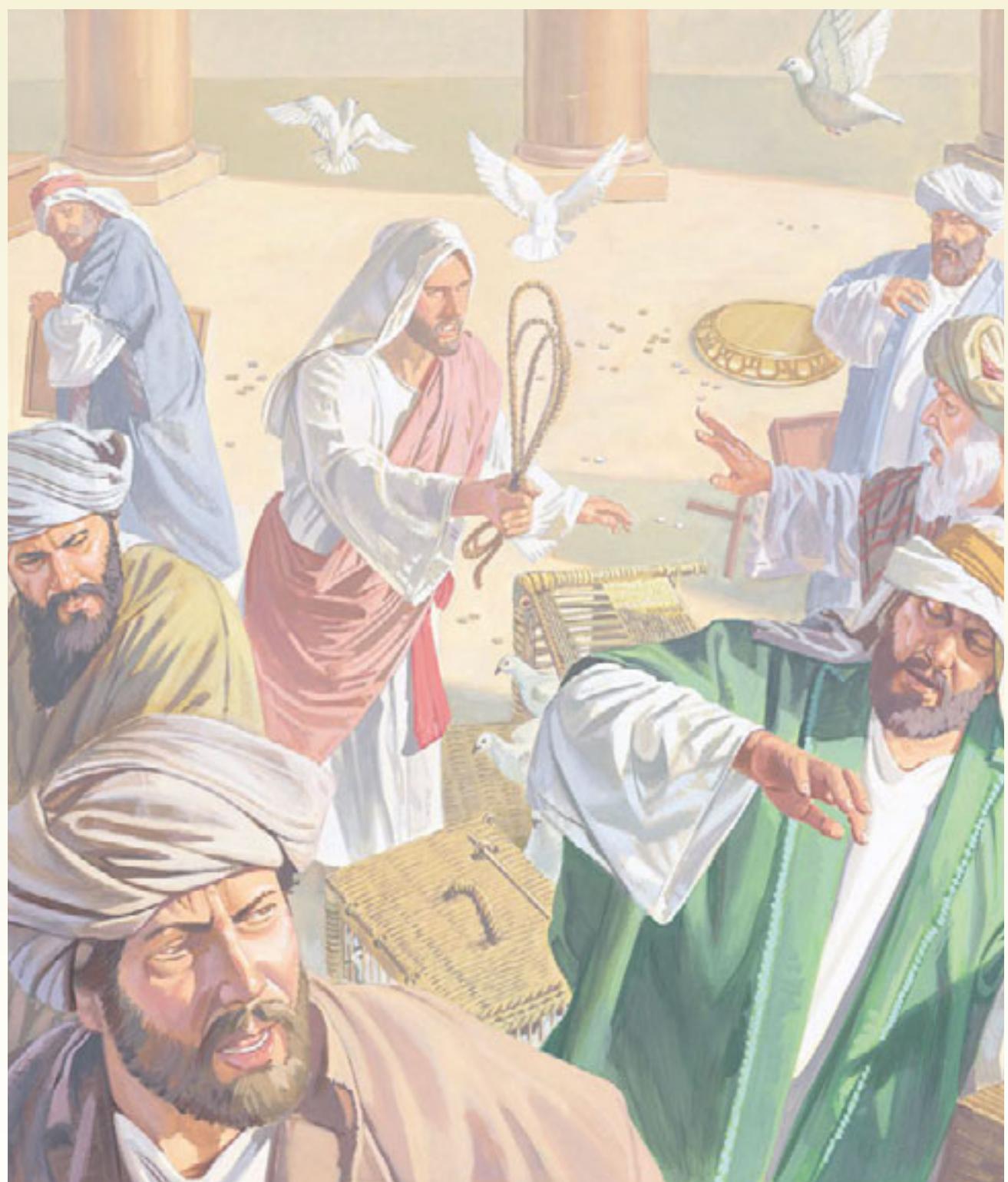
いけにえにするどうぶつをつれて来ていない人もいました。そういう人にどうぶつを売る人びとがしんでんにいました。そのようにんたちはたくさんのお金をかせぎたいとおもっていました。神さまのことばを考えていませんでした。

ヨハネ2:14



イエスさまはしんでんでどうぶつを売っている人びとをごらんになりました。イエスさまは、しんでんは天のお父さまのみやで、しんせいなばしょだと言われました。また、しんでんでものを売り買いしてはいけないと言われました。

ヨハネ2:16



イエスさまは むちを 使って、<sup>つく</sup> 台を <sup>だい</sup>ひっくりかえし、お金 <sup>かね</sup>を ゆかに ちらし、 しょうにんたちを しんでんから おいでされました。天のお父さまの みやで わるいことをするのを おゆるしに なりませんでした。

ヨハネ2:15-16



だい14しょう

## ニコデモ



— コデモは、ユダヤ人の中のパリサイ人とよばれる  
人でした。ユダヤ人のやくにんでもありました。  
多くのパリサイ人はイエス・キリストが神さまからつかわ  
されたことをしんじませんでした。けれども、ニコデモは  
イエスさまがきせきを行われたのでしんじていました。

ヨハネ3:1-2



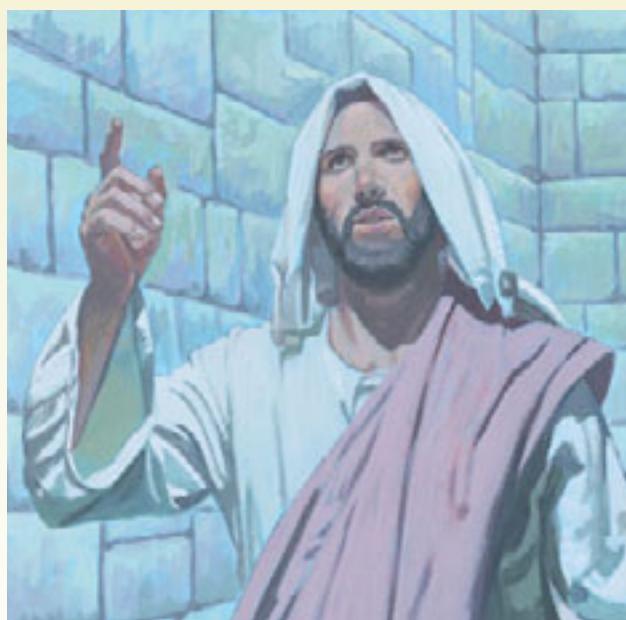
ある夜、ニコデモはすくいぬしと話すためにやってきました。イエスさまは、だれでも新しく生まれなければ神さまの王国に入れないとお教えになりました。

ヨハネ3:2-3



ニコデモは そのいみが 分かりませんでした。どうやって 人は もういちど 生まれることが できるのでしょうか。すくいぬしは、れいについてのことを 言っているのだと 説明されました。新しく生まれるために、人は 水の バプテスマと せいいれいを うけなければ なりません。

ヨハネ3:4-7



イエスさまは、「すべての 人が 天のお父さまの もとへ 帰れるように わたしは 地上に 来た」と 説明されました。わたしたちが えいえんの いのちを えられるように、わたしたちの つみのために くるしんで、十字架に つけられるのだと、イエスさまは 言われました。

ヨハネ3:12-17



イエスさまは、わたしたちが イエスさまを しんじて 正しいことを えらぶ ひつようがあると 言われました。正しいことを 行うなら、神さまの 王国に えいえんに すむことができます。

ヨハネ3:18-21



だい15しょう

## いどのそばに来た女き おんな



イエスさまは ガリラヤへ 行くために エルサレムを おはなれになりました。サマリヤを たびしているとき、あるいど のそばを 通りかからされました。

ヨハネ4:3-6



イエスさまは つかれていたので、いど のそばで お休みに なりました。ひとりの サマリヤ人の女が 水をくみに 来ました。イエスさまは その女に、水をのませて くれるように たのまれました。

ヨハネ4:6-7



ふつう、ユダヤ人は サマリヤ人に 話しかけないので、<sup>じん</sup>女<sup>ひと</sup>は はな<sup>はな</sup>おどろきました。

ヨハネ4:9



イエスさまは 女<sup>じん</sup>に、いちど のんだら、にどと のどが かわかない 水<sup>みず</sup>を あげましょ<sup>う</sup>う と言われました。そして、ご自分が すくいぬしである ことを 説明されました。イエスさまが 女<sup>じん</sup>に おあたえになる ことが できたのは、えいえんの いのちに いたる「生ける水<sup>みず</sup>」でした。

ヨハネ4:10, 13-15, 25-26



女<sup>じん</sup>は 町<sup>まち</sup>へ 行<sup>い</sup>って、たくさんの 人<sup>ひと</sup>に イエスさまに ついて 話<sup>はな</sup>しました。人<sup>ひと</sup>びとは いどへ 行<sup>い</sup>って、イエスさまの 話<sup>はなし</sup>を ちょくせつ 聞<sup>き</sup>きました。多くのは イエスさまの ことばを しんじました。

ヨハネ4:28-30, 39-42



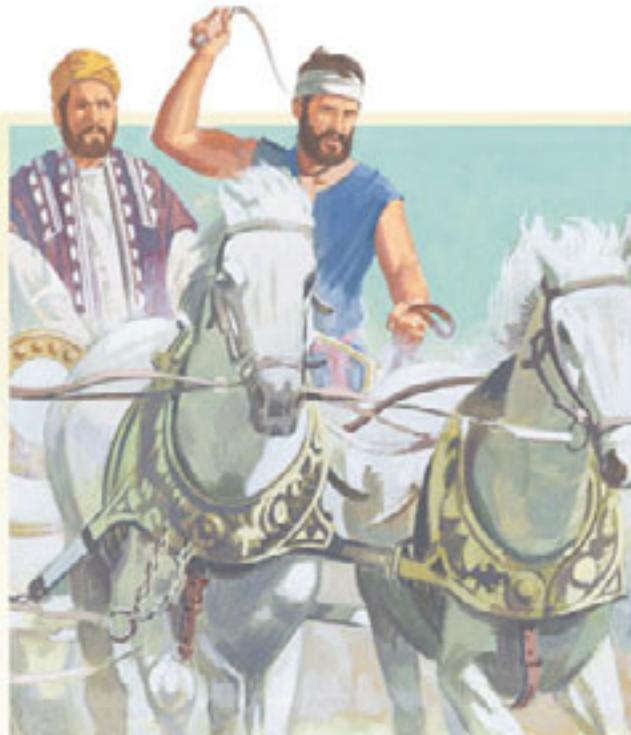
だい16しょう

## やくにんのむすこ



あるユダヤ人のやくにんに、おもいびょうきにかかったむすこがいました。だれもがその子はもうすぐしぬとおもっていました。

ヨハネ4:46-47



やくにんはむすこを家にいえのこし、カナの町までまち何キロもたびをしました。そしてカナでイエスさまを見つきました。

ヨハネ4:47



やくにんはすくいぬしに、きてむすこをいやしてくださるようになのみました。イエスさまは、むすこのびょうきがなおるといわれました。やくにんはイエスさまをしんじて、家にいえ帰りはじめました。

ヨハネ4:47-50



すると、しもべたちが むかえに来て いました。しもべたちは、やくにんの むすこが 元気になってきており、いのちがたすかるでしょうと つたえました。やくにんは しもべたちに、むすこが なおりはじめたのは いつか たずねました。しもべたちは 答えました。それは むすこの びょうきが なおるだろうと イエスさまが 言われたのと 同じとき でした。

ヨハネ4:51-53



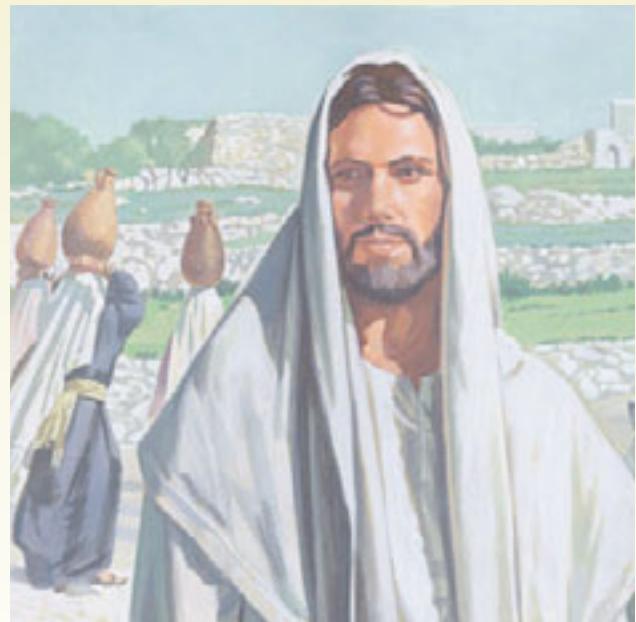
やくにんは、イエス・キリストが むすこを いやしてくださったことが 分かりました。やくにんと そのかぞくは みな、すくいぬしを しんじました。

ヨハネ4:53



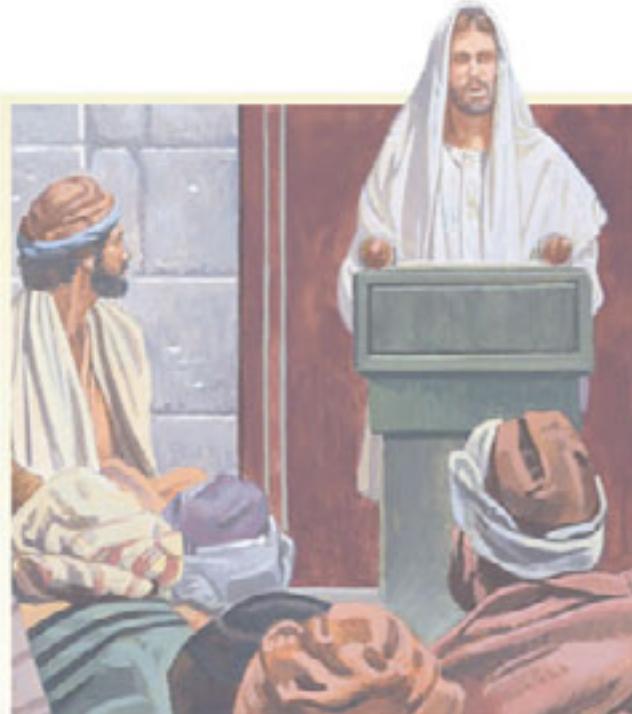
だい17しようと

# はらを立てた ナザレの人びと



イエスさまは ご自分が そだつた ナザレの町に 行かれました。

ルカ4:16



イエスさまは かいどうに 行かれました。かいどうは、ユダヤ人が 行く 教会です。イエスさまは 立ち上がって せいぶんを お読みになりました。よげんしゃ イザヤのことばを 読されました。イザヤは、すくいぬしが 地上に 来て、すべての人を おたすけになると 言いました。

ルカ4:16-19



イエスさまが せいぶんを とじて せきにつかれると、人びとは みんな イエスさまに ちゅうもくしました。

ルカ4:20



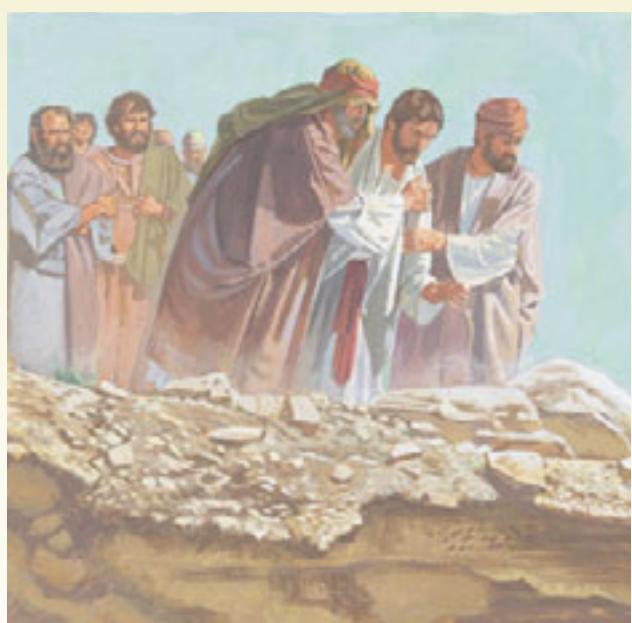
イエスさまは、イザヤのことばはご自分のことをさしておあり、ご自分がすくいぬしであると言われました。人びとはイエスさまのことばにおどろきました。そして「この人はヨセフの子ではないか」と言いました。イエスさまが神さまのおん子であられることをしんじなかつたのです。

ルカ4:21-22



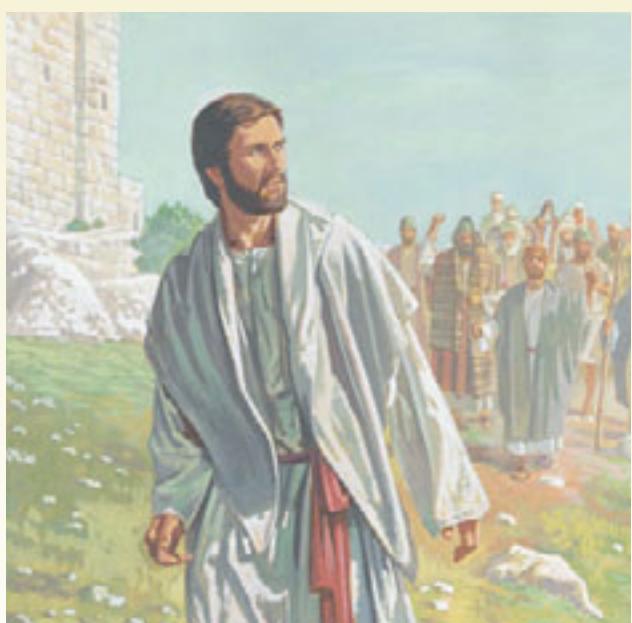
すくいぬしは人びとが考えていることをぞんじでした。イエスさまにきせきを行っていただきたかったです。しかしイエスさまは、ご自分をしんじていない人にきせきを見せることはできないと言われました。

ルカ4:23-27



このことばを聞いて人びとはおこりました。人びとはイエスさまをおかの上までつれて行き、かけからつきおとそうとしました。

ルカ4:28-29



イエスさまは人びとからのがれて、べつの町へ行かれました。

ルカ4:30-31



だい18しょう

## イエス、しとを おえらびになる



ある日、イエスさまは ガリラヤの 海うみべの ふねから 人ひとびとを お教えになりました。そのふねは ペテロという人の ものでした。

ルカ5：1-3



ペテロと その友だちは 夜とも通し りょうを していましたが、魚さかなが とれませんでした。人ひとびとを 教おしえおわると、イエスさまは ペテロに おきへ ふねを こぐようにと 言われました。それから ペテロと その友だちに、水みずの中に あみを 下さろすよう に 言われました。

ルカ5：4-5



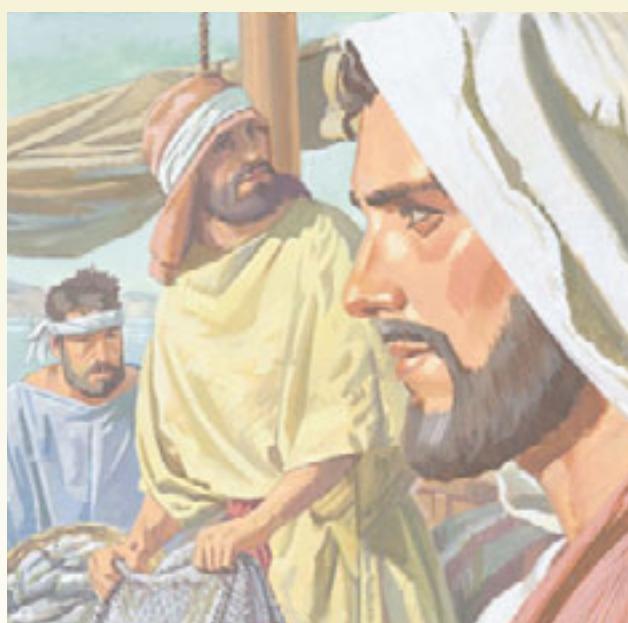
魚が あまりに たくさん とれたので、あみが やぶれはじめました。

ルカ5：6



ペテロは べつの ふねに のっていた 友だちを よんで、たすけに 来て ほしいと 言いました。魚は 2そうの ふねを いっぱいに したので、ふねが しづみはじめました。

ルカ5：7



ペテロと 友だちは おどろきました。そして イエスさまが それを なさったことが 分かりました。

ルカ5：8-9



ペテロは すくいぬしの 足もとに ひざまずきました。そして、イエスさまの そばにいるのに ふさわしくないと うち 明けました。イエスさまは ペテロに、おそれないように 言われました。

ルカ5：8-10



ペテロの二人の友だち、ヤコブとヨハネは兄弟でした。イエスさまは、ペテロ、ヤコブ、ヨハネにご自分といっしょに来て、「人間をとるりょうし」になるようにおすすめになりました。かれらはもちものをぜんぶすべて、イエスさまにしたがいました。すくいぬしはほかの人びとにもついて来るようになされました。

マタイ4：18-22；9：9；ルカ5：10-11；ヨハネ1：35-51



イエスさまは ご自分の 教会を みちびく ために 12人の しとを おえらびになりました。イエスさまは 正しい 人を えらべる ように ひとばん中 いのられました。そして 朝になると、 12人を えらんで しとに せいにんされました。また しんけんを あたえて、 しとの けんのうを おさずけになりました。

マルコ3：14；ルカ6：12-16；ヨハネ15：16



しとたちは 多くの 町へ たびをしました。ふくいんを 教えて、 ひとびとの びょうきを なおしました。それから もどって、自分たちが したこと はな 話しました。

マルコ6：30；ルカ9：1-6, 10



---

だい19じょう  
山上のすいくん



ある日、イエスさまは ガリラヤの海の 近くの山で で  
あしたちに ふくいんを 教えられました。

マタイ5:1



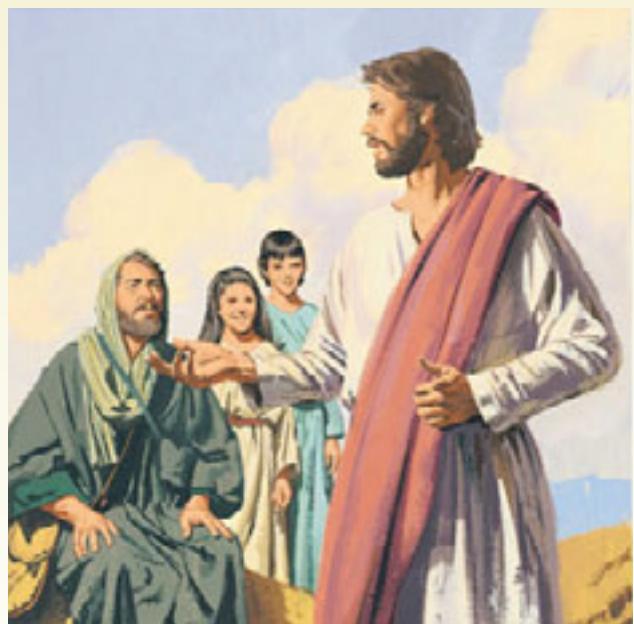
イエスさまは、しあわせに なって 天のお父さまと また すむためには どうしたらよいか 教えられました。イエスさまが  
あしたちに お教えになったことは、わたしたちも しあわせに してくれます。

マタイ5-7じょう



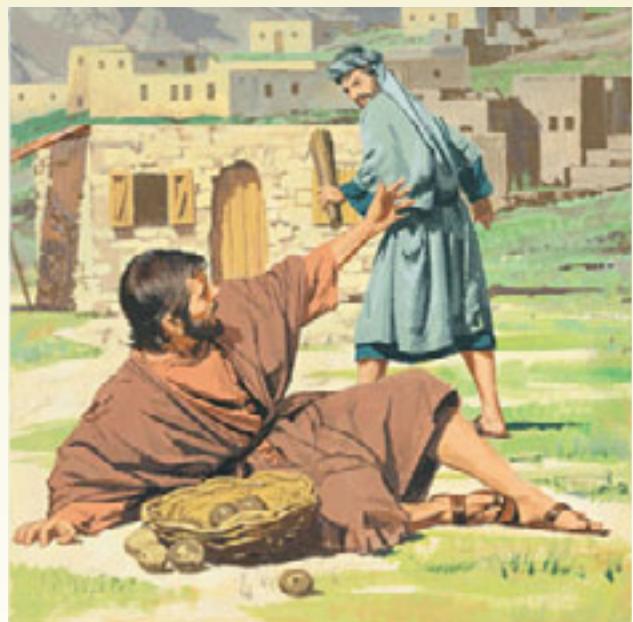
イエスさまは、やさしく、にんたい**強く**なり、**天の**お父さまに よろこんで したがわなければ ならないと 言われました。

マタイ5：5



わたしたちは できるかぎり **正しい人**に なれるように どりょくしなければ なりません。

マタイ5：6



じぶんを きずつけたり、いやな 気もちにさせたり した人を ゆるさなければ なりません。そうすれば、**天の**お父さまも わたしたちを ゆるして くださいます。

マタイ5：7



わたしたちは へいわを つくり出す 人になって、**ひとびと**を あいし、すべての人が あいし合えるように たすけなければ なりません。

マタイ5：9



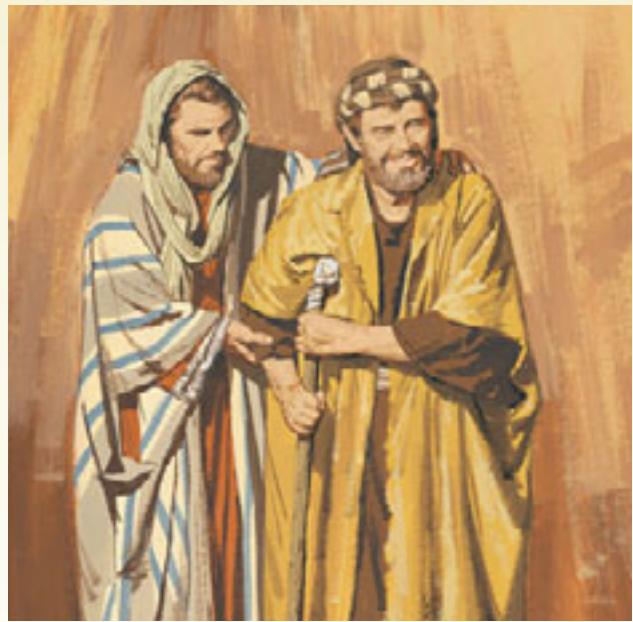
ふくいんについて 人に 話したり、天のお父さまを あいしている ことを しめしたりする ことを こわがっては いけません。わたしたちが よいことを しているのを見れば、それによって ほかの 人も 神さまを しんじることうになります。

マタイ5：14-16



わたしたちは いつも やくそくを まもらなければ なりません。

マタイ5：33-37



そして、人から 親切に してほしいと おもうのと 同じように、人にも 親切に しなければ なりません。

マタイ7：12



これらの ことを するなら、わたしたちは しあわせになれるとして イエスさまは 言われました。そして、天のお父さまから しゅくふくを うけて、また お父さまと いっしょに すめると おっしゃいました。

マタイ5：2-12



だい20しょう

## イエス、いのりについて お教えになる



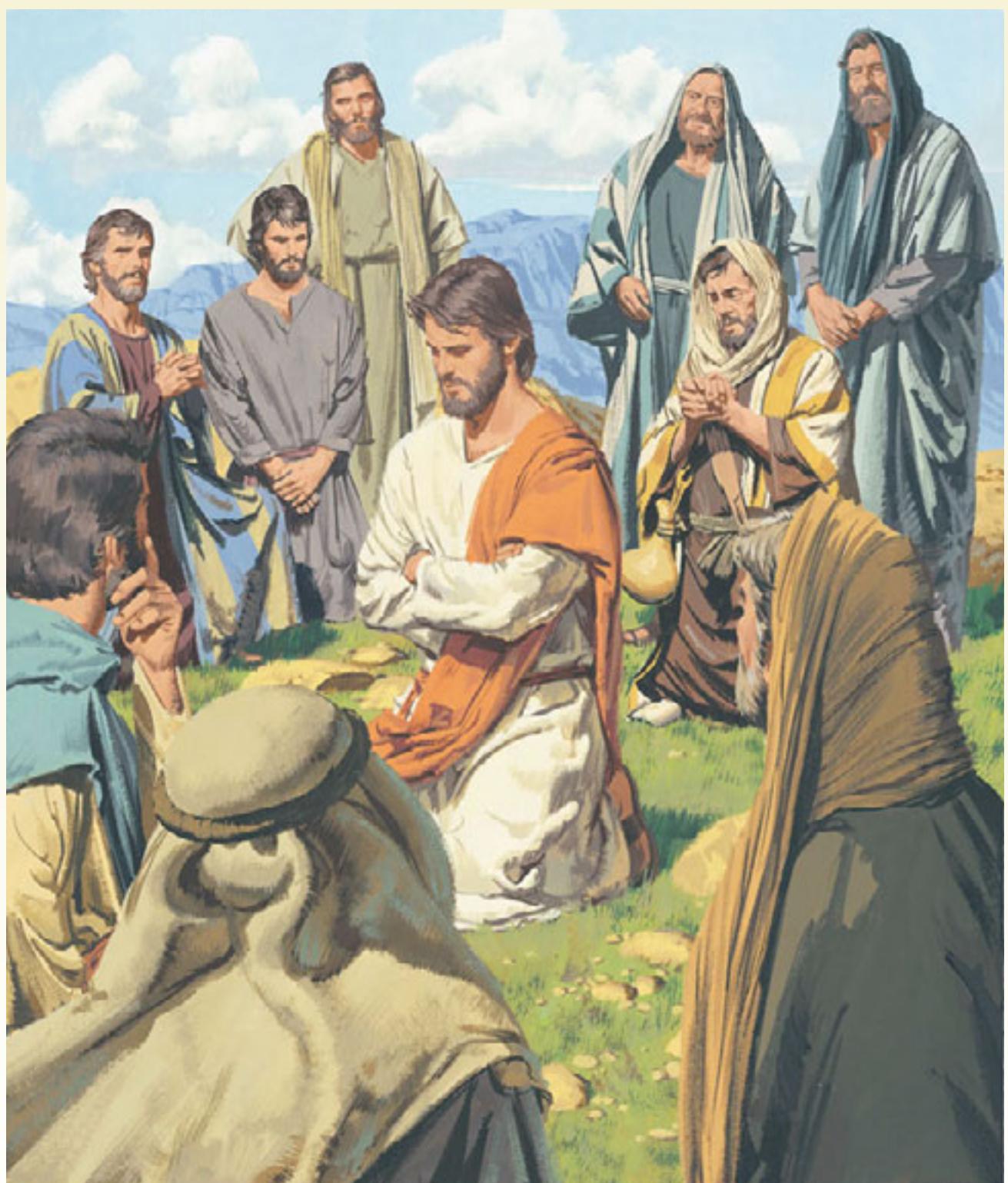
イエスさまは でしたちに いのりの ほうほうを お教えになりました。いのっている ところを 人に 見られたくて いのる 人びとが いると 言われました。イエスさまは、一人で いのるとときは できるかぎり、だれも いなばしょで いのる ようにと 教えられました。

マタイ6:5-6



いのるとき、同じことを なんども 言う 人が いると、イエスさまは 言われました。そのような 人は いのっている ことについてあまりよく 考えていません。ひつような ことについて 心から いのるようにと イエスさまは 言われました。

マタイ6:7-8



すくいぬしは いのりを ささげ、 でしたちに いのりの ほうほうを おしめしに なりました。 まず、「天にいます われらの 父よ」と いのり はじめられました。 それから 天のお父さまを ほめたたえて、 たすけを あたえて くださるように いのられました。 いのりの さいごに、「アーメン」と 言われました。 後に、イエスさまは でしたちに、 ご自分の 名によって お父さまに いのる ように お教えになりました。 そして 天のお父さまが いのりに こたえて くださると やくそく されました。

マタイ6:9-13; 21:22; ヨハネ16:23



だい21しよう

## イエス、風となみに おめいじになる



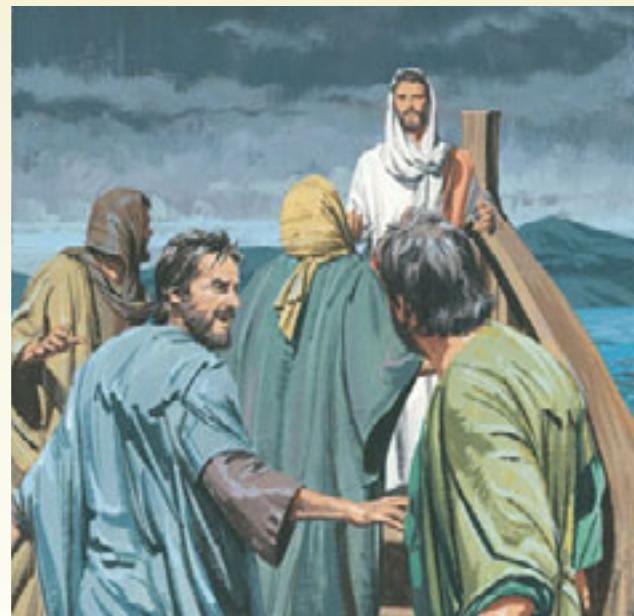
**イ**エスと でしたちは ガリラヤの 海で ふねに のって おられました。イエスさまは ねむって しまわれました。すると、風が とても 強く ふいて、なみによって ふねが 水で いっぱいに なって いきました。でしたちは ふねが しずむかも しれないと おそれました。イエスさまを 起こして、助けて くださる ように たのみました。

ルカ8:22-24



すくいぬしは 風に やむ ように、そして なみに しずまる ように おめいじになりました。すると 風が やんで、なみ が しずまりました。

ルカ8:24



イエスさまは でしたちに、どうして おそれたのかと おたずねに なりました。そして、もっと しんこうを もつよう にと 言われました。でしたちは、風と なみに さえも めいじることが おできになる イエスさまは どんな お方だろ うと、あれこれ 考えました。

マルコ4:40; ルカ8:25



だい22しょう

## あくれいにつかれた男



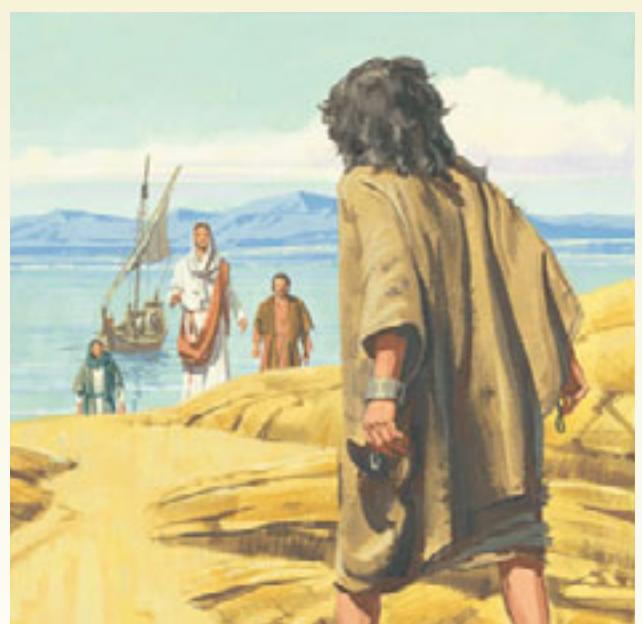
リラヤの海のそばのはかばにすむ男がいました。その人には、わるいれいがついていて、そのせいでひどくあはれていました。人びとはしづかにさせようとくさりでしばりましたが、その人はくさりを切ってしました。

マルコ5：1-4



その男は昼も夜も山やどうくつにいました。いつもさけびつづけ、石で自分の体をきずつけていました。

マルコ5：5



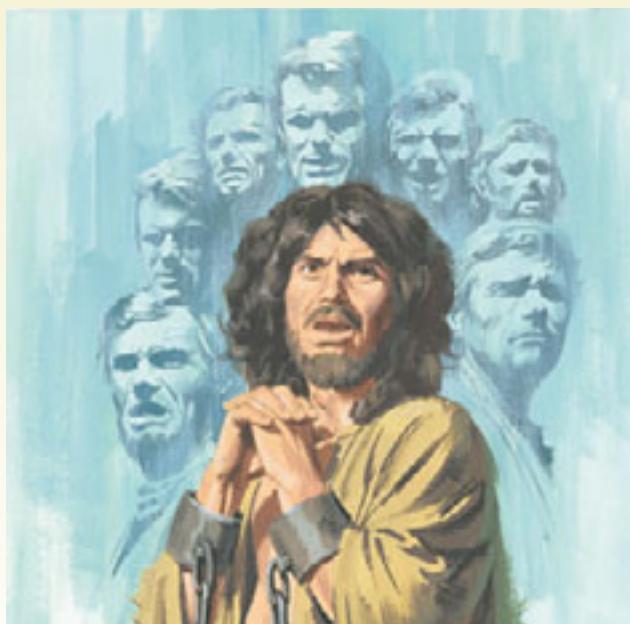
あるひ、イエスさまとでしたちはふねでガリラヤの海をわたりました。すくいぬしが岸にあがられると、その男がイエスさまのもとへ走りよってきました。

マルコ5：1-2, 6



イエスさまは わるい れいに、 その人から 出るよう おめいじに なりました。わるい れいは イエスさまが 神さまの おん子で あられるこを 知っていました。そして イエスさまに、 自分を くるしめないように おねがいしました。

マルコ5：7-8



すくいぬしが わるい れいに 名前を おたずねになると、「レギオンと 言います」と わるい れいは 答えました。レギオンとは 大ぜい という いみです。その男には たくさん の わるい れいが ついて いたのです。わるい れいたちは イエスさまに、 近くに いる ぶたの 体に 入らせて いただきたいと たのみました。

マルコ5：9-12



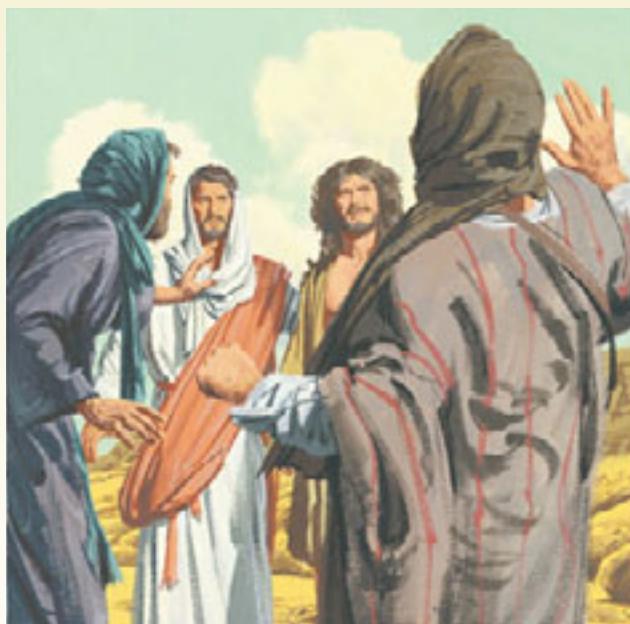
イエスさまは そのように されました。わるい れいたちは 男から 出て、 約2,000頭の ぶたの 体に 入りこみました。ぶたは がけを 下って 海に とびこみ、 おぼれてしましました。

マルコ5：13



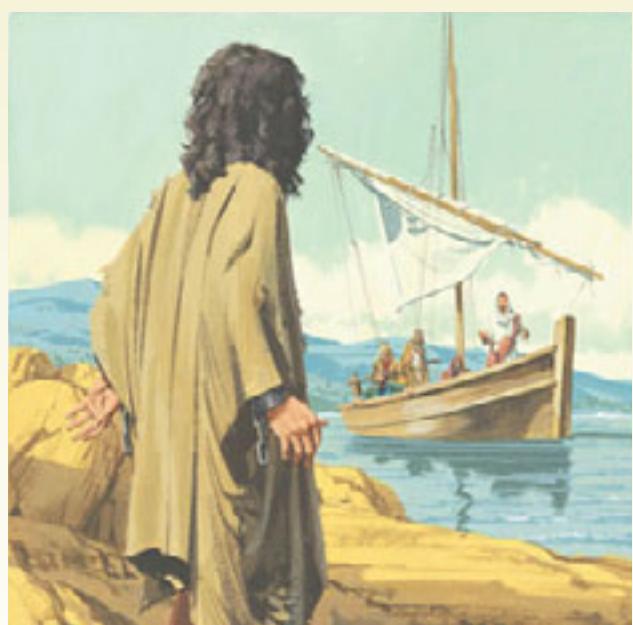
ぶたを かっていた ひとたちは まちへ 行って、その できごとを ひとびとに 話しました。 ひとびとは やって来て、イエスさまと、れいにとりつかれていた 男を見ました。 ところが、その男はもう あばれては いませんでした。

マルコ5：14-15



すると、ひとびとは イエスさまの ことが こわくなりました。そして イエスさまに そこを 出て行つて いただくように たのみました。イエスさまは ふねへ おもどりになりました。

マルコ5：15-18



いやされた 男は、イエスさまと 行きたいと おもいました。しかし すくいぬしは、そのかわりに 家へ 帰って、何が おきたかを 友だちに 話すように 言われました。

マルコ5：18-19



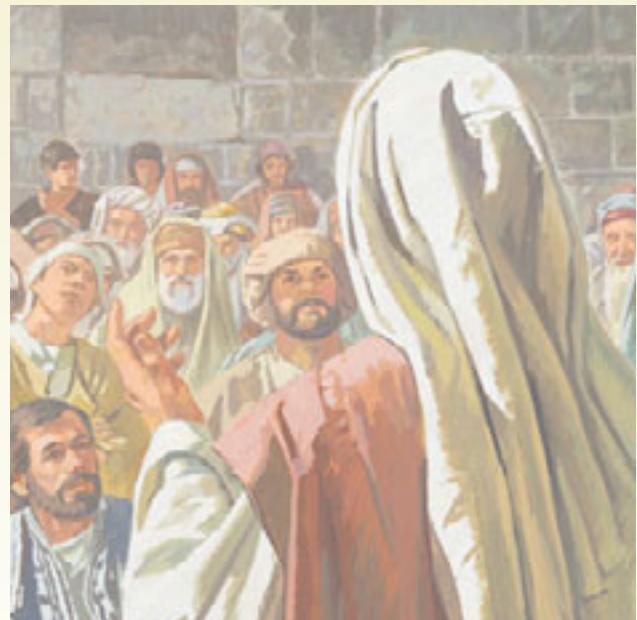
男は 友だちに 話しました。友だちは イエスさまが 大きな 力をもって いらっしゃることに おどろきました。

マルコ5：20



だい23しょう

ある  
歩けなかった男



ある日、イエスさまはある家で人びとをお教えになつていました。

ルカ5：17



なんにん ひと とも 何人かの人が友だちをねどこにねかけたまま、イエスさまのところへはこんで行こうとしました。その友だちは歩けませんでした。大ぜいの人びとが家にあつまっていたので、その人を家に入れることができませんでした。

ルカ5：18-19



男たちは 友だちを やねの 上にはこびました。やねを 少し はがして 友だちを 家の中へ おろしました。

マルコ2：4；ルカ5：19



その男たちの 強い しんこうを ごらんになった イエスさまは、 びょうきの人に、 かれの つみが ゆるされたことを おつたえになりました。そして、 ねどこを かたづけて 家に 帰るよう に 言われました。男は 立ち上りました。 びょうきが な おったのです。男は ねどこを もって 家へ 帰りました。神さまに とても かんしゃしました。

ルカ5：20, 24-25



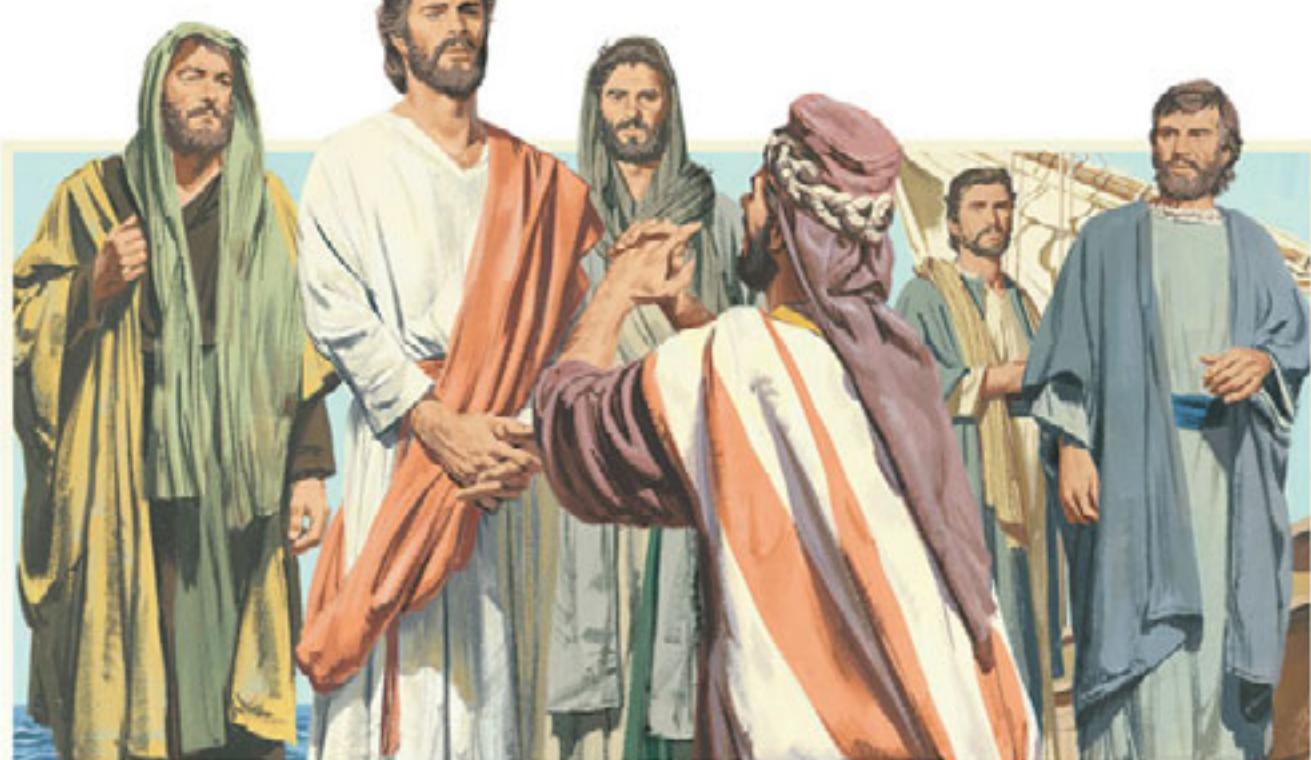
だい24しょう

## ヤイロのむすめ、 しからよみがえる



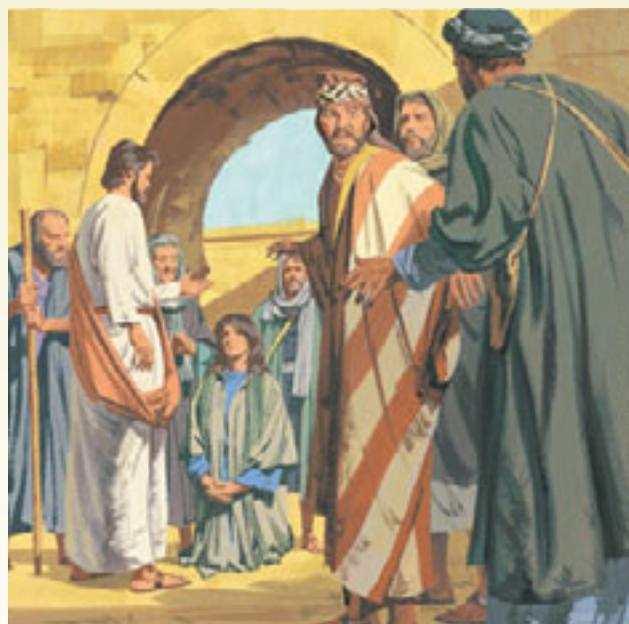
ある日、かいどうづかさの ヤイロが すくいぬしの 足  
もとに ひれふしました。

マルコ5:21-22



ヤイロは、12才の むすめが おもい びょうきに かかっていると 言いました。イエスさまに、来て しゅくぶくして くださるよう たのみました。ヤイロは イエスさま なら むすめを なおすことが おできになると しんじていました。

マルコ5:23, 42



イエスさまは ヤイロとともに 出かけられましたが、ある女のびようきをなおすために立ちどまられました。イエスさまが女と話しておられると、人がやって来て、むすめは死んでしまい、もう手おくれであることをヤイロにつたえました。

マルコ5：24-35

イエスさまはその話を聞いておられました。そしてヤイロに、おそれないでしんじるようにと言われました。

マルコ5：36



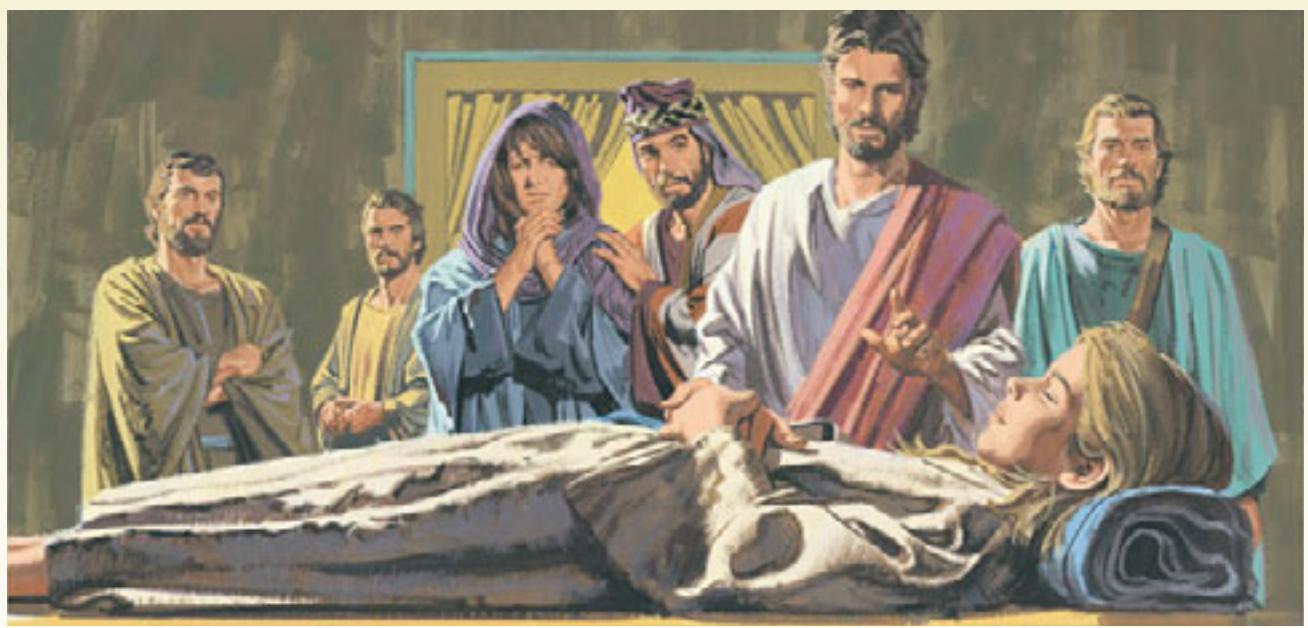
それからイエスさまはヤイロといっしょにヤイロの家へ行かれました。家には人が大ぜいいて、女の子が死んだことをかなしんでなっていました。

マルコ5：37-38



イエスさまは、女の子は死んでおらず、ただねむっているだけだと言われました。人びとはイエスさまをあざわらいました。女の子は間ちがいなく死んでいるとおもっていたからです。

マルコ5：39-40



すくいぬしは、でしたちと ヤイロ、ヤイロのつま いがいの人に 家から 出るように 言われました。そして、 女の子が ねていた へやに 行かれました。

マルコ5：40



イエスさまは 女の子の 手をとり、 立ち上がるよう に 言われました。 女の子は 立って 歩き出しました。 女の子の りょうしんは おどろきました。 イエスさまは かれらに、 このできごとについて だれにも 話さないよう に 言われました。 そして、 女の子に 何か 食べさせるよう に その子の りょうしんに 言われました。

マルコ5：41-43



だい25しょう

## イエスのころもに さわった女おんな



12年間、おもいびょうきてくるしんでいた女おんながいました。何人ものいしゃにみてもらいましたが、少しほよくなりませんでした。

マルコ5:25-26



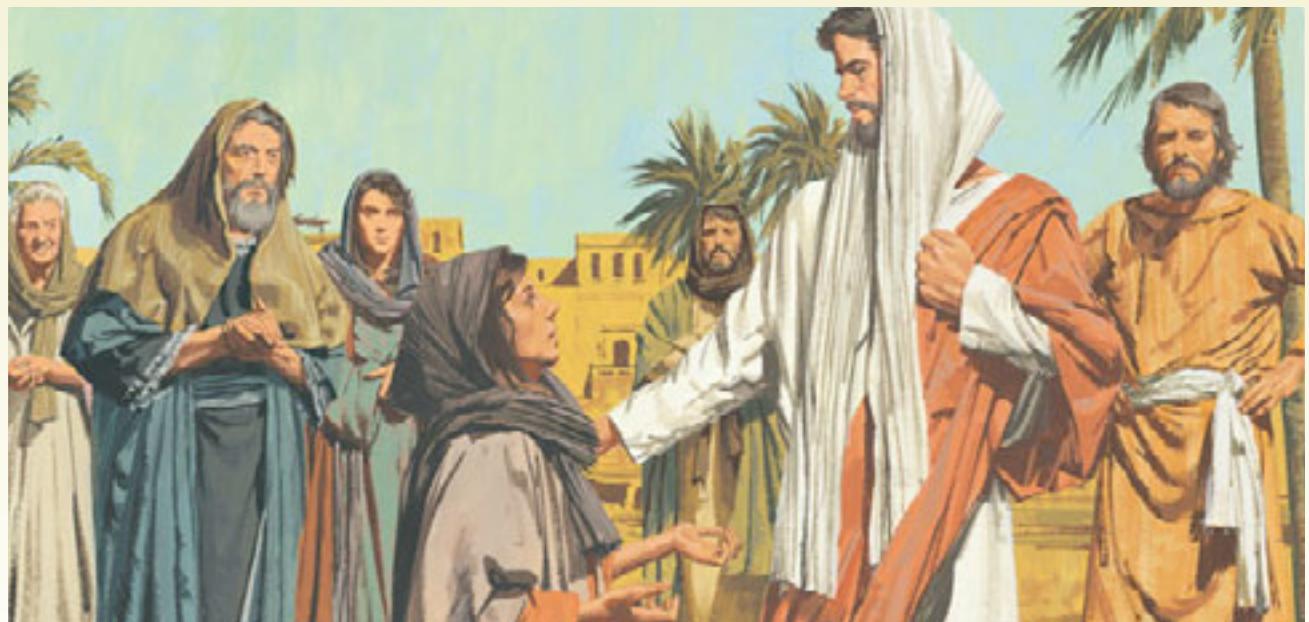
ある日、女おんなは人ひとびとにかこまれていらっしゃるイエスひとさまを見ました。女おんなは、イエスひとさまのころもにさわればびよきがなおるとおもっていました。人ひとごみの中にまぎれこみ、イエスひとさまのころもにさわりました。

マタイ9:20-22; マルコ5:27-28



すると、すぐにびょうきがなおりました。イエスさまはふりむいて、「わたしのころもにさわったのはだれですか」とおたずねになりました。

マルコ5:29-30



おんな女はこわくなりました。すくいぬしの前にひざまずいて、自分がさわったことをうち明けました。イエスさまは、おんな女がしんこうをもっていたのでびょうきがなおったと言われました。

マルコ5:33-34



だい26しょう

## イエス、女を おゆるしになる



あるパリサイ人が すくいぬしを 家に まねいて、いつしょに しょくじを してくださるように たのみました。

ルカ7:36



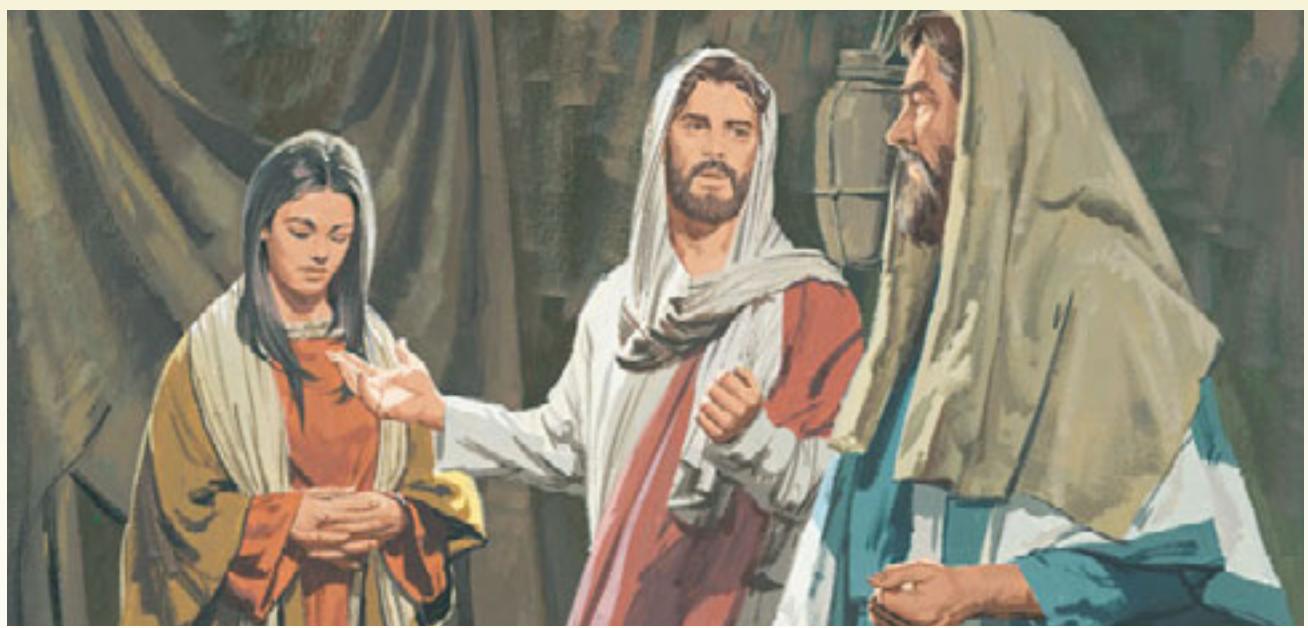
その町に まちひとりつみぶかい 女が すんでいました。女は、イエスさまが その パリサイ人の 家で しょくじをしておられることを 知っていました。イエスさまのために とくべつなことを したいと おもって いました。

ルカ7:37



女はひざまずいて自分のなみだですくいぬしの足をぬらしてあらいました。それから自分のかみの毛で足をふいて、その足にせっぷんしました。また、イエスさまの足にかおりのいいあぶらもぬりました。その女が多くのつみをおかしたことを知っていたパリサイ人は、イエスさまがその女にご自分をさわらせないようになさるべきだとおもいました。

ルカ7:38-39



すくいぬしはパリサイ人が何を考えているかごぞんじでした。そしてパリサイ人に、その女がパリサイ人よりもよくもてなしてくれたと言われました。パリサイ人は、きやくをまねいたときによくするように、足をあらう水や頭にぬるあぶらをイエスさまには出しませんでした。

ルカ7:44-46



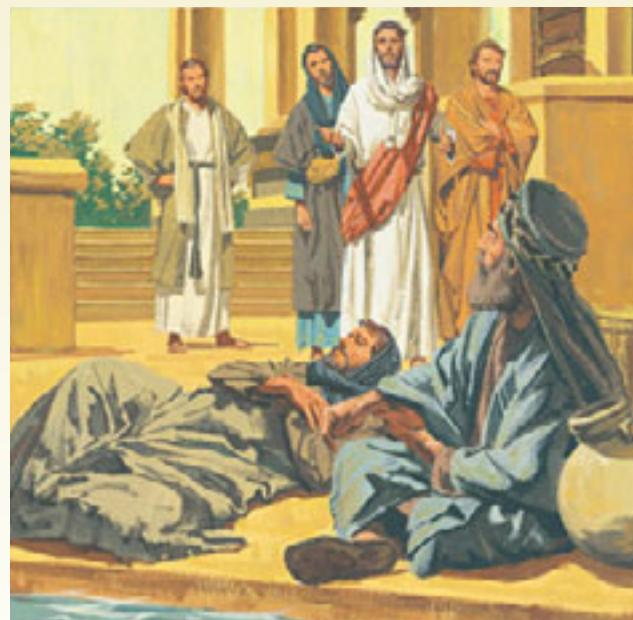
すくいぬしはパリサイ人に、その女がすくいぬしをあいし、しんじていたのでつみがゆるされたといわれました。イエスさまは女に、あんしんして行くように言われました。

ルカ7:47-50；教義と聖約58:42-43；『キリスト・イエス』258-259



だい27じょう

## ちじょうとう 地上でお父さまの わざを行われる



**ユ**ダヤ人のまつりの日、すくいぬしはエルサレムのベテスマという池にいらっしゃいました。入びとは、池の水がうごいたときさいしょに水の中に入った人はびょうきがなおるとしんじていました。

ヨハネ5:1-4



イエスさまは、池のそばで38年間歩けないでいる男をぐらんになりました。その日はあんそく日でした。イエスさまはその人に、びょうきがなおることをのぞんでいるかおたずねになりました。男はいつもさいしょに水に入れないでびょうきがなおらないと答えました。

ヨハネ5:5-7



イエスは男に言われました。「おきて、ねどこをかたづけて歩きなさい。」すると、たちまちその男のびょうきがおりました。

ヨハネ5:8-9



多くのユダヤ人はあんそく日にきせきを行うのはつみだと考えていました。かれらはイエスさまをころしたいとおもいました。

ヨハネ5:10-16



イエスさまは、お父さまがされるとおもうことだけをあんそく日に行うのだとお答えになりました。

ヨハネ5:17



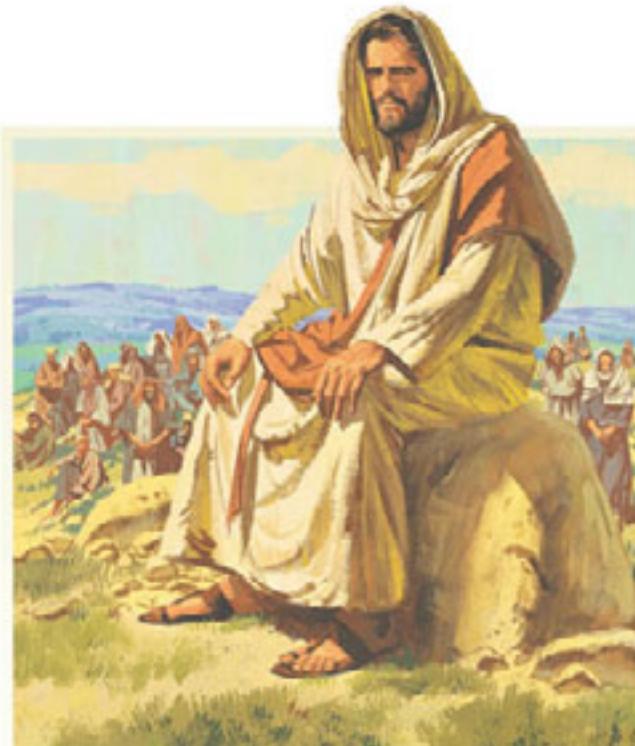
だい28しよう

# イエス、5,000人に 食べものを おあたえになる



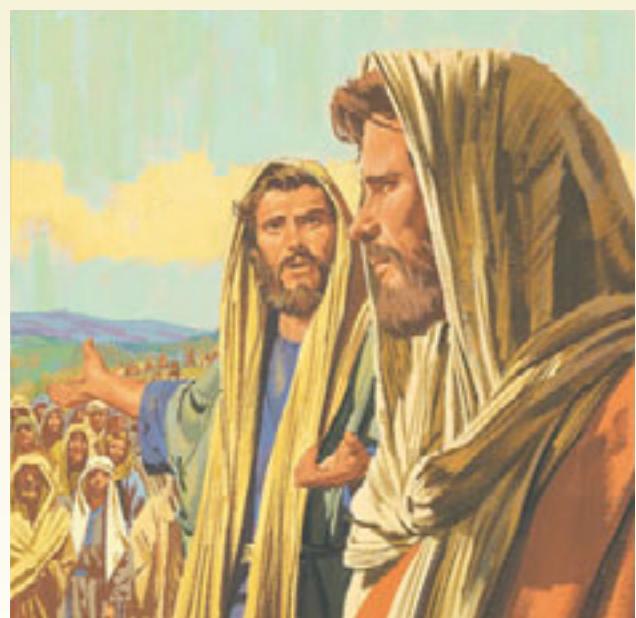
バ<sup>とも</sup>ブテスマのヨハネの友だちが イエスさまのところに 来て、ヨハネが 王に ころされたことを つたえました。

マタイ14:1-12



イエスさまは これを 聞いて、一人になるために ガリラヤ<sup>ひとり</sup>の海のそばに 行かれました。大ぜいの人が イエスさまのいらっしゃる ばしょを 知っていました。イエスさまに 教えていただきたいと 思い、5,000人いじょうの 人びとが イエスさまについて行きました。

マタイ14:13; マルコ6:44



イエスさまは ひとびとに たくさんのことをお教えになりました。しょくじをする 時間に なっていましたが、ほとんどの人は 食べものを もっていませんでした。でしたちは イエスさまに、人びとが 食べものを 買えるように 近くの村に この人たちを行かせてほしいと おもいました。

マルコ6:34-36



イエスさまは だれか 食べものを もってきた人は いないか、  
でしたちに さがすように 言われました。すると、 5つの  
パンと 2ひきの 小さい魚を もっている 少年を見つけました。

マルコ6：37-38；ヨハネ6：9



イエスは ひととに すわるように 言われました。それから  
パンと 魚を しゅくふくして、 小さく さかれました。

マルコ6：39-41



でしたちは 食べものを ひとに くばりました。ぜんいんが 十分に 食べても あまるほどでした。

マルコ6：41-44



だい29しよう

## イエス、水の上を お歩きになる



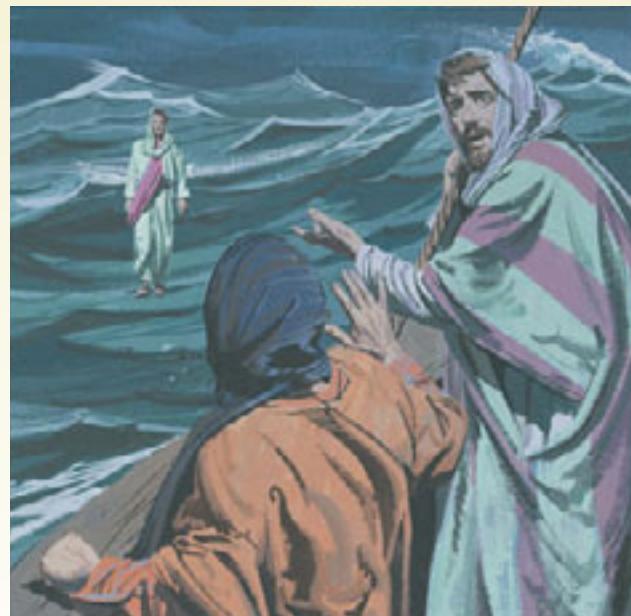
5,000人に食べものを おあたえになった後、イエスさまは 山にのぼって いのられました。でしたちは ガリラヤの海を わたるために ふねに のりました。夜になると、風が 強く ふいて、なみが 高くなってきました。

マタイ14:22-24



その夜 おそくになって、イエスさまは でしたちのところへ 来られました。イエスさまは、水の上を 歩いて ふねの方へ 来られたのです。

マタイ14:25



でしたちは イエスさまが 水の上を 歩いておられるのを見て、こわくなりました。ゆうれいだと おもったのです。イエスさまは でしたちに、「わたしである。おそれることはない」と声を おかげになりました。

マタイ14:26-27



ペテロも 水の上を 歩きたいと おもいました。イエスさまは ペテロに ご自分の もとへ 来るよう に 言われました。ペテロは ふねから おりました。そして、すくいぬしの方へ むかって 水の上を 歩きはじめました。

マタイ14:28-29



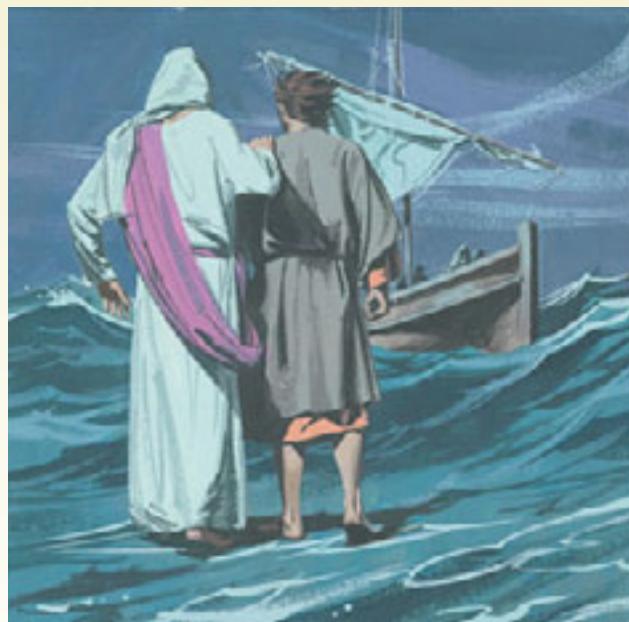
かぜ 風が とても はげしかったので、ペテロは こわくなりました。だんだん 水の中に しづみはじめたので、イエスさまに たすけを もとめて さけびました。

マタイ14:30



すくいぬしは ペテロの手を つかまれました。そして なぜ もっと しんこうが なかったのか ペテロに おたずねになりました。

マタイ14:31



イエスさまと ペテロが ふねに のりこむと、あらしは やみました。でしたちは せんいん すくいぬしを おがみました。イエスさまが 神のおん子であられると 分かったからです。

マタイ14:32-33



---

だい30しよう  
いのちのパン



つぎの日、おおぜいの人びとが イエスさまを さがして  
いました。人びとは ふねに のって カペナウムまで  
イエスさまについて行きました。

ヨハネ6:22, 24



イエスさまは、人びとがまた食べものをあたえてほしいとのぞんでいると分かっておられました。

ヨハネ6:26



イエスさまは 人びとに、 人は パンを 食べても わずかしか 生きられないと お教えに なりました。また、 いのちのパン といふ、 べつのパンを さがしもとめるように 言われました。そして ご自分こそが、 その いのちのパンであると 言われました。

ヨハネ6:27, 32-35



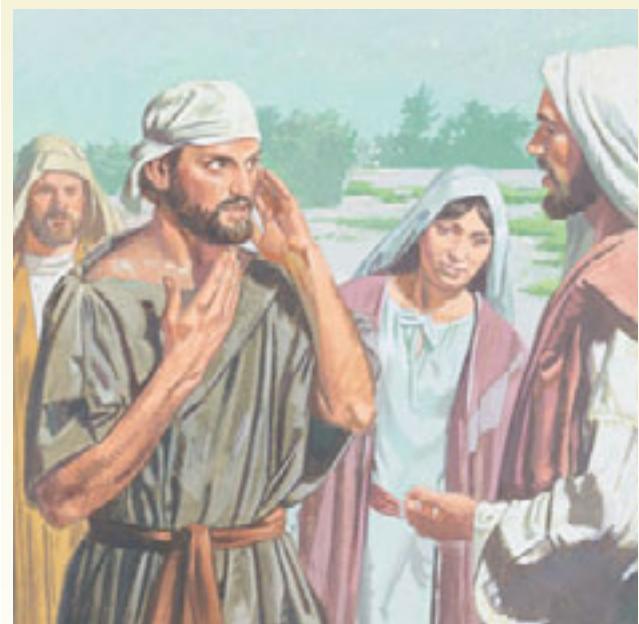
イエスさまは、 人びとの ために ご自分の いのちを さし出すつもりであることを お話しに なりました。そして、 ご自分に したがって しんじる人は、 えいぞくする 命を えられると 言われました。

ヨハネ6:47-51



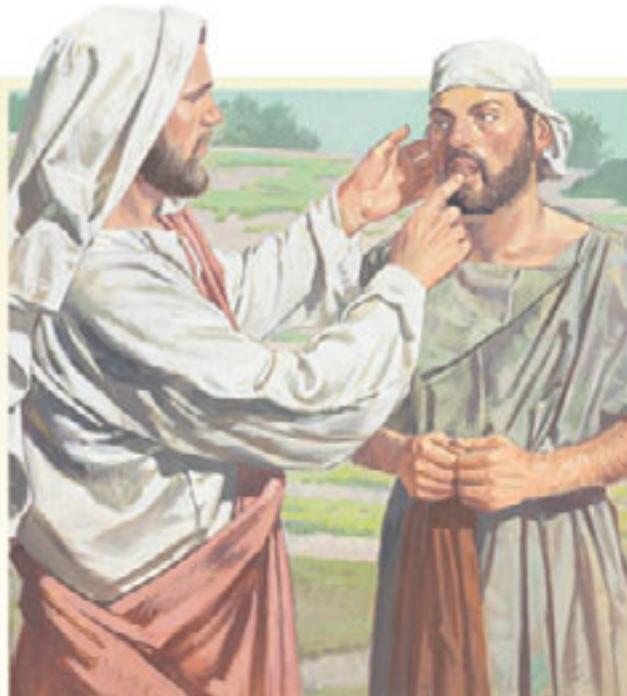
だい31しょう

## イエス、 耳がふじゅうな人を いやされる



イエスさまのところに 一人の男を つれて來た 人びと  
が いました。その男は 耳が 聞こえず、 上手に 話  
が できませんでした。人びとは すくいぬしに その人を  
なおしていただきたいと おもいました。

マルコ7:32



イエスさまは その男を ほかの人が いないところへ つれ  
て行かれました。そして 男の耳に ゆびを お入れに なり  
ました。それから 男の したを さわって しゅくふくされま  
した。

マルコ7:33-34



すると、 男は 耳が 聞こえて、 話せるよう になりました。  
人びとは 男の 言うことが 分かるよう になりました。イエ  
スさまは 人びとに、 そのできごとについて 話さないよう  
に 言われましたが、 人びとは みんなに 話して しました。

マルコ7:35-36



だい32しょう

## ペテロ、キリストについて あかしする



イエスさまは でしたちに、ひとびとは ご自分のことを  
何ものだと おもっているのか おたずねになりました。

マタイ16:13; マルコ8:27; ルカ9:18



イエスさまのことを バプテスマのヨハネだと おもっている人が いると、 でしたちは 答えました。また、 しから よみが  
えった きゅうやくじだいの よげんしゃだと おもっている人も いました。

マタイ16:14; マルコ8:28; ルカ9:19



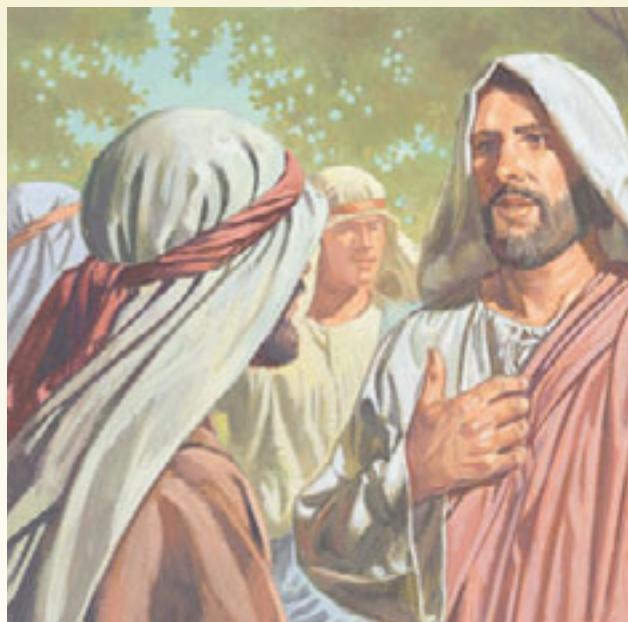
イエスさまは でしたちに、 ご自分が だれであると おもつ  
ているか おたずねになりました。ペテロは、「あなたこそ、  
生ける 神の子、 キリストです」と答えました。

マタイ16：15-16；マルコ8：29；ルカ9：20



イエスさまは、 ペテロの あかしは ひと の 教えから ではなく、  
神さまの けいじによって あたえられた ものであると せつ  
めいなさいました。

マタイ16：17



イエスさまは ペテロに、 教会を みちびくための しんけん  
と けんのうを さずけると やくそくされました。そうすれ  
ば、 ペテロや でしたちは 地上で イエスさまの 教会を 立  
てる けんのうを もつことが できるのです。

マタイ16：18-19



イエスさまは でしたちに、 ご自分が キリストであることを  
まだ だれにも 言わないように おめいじになりました。イ  
エスさまは まず くるしみ、 ころされ、 3日目に しから よ  
みがえられなければ なりませんでした。

マタイ16：20；マルコ8：30-31；ルカ9：21-22



だい33しょう

## えいこうをうけて みすがたをあらわされる ——しゅのへんぼう



イエスさまはペテロ、ヤコブ、ヨハネを高い山の上へつれて行き、いのられました。

マタイ17:1; マルコ9:2; ルカ9:28



イエスさまがいのっておられると、神さまのえいこうにつつまれました。イエスさまの顔はたいようのようにもぶしくかがやいていました。モーセとエリヤというきゅうやくじだいのよげんしゃがイエスさまにあらわれて、これからおきる、イエスさまの死とふつかつについて話しました。

マタイ17:2-3; マルコ9:3-4; ルカ9:29-31



イエスさまが いのっておられる間、 しとたちは ねむつ  
て しまいました。

ルカ9:32



しとたちは 目を さました とき、 イエス・キリスト、 モーセ、 エリヤの えいこうを 見ました。 そして 天のお父さまが「これは わたしの あいする子、 わたしの 心に かなうものである。 かれに 聞きなさい」と あかしされる 声を 聞きました。

マタイ17:5; マルコ9:7; ルカ9:32, 35



しとたちは おそれて 地に ひれふしました。 イエスさまは しとたちに 手を おいて、 おそれないようにと 言われました。 しとたちが 見上げると、 天からの つかいは いなくなつて いました。 イエスさまは しとたちに、 ご自分が 死んで ふつかつされる まで、 いま 見たことを だれにも 話さないように 言われました。

マタイ17:6-9; マルコ9:8-9



だい34しよう

## あくれいにつかれた少年しょうねん



ある日、ひとりの男が すくいぬしに、むすこを たすけて いただきたいと たのみました。その男の子にはわるい れいが ついて いました。でしたちは 先に その子を なおすと しましたが、 できませんでした。

マルコ9：14-18



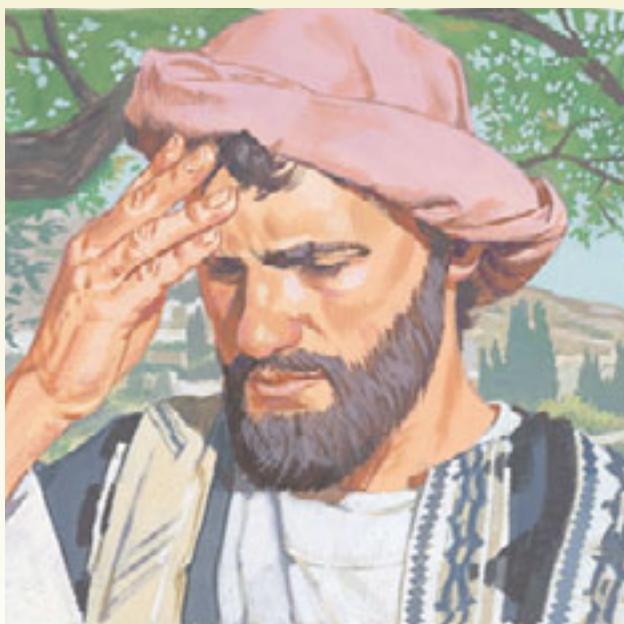
イエスさまは その人に、むすこを つれて 来るように 言わされました。少年が イエスさまの ところに 来たとき、わるい れいが その子を じめんに たおしました。

マルコ9：19-20



すくいぬしは、その子が わるい れいに つかれてから どれくらい たつか おたずねに なりました。父親は 小さい ころから ですと 答えました。

マルコ9：21



イエスさまは、父親に しんこうが あれば むすこを なおす  
ことができると言われました。父親は なきはじめて、し  
んこうを もっていると 答えました。しかし、もっと 強い  
しんこうを もてるように たすけてくださいるよう、イエスさ  
まに たのみました。

マルコ9：23-24



イエスさまは あくれいに、少年の 中から 出て、もう に  
どと 入らないように おめいじになりました。すると、あ  
くれいは おこって、また 少年を くるしめました。それか  
ら イエスさまに 言われたとおりに 出て行きました。

マルコ9：25-26



少年が とても しずかになつたので、多くの人は 少年が  
死んだのだと 言いました。しかし、イエスさまは 少年の  
手を とって 立ち上がれるよう おたすけになりました。  
少年は いやされて、あくれいは いなくなりました。

マルコ9：26-27



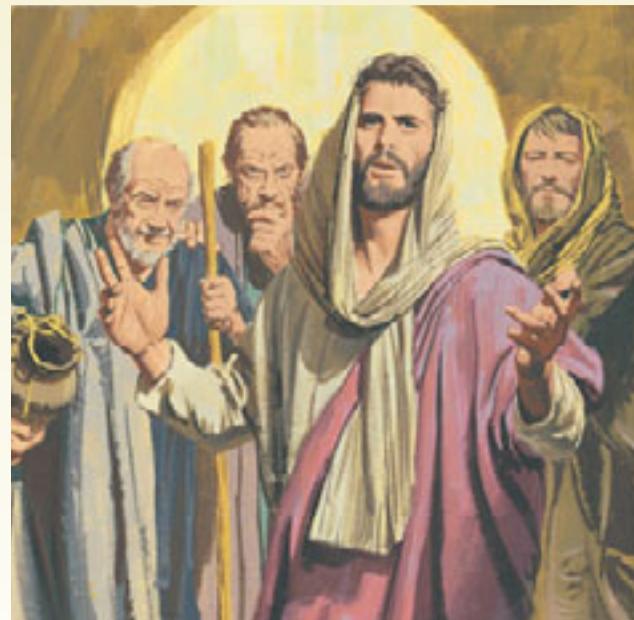
あと  
後で、 でしたちが イエスさまに、自分たちが あくれいを  
少年から おい出せなかつたのは どうしてか たずねました。  
イエスさまは、人を いやすためには だんじきをして いの  
らなければ ならない ときがあると お答えになりました。

マタイ17：20-21；マルコ9：28-29



---

だい35しょう  
よいサマリヤ人



イエスさまはたくさんのものがたりやたとえをつかつて、人びとがしんりを学ぶことができるようになさいました。

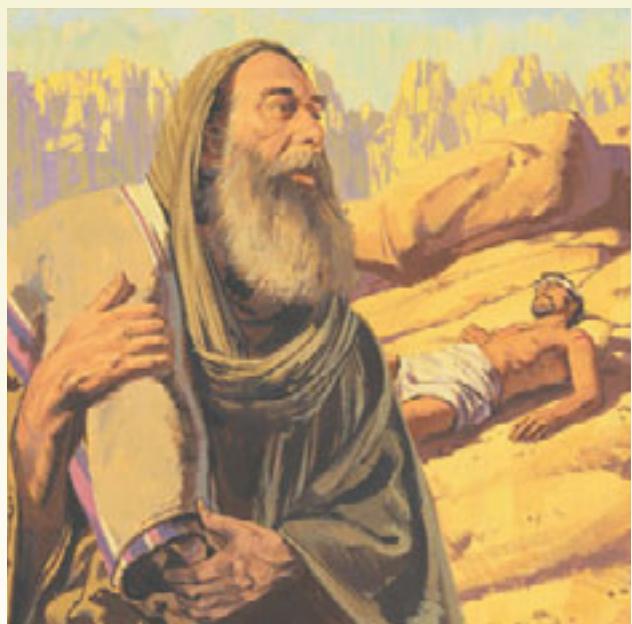


ある日、ユダヤ人のしどうしゃがイエスさまに、えいえんのいのちをえるために何をしなければならないかたずねました。すくいぬしは、せいぶんに何と書いてあるかおたずねになりました。そのしどうしゃは、人は神さまをあいし、となり人もあいさなければなりませんと答えました。イエスさまはその答えは正しいと言われました。すると、しどうしゃは「となり人とはだれですか」と聞きました。

ルカ10:25-29

イエスさまはそれに答えて、一つのものがたりをお話しになりました。ある日、一人のユダヤ人がエリコへ行くために道を歩いていました。すると、ごうとうが来てその人のものをぬすんで、その人をなぐりつけました。ごうとうたちはその人をはんごろしのまま、道ばたにおきざりにしました。

ルカ10:30



間もなくして、ユダヤ人のさいしが通りかかってその人を見ました。さいしは道のはんたいがわを通って行き、その人をたすけませんでした。

ルカ10:31



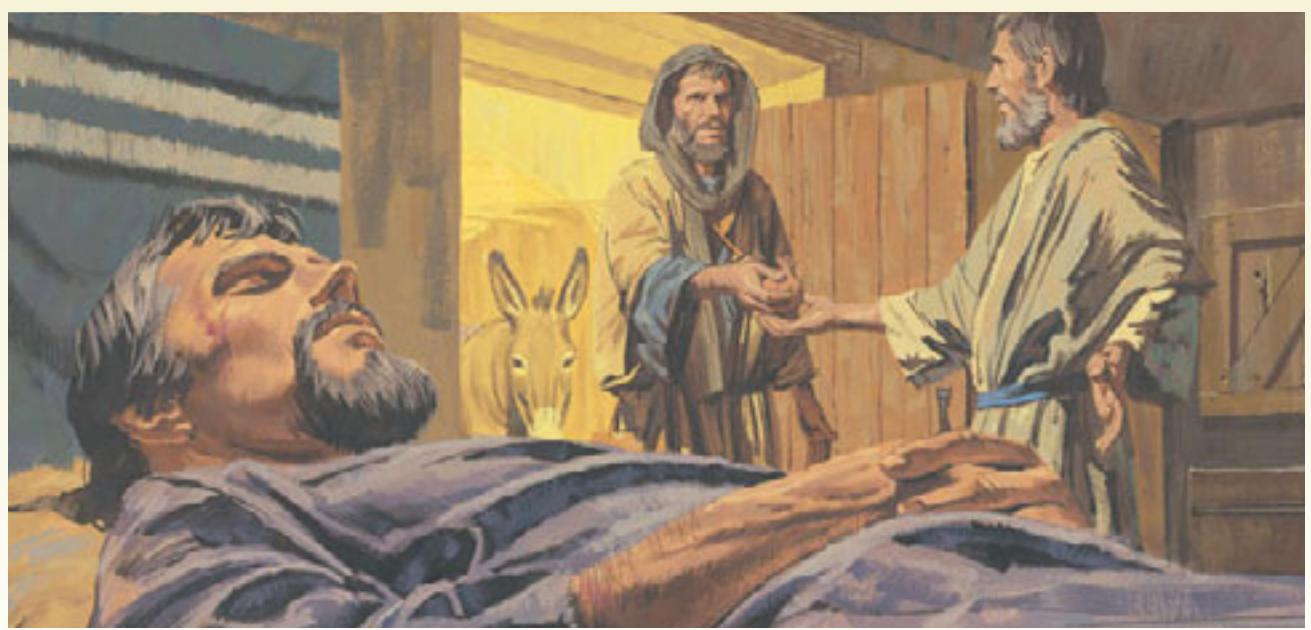
しんでんではたらく、べつのユダヤ人が通りました。けがをした人を見ましたが、同じようにたすけないで道のはんたいがわを通って行きました。

ルカ10:32



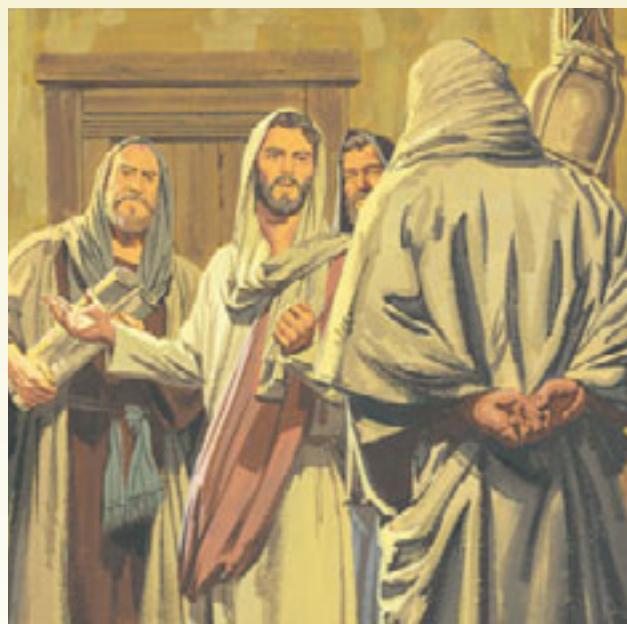
それから、サマリヤ人がやってきました。ユダヤ人とサマリヤ人はなかがよくありませんでした。しかし、そのサマリヤ人は、たおれている人を見て気のどくにおもいました。男のきずの手あてをして、きものをきてあげました。

ルカ10:33-34；ヨハネ4:9；『聖句ガイド』「サマリヤ人」のこう、110



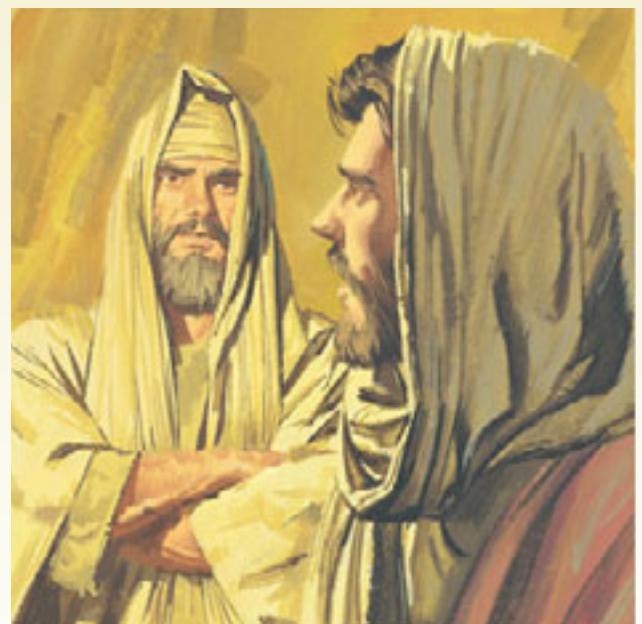
サマリヤ人は男をやどにつれて行き、つぎの日までせわをしてあげました。サマリヤ人はしゅっぱつしなければならなくなると、やどやのしゅじんにお金をわたしてその男のせわをたのんで行きました。

ルカ10:34-35



この話をしおわったとき、イエスさまはユダヤ人のしどうしゃに、3人のうちどの人がきずをおった人のとなり人だったかおたずねになりました。

ルカ10:36



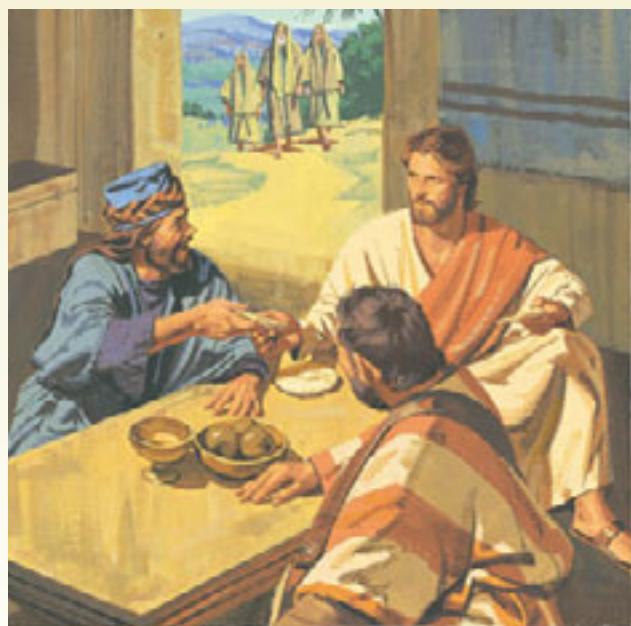
しどうしゃは、男をたすけたサマリヤ人だと答えました。イエスさまはユダヤ人のしどうしゃに、サマリヤ人のようになりなさいと言われました。

ルカ10:37



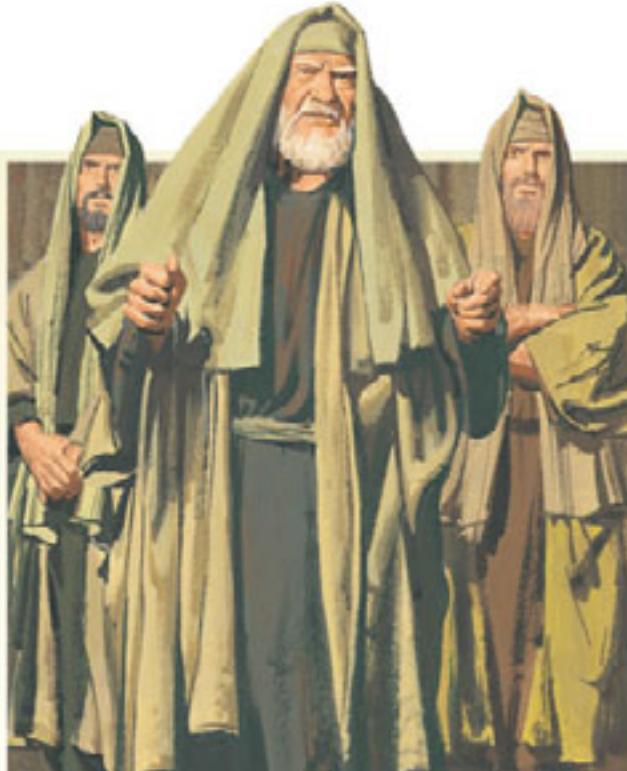
だい36しょう

## イエス、3つのたとえを お話しになる



イエスさまはある日、多くの人がつみ人とおもっている人びととしょくじをしたり、話をしたりしておられました。すうにんのパリサイ人がそれを見ていました。

ルカ15：1-2



パリサイ人は、正しい人はつみ人と話すべきでないとおもっていました。そして、つみ人と話をされていたイエスさまを正しい人ではないとおもいました。

ルカ15：2



すくいぬしはパリサイ人に、自分がなぜつみ人といっしょにいるのかりかいしてほしいとのぞんでおられました。そこで、3つのたとえをお話しになりました。さいしょはいなくなつたひつじについての話です。

ルカ15：3：『預言者ジョセフ・スミスの教え』277



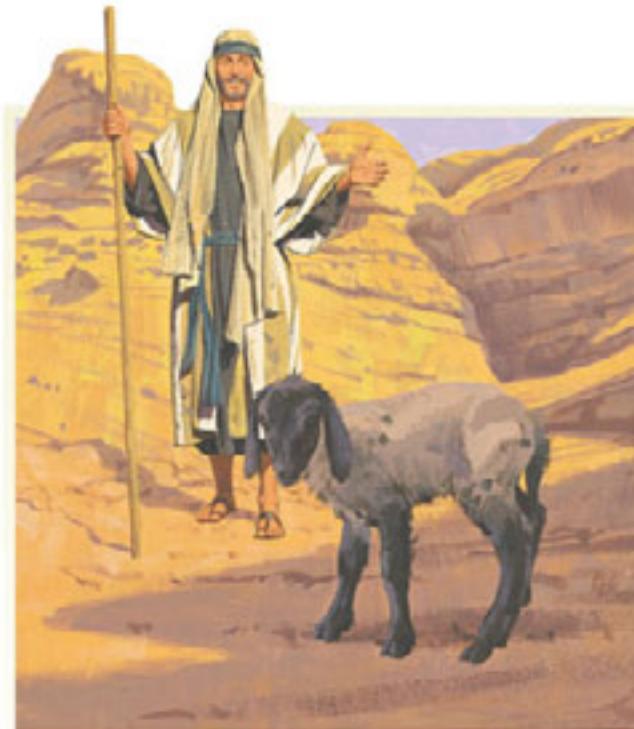
め  
1つ目のたとえ

## いなくなったひつじ



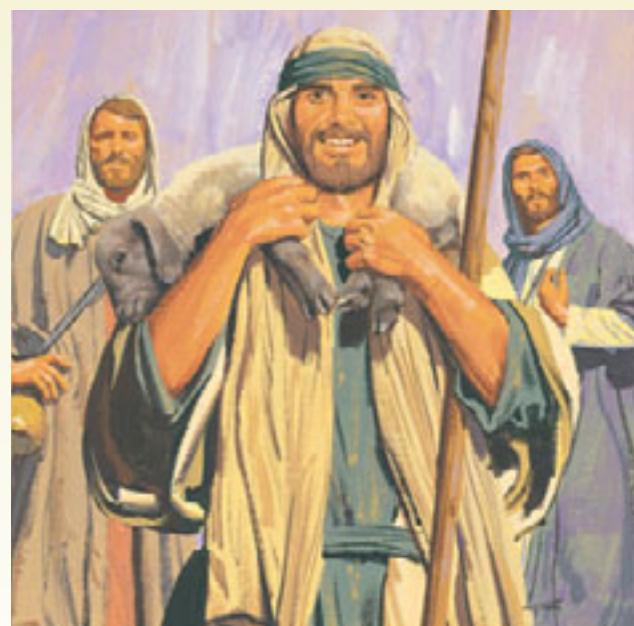
あるよいひつじかいに 100ぴきのひつじがいましました。その中の1ぴきがいなくなりました。

ルカ15:4



ひつじかいはいなくなったひつじをさがすために、のこりの99ひきをおいて行きました。ひつじかいはいなくなったひつじを見つけると、とてもよろこびました。

ルカ15:4-5



ひつじかいはひつじをつれて帰りました。すべての友だちときんじょのひととをよんで、いつしょによろこびました。いなくなったひつじを見つけたからです。

ルカ15:5-6



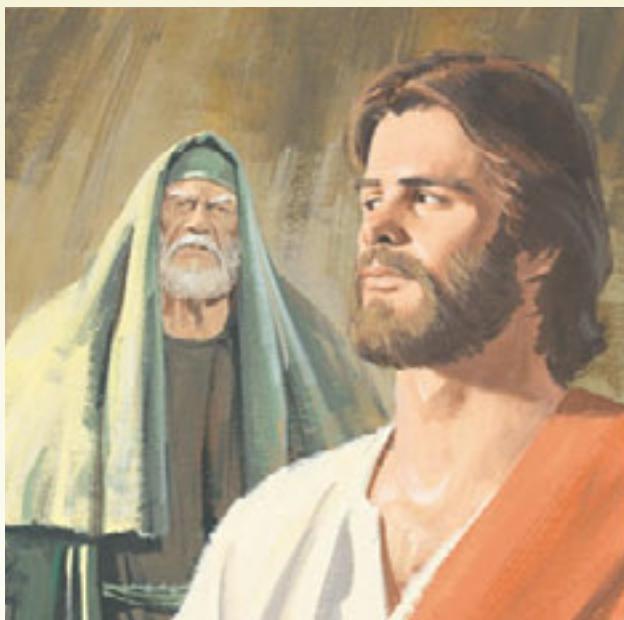
イエス・キリストは パリサイ人に その たとえの いみを せつめいなさいました。イエスさまは、 つみを おかした 人びとは いなくなつた ひつじに にていると 言われました。

ルカ15:7



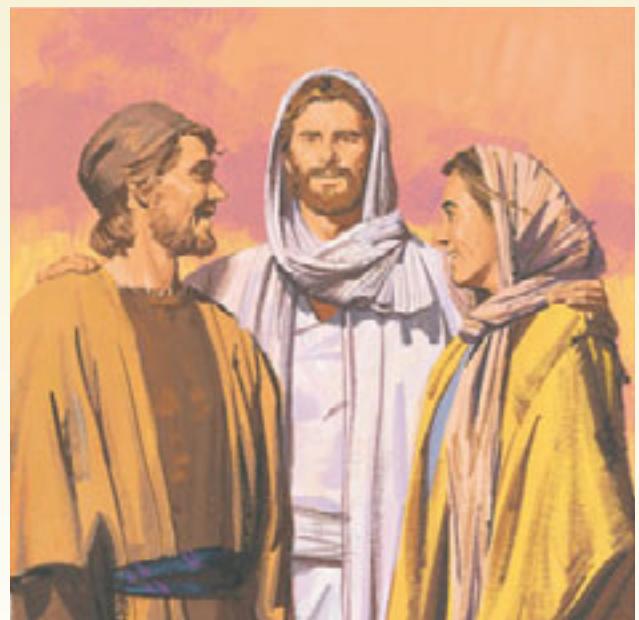
ひつじかいが いなくなつた ひつじを すくいたいと おもつた ように、イエスさまも つみを おかした 人びとを すくいたいと おもって おられるのです。

マルコ2:17



イエスさまは、 その りゆうで つみ人と 話して いるのだと 言われました。

マタイ18:11; マルコ2:17



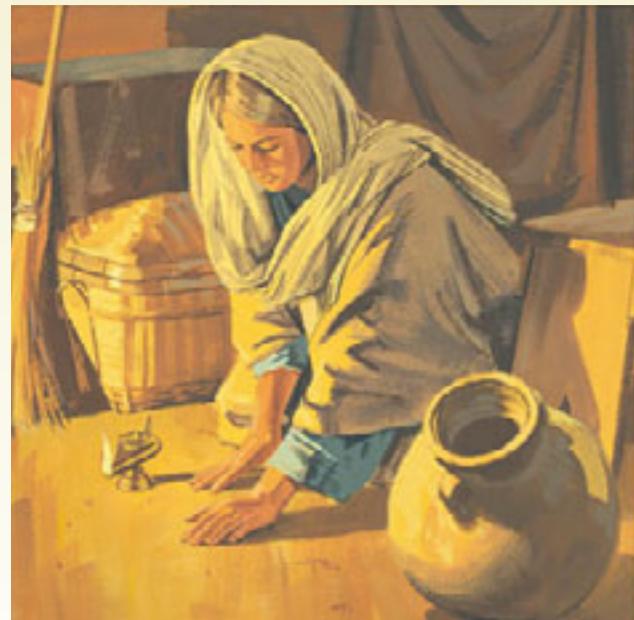
そして、 いなくなつた ひつじを 見つけた ときに ひつじかいが とても よろこんだのと 同じように、 人が くいあらためると、イエスさまも たいへん およろこびになります。

ルカ15:6-7



め  
2つ目のたとえ

## なくなったぎんか



ある女が 10まいの ぎんかを もって いました。そのうちの 1まいを なくして しまいました。女は 家中を さがしました。

ルカ15:8



そして ようやく ぎんかを 見つけました。女は とても よろこびました。友だちや きんじょの ひととを よんで、 そので きごとを 話しました。みんなも、 なくなった ぎんかが 見つかった ことを よろこびました。

ルカ15:9



教会の しどうしゃや かいいんは この たとえの 女に にています。なくなつた ぎんかは 教会に 来て いなかつたり、 いましめを まもって いなかつたりする 教会の かいいんです。そのような かいいんは 教会から いなくなつて いるかの ようです。イエス・キリストは 教会の かいいんが、いなくなつた 兄弟や しまいを見つけて ご自分の もとへ つれもどすことを のぞんで おられます。いなくなつた 人が もどつくるとき、 しゅは とても およろこびになります。

『キリスト・イエス』446-447



たとえに 出てきた 友だちや きんじょの ひととは 神さまの てんしたちの ようです。人が くいあらためる とき、 てんしたちは よろこびます。

ルカ15:10



## め 3つ目のたとえ

# いなくなったむすこ



ある人に二人のむすこがいました。その人が死んだら、むすこたちにざいさんを分けるやくそくをしていました。年が下のむすこはまち切れませんでした。父親に、自分の分け前をくれるようになのみました。そこで父親はその分け前をわたしました。

ルカ15:11-12



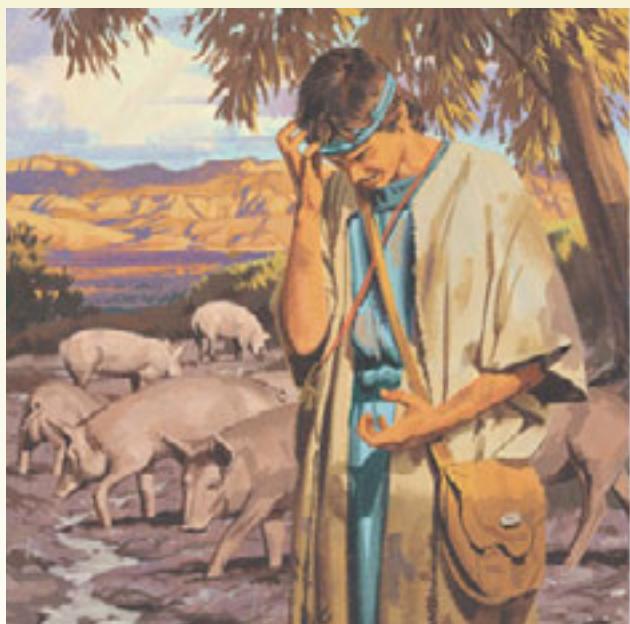
むすこはお金を持って家を出て行きました。そしてよその国へ行きました。むすこはなんどもつみをおかしました。そしてとうとうお金をつかいはたしてしまいました。

ルカ15:13



ついに むすこは 食べものを 買う お金も なくなりました。 とても おなかが すいて いました。 ある人に たすけて くれるように たのむと、 その人は ぶたに えさを やる しごとを くれました。

ルカ15：14-15



むすこは とても おなかが すいて いたので、 ぶたの えさを 食べたいと おもいました。 自分の 父親の 家で はたらいている しもべたち でも、 今の 自分より おいしい ものを 食べていると 知っていました。

ルカ15：16-17



そこで、 くいあらためて 父親の 家で めしつかい として はたらかせて もらおうと 心に きめました。 父親は むすこが 家に 帰って来るのを見ました。

ルカ15：18-20



父親は かけよって、 むすこを 出むかえました。 むすこを だきよせて、 せっぷん しました。

ルカ15：20



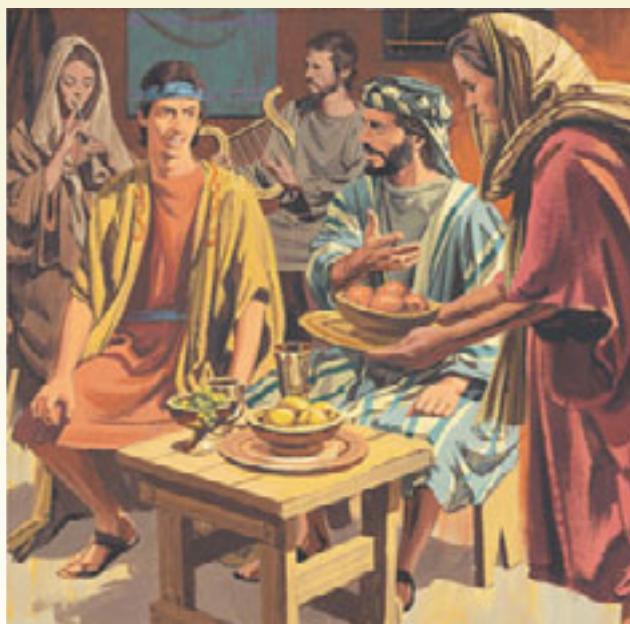
むすこは <sup>じぶん</sup>自分が つみを おかした ことを <sup>ちちおや</sup>父親に うちあけました。父親の むすこと よばれるのに ふさわしくないと かんじていました。

ルカ15:21



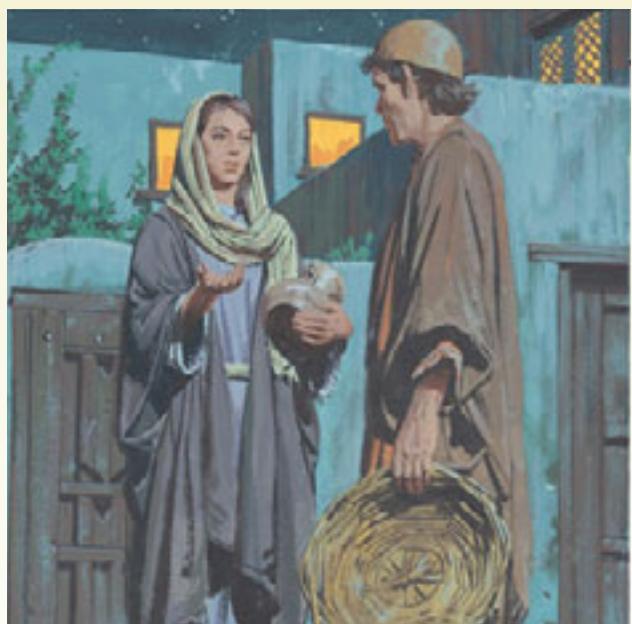
父親は しもべを よんで、 いちばん じょうとうな きものを もって 来て むすこに きせる ように 言いました。 しもべは むすこの 足に くつを はかせ、 ゆびに ゆびわを つけました。

ルカ15:22



父親は しもべに、 ごちそうを じゅんびする ように 言いました。 みんなに いわって ほしかった のです。 つみを おかした むすこが くいあらためて 家に 帰って 来たからです。

ルカ15:23-24



年上の むすこは はたけしごとを していました。 家に 帰ると、 音楽や おどりの 音が 聞こえました。 しもべから、 弟が 帰って 来た ことを 聞かされました。 父親は みんなに いわって ほしかったのです。

ルカ15:25-27



上の むすこは おこって 家の 中に 入りませんでした。 父親が 出て 来て、 その むすこと 話しました。

ルカ15:28



父親は、年上のむすこがずっとそばにいてくれたことにかんしゃしました。父親がもっているものはぜんぶ上のむすこのものになるのです。また、いわうことは正しいとも言いました。下のむすこがくいあらためて家に帰って来たことがうれしかったからです。

ルカ15:31-32



イエスさまがパリサイ人に3つのたとえを話されたのは、天のお父さまがすべての人をとてもあいしておられることを知つてほしいとおもつておられたからです。お父さまはご自分にしたがう人びとをあいしておられます。つみをおかす人びともあいしていらっしゃいますが、その人びとがくいあらためるまでしゅくふくすることがおできになりません。お父さまはつみをおかした人びとがくいあらためてご自分のもとにもどつて来ることをのぞんでおられます。そして、その人びとがくいあらためられるようにたすけて、その人がもどつて来たときにはよろこぶように、わたしたちにのぞんでいらっしゃるのです。

ヨハネ3:16-17



だい37しょう

## おもいひふびょうに かかった10人の人



イエスさまはある町に行かれました。そこでおもいひふびょうにかかった10人の人をござらんになりました。おもいひふびょうにかかると、体中にひどいはれものができます。

ルカ17:12



いしゃはおもいひふびょうにかかったひとをなおすことができませんでした。ひととはおもいひふびょうにかかったひとのそばにこわくて行けませんでした。同じびょうにかかりたくなかったからです。

ルカ17:12



おもいひふびょうにかかったひとたちはイエスさまにおしてくださるようおねがいしました。イエスさまなら、はれものをなおすことがおできになると分かっていたからです。

ルカ17:13



イエスさまは おもい ひふびょうに かかった ひとたちの びょうきが なおることを のぞんで いらっしゃいました。そこで かれらに、行って、さいしたちに 体を見せるように おっしゃいました。

ルカ17：14



さいしの ところに 行く とちゅうで、おもい ひふびょうに かかった 10人の 人は いやされました。はれものが きましたのです。

ルカ17：14



おもい ひふびょうに かかった人の ひとりは、イエスさまが なおしてくださった ことが 分かりました。そこで、イエスさまにおれいを 言うために もどりました。イエスさまは、ほかの 9人は どこに いるのか おたずねになりました。その 9人は もどって来ませんでした。イエスさまは もどって来た 人に、その人に しんこうが あったので びょうきが なおった のだと 言われました。

ルカ17：15-19



だい38しょう

## パリサイ人としゅぜい人



ある日、すくいぬしは人びとと話していらっしゃいました。その人びとは、自分たちをほかの人びとよりも正しいとおもっていました。そこでイエスさまはたとえをお話しになりました。

ルカ18:9



ふたりの人がいのるためにしんでんへ行きました。一人はパリサイ人で、もう一人はぜいきんをとり立てるしゅぜい人です。人びとはしゅぜい人をきらっていました。しゅぜい人は正直でないとおもわれていたのです。

ルカ18:10



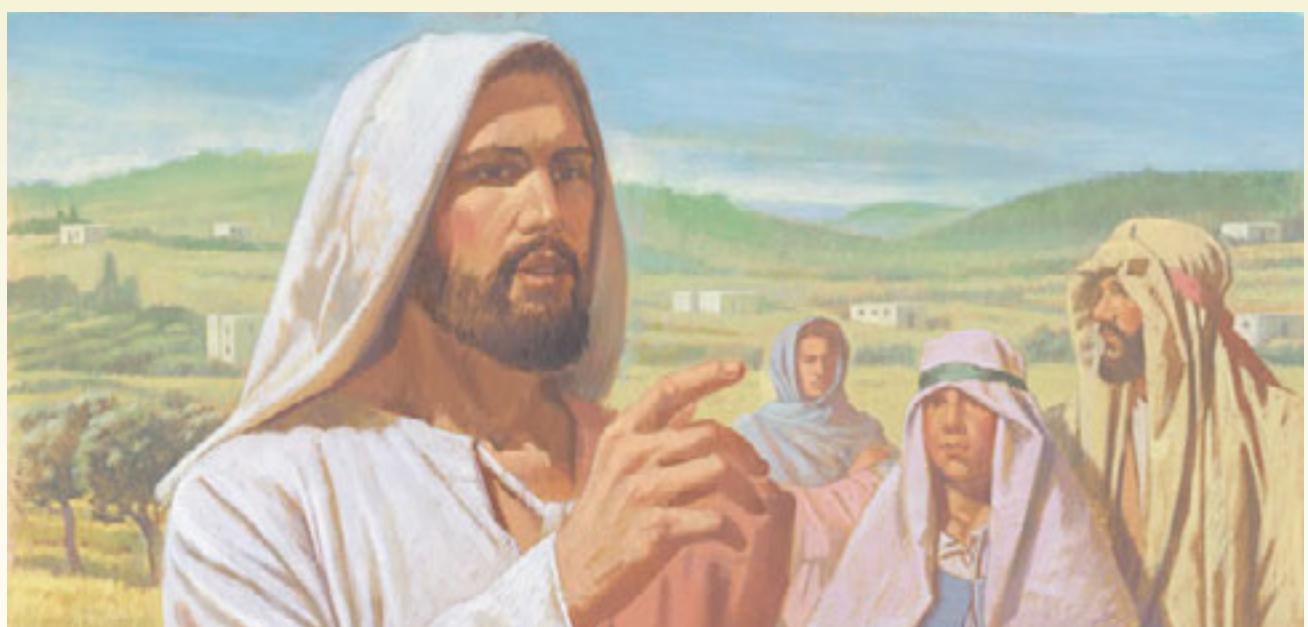
パリサイ人は みんなの 前に 立って、いのりました。自分が 人よりも ひとつであることを 神さまに かんしゃしました。  
週に 2回 かい だんじきして じゅうぶんの一を おさめている と 言いました。しかし しゅぜい人は 一人で 立って 頭を 下げて、  
「神さま、 つみ人の わたしをおゆるしください」と いのりました。

ルカ18:11-13



パリサイ人は自分がかんせんで、神さまのたすけはひつようないとおもっていました。しかししゅぜい人は自分がかんせんではなく、神さまのたすけがひつようだと分かっていました。しゅぜい人はへりくだっていて、神さまにゆるしていただきたいとおねがいしたのです。

ルカ18:14



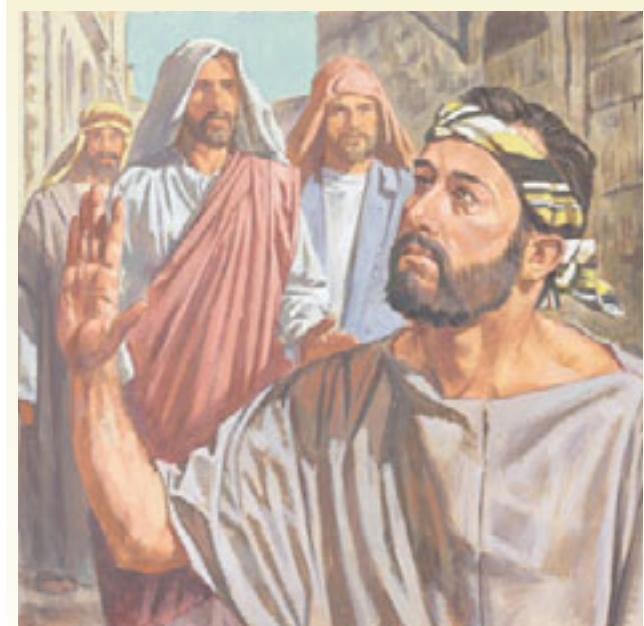
イエスさまは、人はしゅぜい人のようにならなければいけないと言われました。自分は人よりもすばらしいとおもうべきではありません。自分のつみをくいあらためて、ゆるしてくださるよう神さまにおねがいしなければなりません。

ルカ18:14



だい39しよう

# イエス、もうもくの人を おいやしになる



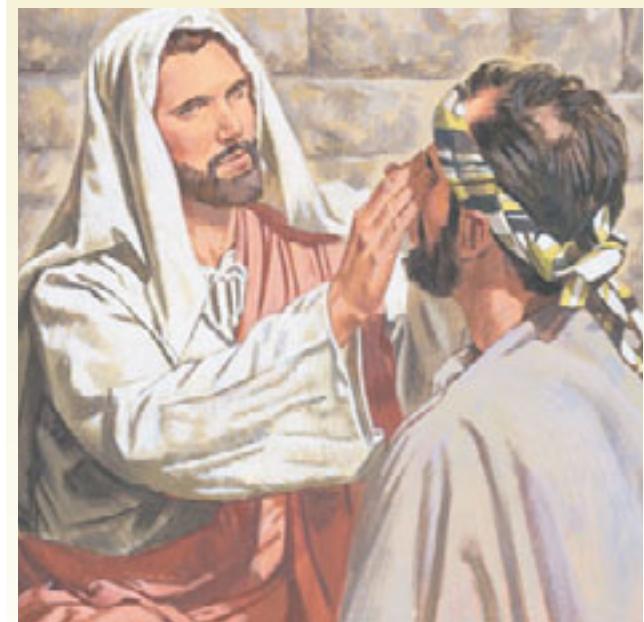
ある日、イエスさまは でしたちと 歩いて おられました。すると、生まれたとき から 自が 見えない 男を ごらんになりました。その人の 自が 見えない のは その人が つみを おかしたか、それとも その人の りょうしんが つみを おかした から なのかと でしたちは たずねました。

ヨハネ9：1-2



すくいぬしは、りょうしんも その人も つみを おかしては いないと お答えに なりました。イエスさまが その人を いやして、ひびとに 神さまの 力を あらわすことが おできになるように、 その人の 自が 見えなかつたのです。

ヨハネ9：3-5



イエスさまは 土で どろを 作られました。目の 見えない 人の 自に どろを おぬりになりました。そして、 その男に、 行って 自を あらうようにと 言われました。

ヨハネ9：6-7



男が目のどろをあらうと、たちまち自分が見えるようになりました。

ヨハネ9:7



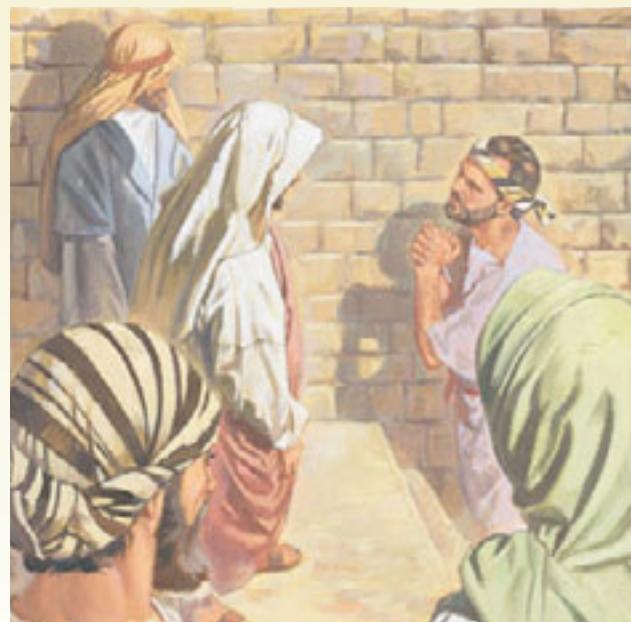
きんじょのひとびとがその人を見たとき、それがだれだからよく分かりませんでした。男はイエスさまがなおしてくださったことを話しました。ひとびとは男をパリサイ人のところへつれて行きました。男はパリサイ人に、イエスさまがなおしてくださったことを話しました。

ヨハネ9:8-11



パリサイ人のなかには、イエスさまが正しい人にちがいないとおもう人がいました。しかし、イエスさまがつみ人だとおもう人もいました。男がイエスさまは正しい人だと言ったとき、何人かのパリサイ人はおこって、男をおい出しました。

ヨハネ9:13-16, 30-34



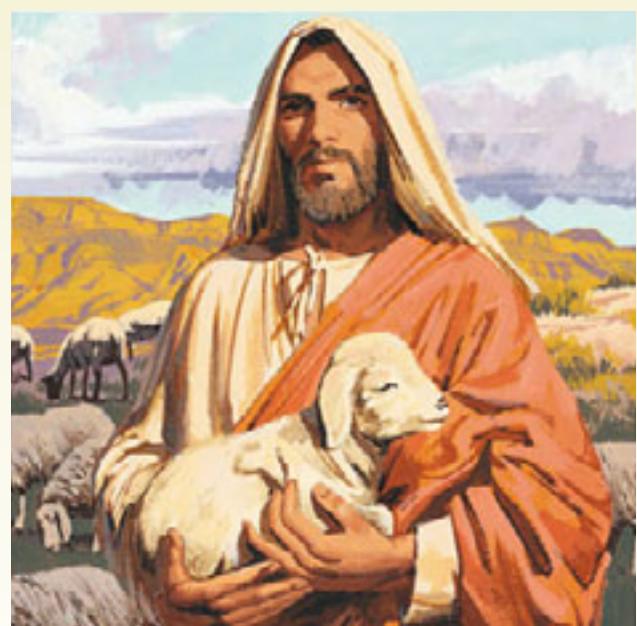
イエスさまは男を見つけられました。そして神のおん子をしんじているかおたずねになりました。男は、神のおん子はだれなのか聞きました。イエスさまはご自分が神のおん子であると言されました。そして男はイエスさまをおがみました。

ヨハネ9:35-38



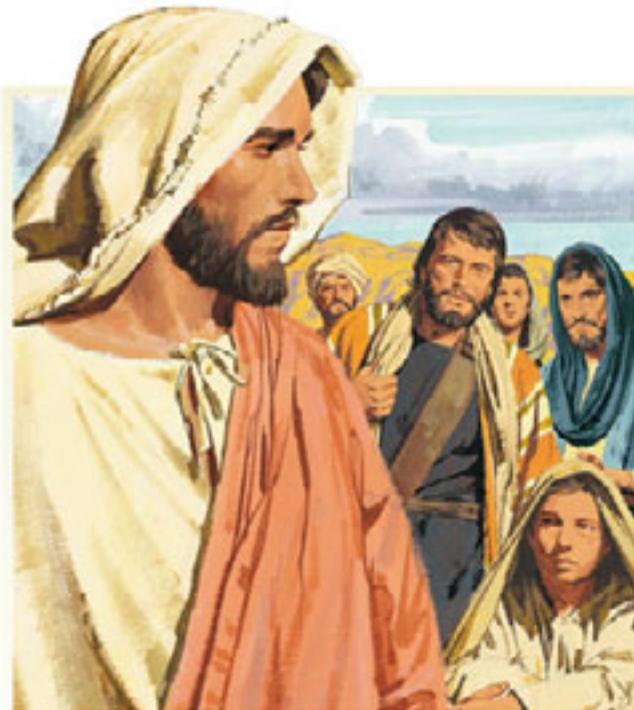
だい40しょう

## よいひつじかい



ひつじかいは ひつじの せわを する人です。ひつじが えさや 水を 見つけるのを たすけます。ひつじが けがをしたり、まい子になったり しないように します。ひつじかいは ひつじを よく 知っていて、あいしています。ひつじを たすけるために 自分の いのちを ささげます。

ヨハネ10：11-15



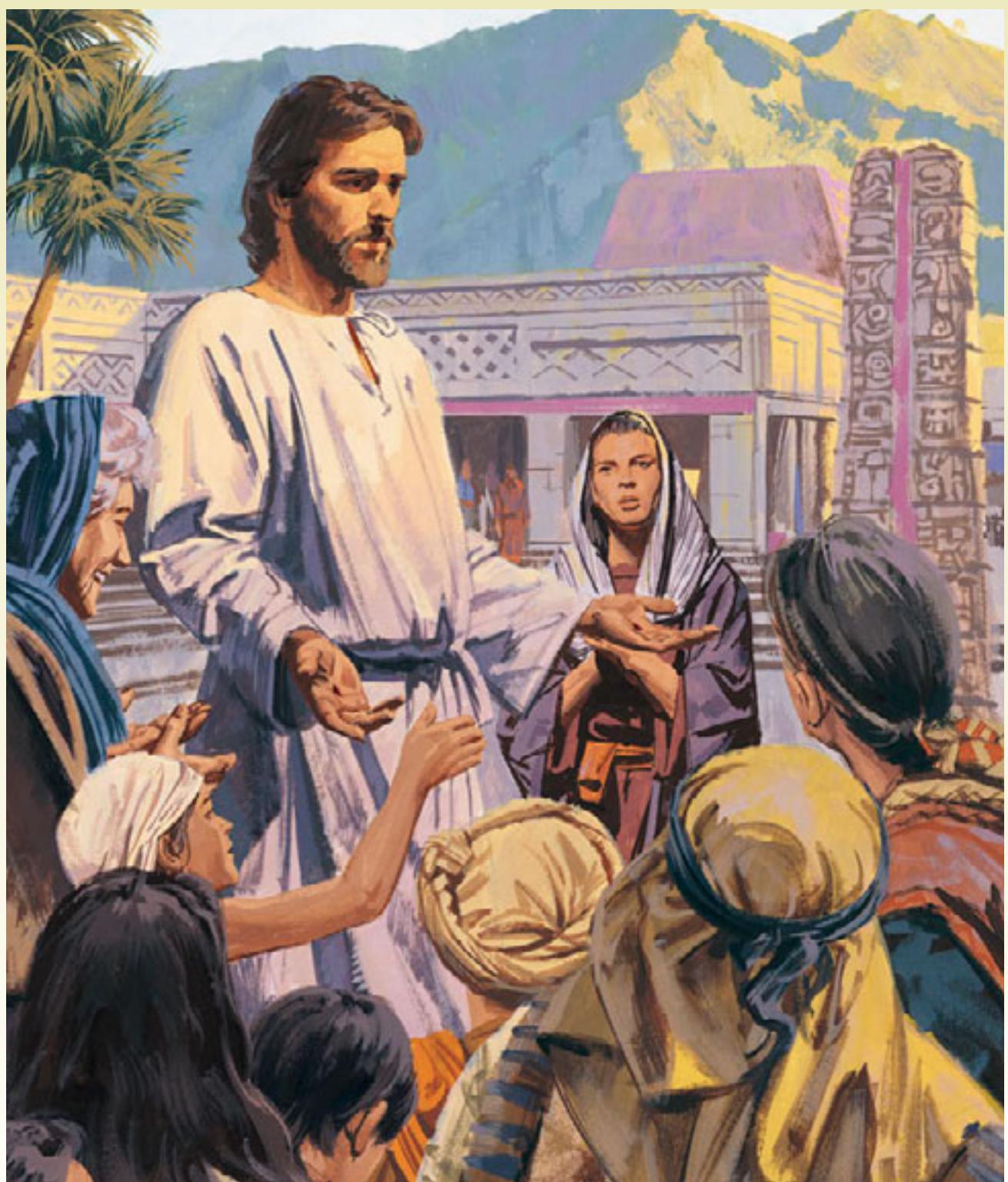
イエス・キリストは ご自分を よいひつじかいと よばれました。イエスさまは わたしたちの ひつじかいで、わたしたちは そのひつじです。イエスさまは わたしたちを あいしてて、しんりを 學ぶのを たすけてくださいます。天のお父さまの もとに もどる ために どのように 生活すべきか 教えて くださいます。イエスさまは わたしたちの ために いのちを ささげてくださいました。

ヨハネ10：11-15



すくいぬしは エルサレムの ひととに、ほかの ひつじが いることを お話しになりました。そして、その ひつじの ところへ 行くと 言われました。ひととは その いみが 分かりませんでした。

ヨハネ10：16；3ニーファイ15：21-22, 24



ぶっかつした後のち イエスさまは、 アメリカたいりくの ひつじの ところに 行かれました。モルモン書しょには イエスさまが アメリカたいりくを おとすれられた ことが 書かかれて います。イエスさまは 何日も とどまって、 びょうにんを いやしたり、 人びとを しゅくふくしたり されました。また、 人びとに しんけんを あたえ、 教会きょうかいを そしきされました。イエスさまは、 エルサレムの 人びとに 教えたのと 同じことを、 アメリカたいりくの 人びとにも お教えになりました。

3ニーファイ11-28しょう



だい41じょう

## イエス、子どもたちを しゅくふくされる



イエスさまがエルサレムへいらっしゃるときでした。とちゅうで、イエスさまに子どもをしゅくふくしていただきたいと言ふ人びとがいました。でしたちはその人びとに、イエスさまのじゃまをしないように言いました。

マルコ10：13



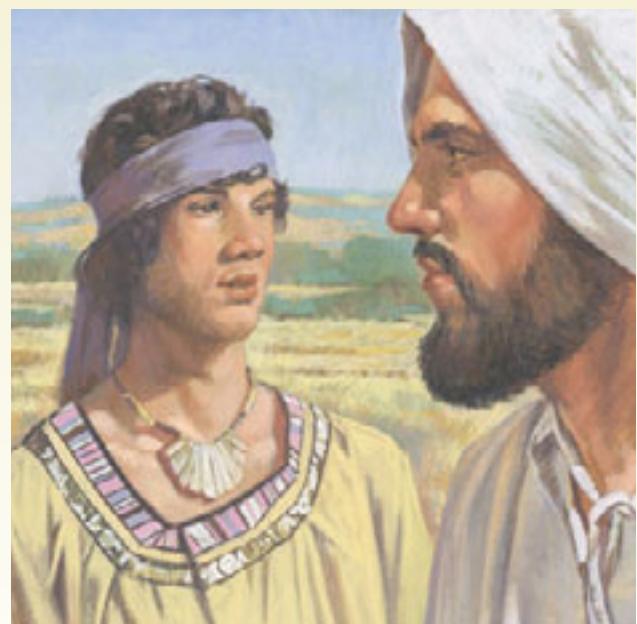
けれども、イエス・キリストは子どもをあいしていらっしゃいました。イエスさまはでしたちに、子どもたちをご自分のところに来るままにしておくように言われました。またでしたちに、おさない子どものようになりさいと言われました。そのような人は、天で神さまといっしょにすむことができます。

マルコ10：14-15



だい42しょう

かね せい ねん  
金もちの青年



ある日、金もちの青年がイエスさまのところへやつて来て、天国に行くために何をしたらよいかたずねました。

マルコ10：17



すくいぬしは青年に、お父さんとお母さんをあいしてうやまい、人をころしたり、うそをついたり、ぬすんだりしないようにと言われました。金もちの青年は、そのいましめはずっとまもってきたと言いました。

マルコ10：19-20



イエスさまは青年に、あとひとつだけしなければならないことがあると言われました。それは、自分のもっているものをぜんぶ売って、そのお金をまことにあげることです。そうすればイエスさまにしたがうことができます。

マルコ10：21



金もちの 青年は 自分の もちものを ぜんぶは あげたくないと おもいました。神さまよりも 自分の もちものを あいして いました。青年は かなしみながら さって行きました。

マルコ10:22



すぐいぬしは でしたちに、 お金を あいする ひとが 天国に行くのは むずかしいと 言われました。でしたちは どういう いみか 分からなかったので、 だれが 神さまと いっしょに すめるのかと たずねました。神さまと いっしょに 天国に すめるのは、 神さまを しんらいして 何よりも いちばん 神さまを あいする 人であると、 イエスさまは 言されました。

マルコ10:23-30



だい43しょう

## イエス、ラザロを 生きかえらせる



ラザロという人が、マリヤとマルタというしまいといっしょにベタニヤにすんでいました。イエスさまはラザロとそのしまいたちをあいしておられ、3人もイエスさまをあいしていました。

ヨハネ11:1-2, 5



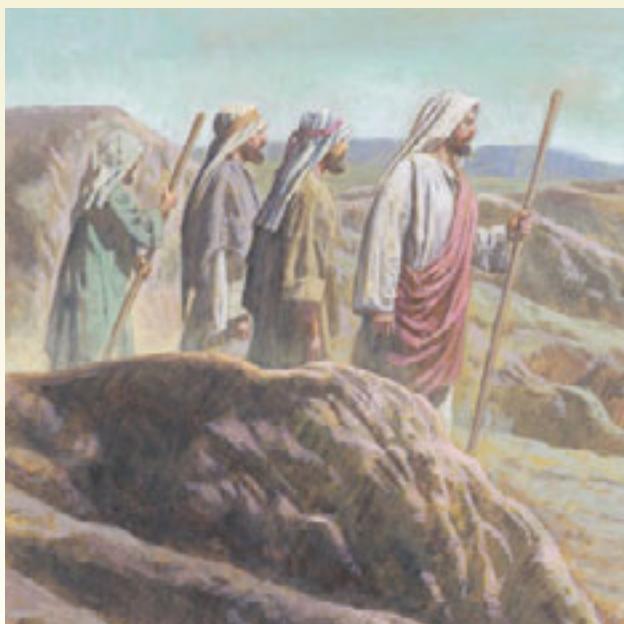
ラザロはおもいびょうきにかかりました。すくいぬしはほかの町にいらっしゃいました。マリヤとマルタはラザロがびょうきになつたことをイエスさまに知らせました。

ヨハネ11:3



すくいぬしはでしたちに、ラザロをたすけるためにいっしょに来るように言われました。でしたちはベタニヤに行くのをおそれました。ベタニヤはエルサレムの近くで、エルサレムにはイエスさまをころしたいとおもっている人びとがいたからです。

ヨハネ11:6-8, 18



イエスさまは でしたちに、 ラザロは 死んでしまったが、 わたしが よみがえらせると 言われました。この きせきによつて、 でしたちは イエスさまが すくいぬしであられることが わかるのです。イエスさまは ベタニヤへ 行かれました。ベタニヤに とうちゃくされた とき、 ラザロが 死んでから もう 4日が すぎて いました。

ヨハネ11：11-17, 19



マルタは イエスさまに、 もっと早く 来てくださいと 言いました。イエスさまは、 ラザロは 生きあると 言われました。そして マルタに、 わたしを しんじるかと 聞かれました。マルタは しんじると 答えました。イエスさまが すくいぬしだと 知っていたのです。

ヨハネ11：20-27



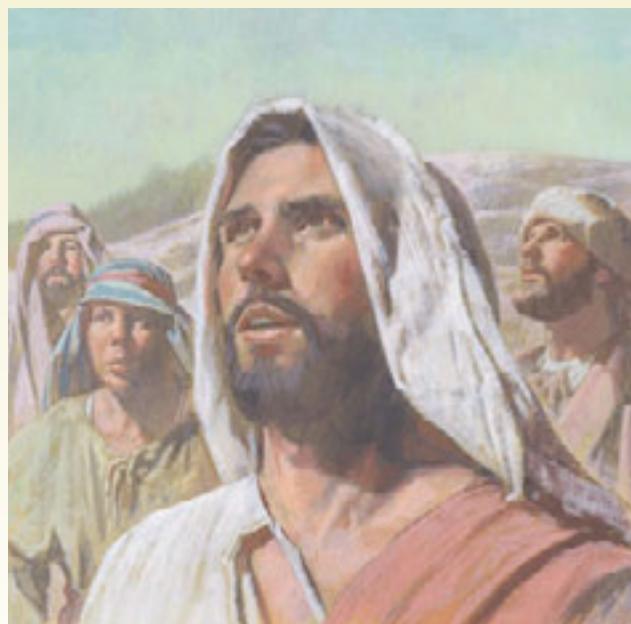
マルタは イエスさまの もとを はなれて、 妹の マリヤを よびに行きました。マリヤも イエスさまに 会いに 来ました。 大ぜいの ひととが マリヤについて 行きました。マリヤは なきながら、 すくいぬしの 足もとに ひれふしました。マリヤといつしょにいた ひととも ないで いました。イエスさまは、 ラザロの いたいは どこかと おたずねになりました。

ヨハネ11：28-34



イエスさまは ラザロが ほうむられている ほらあなへ 行かれました。あの 前に 大きな 石が ありました。イエスさまは 人びとに、 その石を どかすように 言われました。

ヨハネ11:38-39



イエスさまは 天を 見上げて、 ご自分の いのりを 聞いてくださった ことを 天のお父さまに かんしゃしました。

ヨハネ11:41-42



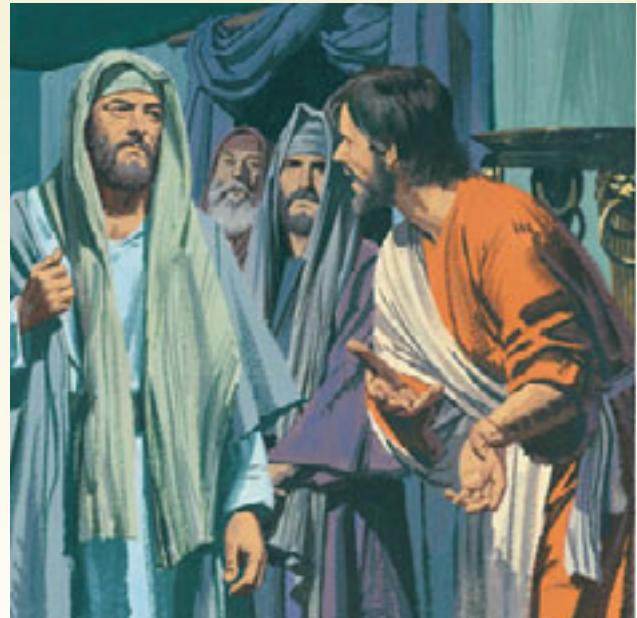
そして、 おお 大きな こえ 声で ラザロに ほらあなから 出て来るよう おめいじになりました。すると、 ラザロが ある で 歩いて 出てきました。多くの 人は そのきせきを 目にして、 イエスさまが すくいぬしで あられることを しんじました。

ヨハネ11:43-45



だい44しょう

## すくいぬし、エルサレムに のぼ 上られる



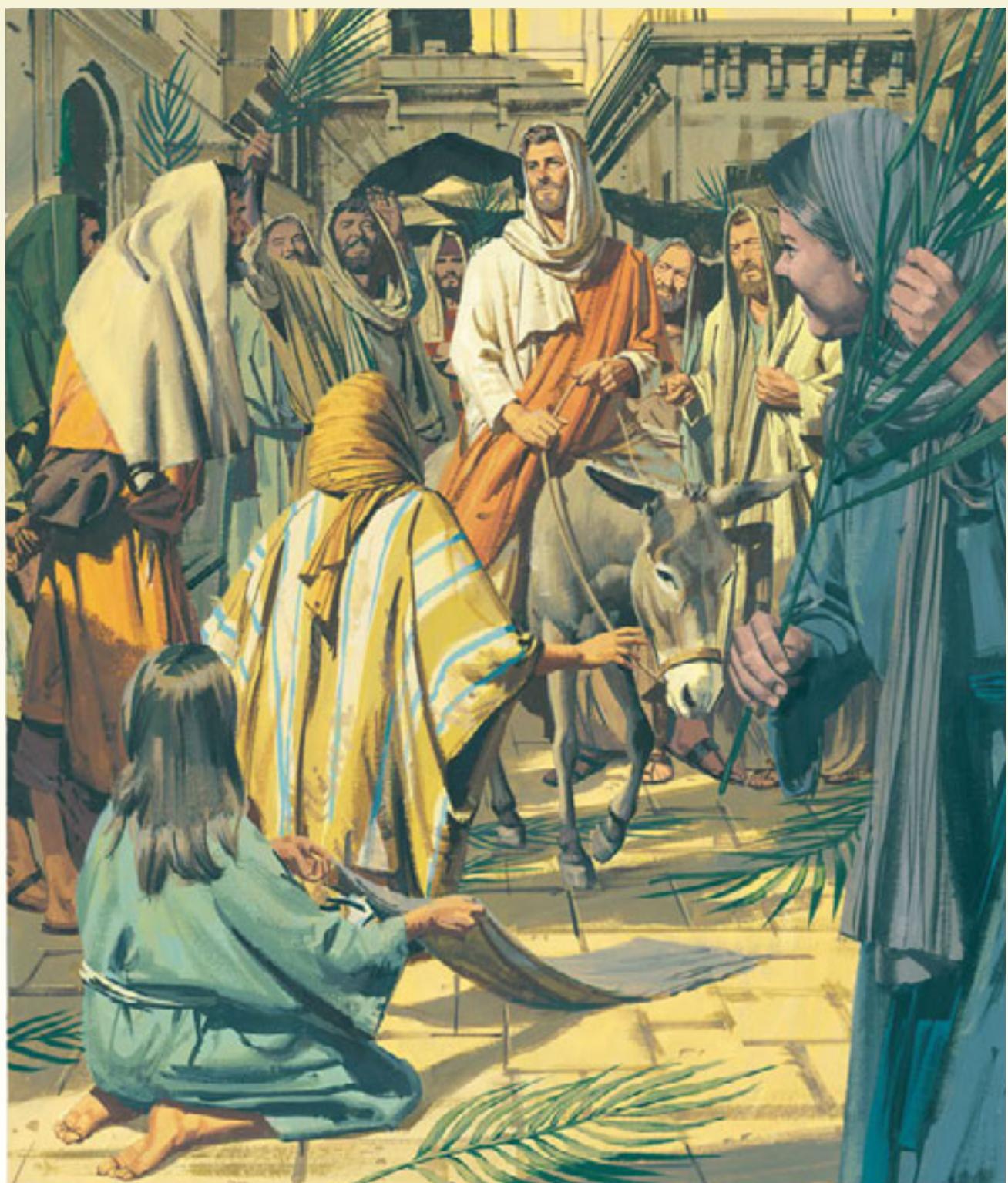
イエスさまが ラザロを 生きかえらせられたことを さいしや パリサイ人に 知らせた 人たちが いました。パリサイ人は、みんなが イエスさまを しんじてしまうとおもいました。だれも 自分たちの 言うことを 聞かなくなることをおそれました。

ヨハネ11:46-48



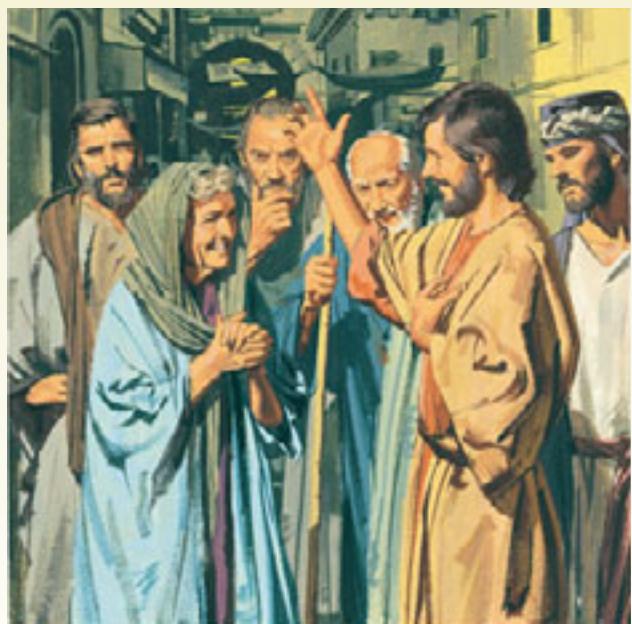
パリサイ人は イエスさまを ころす ほうほうを 考えました。すぎこしの まつりの ときに イエスさまが エルサレムに 来られるのを まちかまえることに しました。

ヨハネ11:49-51, 55-57



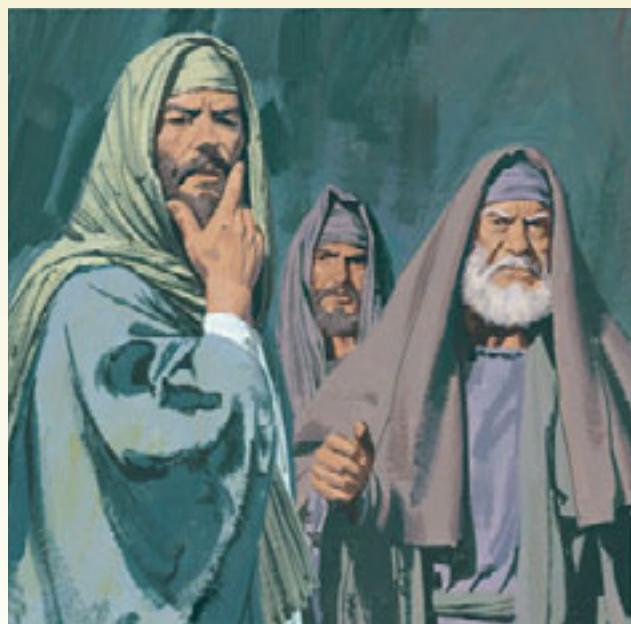
イエスさまは エルサレムに 行かれました。大ぜいの ひとびとが イエスさまが いらっしゃることを 聞いて、おでむかえしました。イエスさまは ろばの子に のって 町に お入りになりました。神さまのおん子が ろばの子に のって 来されることを ある よげんしゃが 書いていました。多くの 人は イエスさまが 神のおん子であられることを しんじました。ひとびとは しゅろの えだや 自分の 着物を じめんにおいて、イエスさまが その上を お通りになるように しました。そして ホサナと さけんで、イエスさまは 自分たちの 王であられると言いました。

ゼカリヤ9:9;マタイ21:4-9;ヨハネ12:1, 12-15



エルサレムの 人びとは 何ごとかと 見にきました。イエスさまとは だれかと たずねました。あつまっていた 人びとは、ナザレから 来た よげんしゃですと 答えました。

マタイ21:10-11



パリサイ人たちは はらを 立てました。イエスさまが すくいぬしだと 人びとに しんじて ほしく なかつたのです。イエスさまは、パリサイ人が ご自分を ころしたいと おもつて いることを ござんじでした。

ヨハネ11:53 ; 12:19, 23



イエスさまは でしたちに、もうすぐ ご自分が しめごとを お話しに なりました。すべての 人の つみの ために くるしんで、その後 十字かに かけられて おなくなりになるのです。イエスさまは よの すくいぬしです。イエスさまが 地上に 来られたのは そのためです。

ヨハネ12:23-25, 27, 32-33, 47



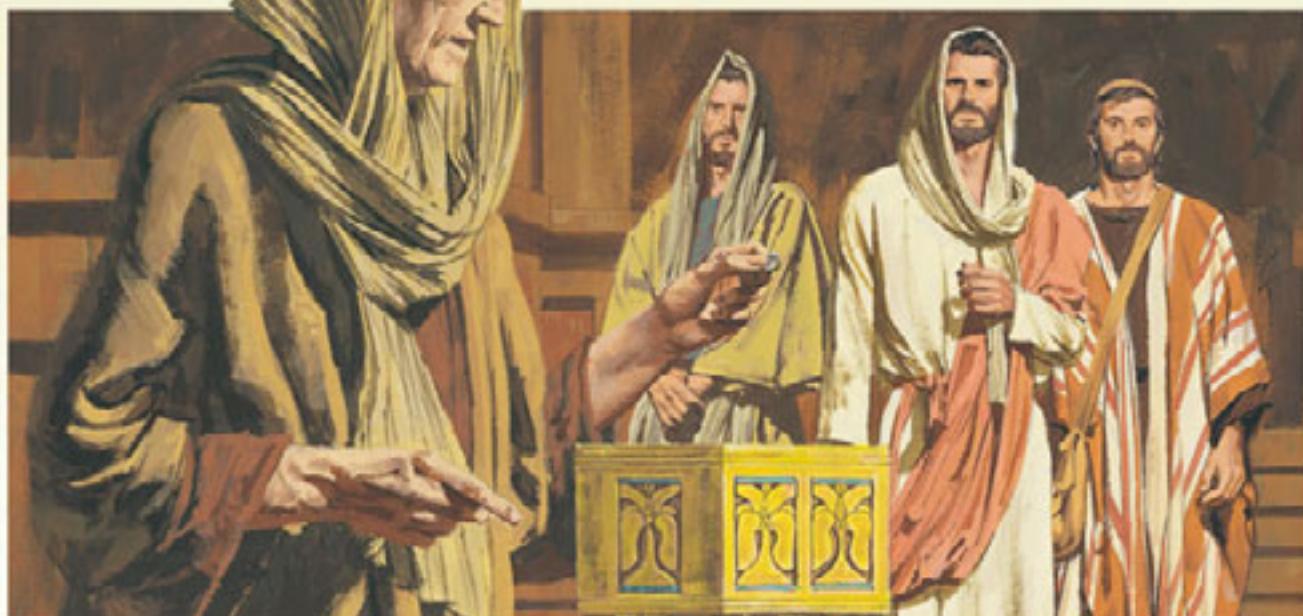
だい45しょう

## やもめのレプタ



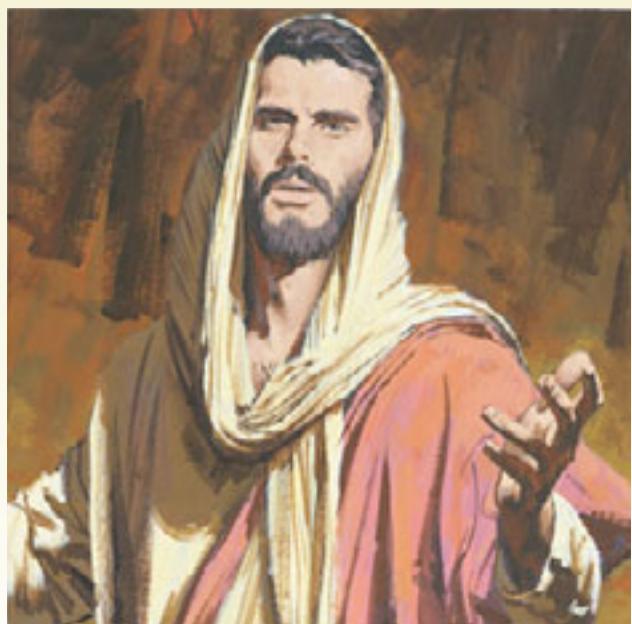
イエスさまはエルサレムのしんでんへ行かれました。ひとびとが教会にお金をささげるのをごらんになりました。多くの金ものはたくさんのお金をささげていました。

マルコ12:41



あるまことにやもめがやってきて、レプタとよばれるお金を2枚ささげました。それはあまり多くありませんでしたが、やもめがもっているお金のすべてでした。

マルコ12:42, 44



イエスさまは やもめを ごらんになって、 やもめがしたことをお話しされました。

マルコ12:43



金もちの ひととは やもめよりも たくさんのお金を ささげましたが、 かれらには もっと たくさんの お金が あったのです。

マルコ12:43-44



やもめには もう お金が ありませんでした。もっていた お金を すべて ささげてしまったからです。 やもめは 金もちの ひとよりも 多くを 神さまに ささげたのです。

マルコ12:44



だい46しょう

## さいりん



イエスさまがオリブ山におられたときでした。でし  
たちがイエスさまにしつもんをしてきました。わる  
いひとがほろぼされるのはいつか、そしてイエスさ  
まがもういちどいらっしゃるのはいつかたずねました。

マタイ24:3; ジョセフ・スミスマタイ1:4



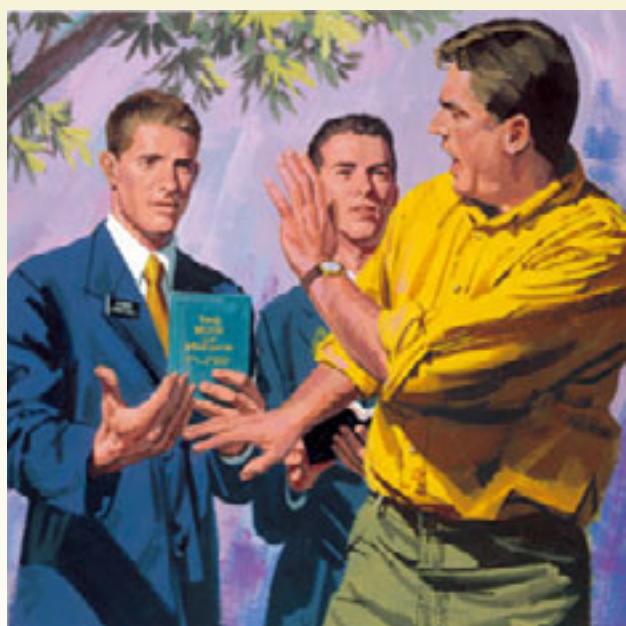
イエスさまは、さいりんの前にまことに自分がキリストだと言う、にせもののよげんしゃがあらわれると言われました。多くの人びとがにせよげんしゃにしたがうというのです。けれども、イエスさまにしたがう人はイエスさまの教えをまもるなら、にせよげんしゃにだまされることなくすぐわれるでしょう。

マタイ24:4-5, 24-27; マルコ13:21-22; ジョセフ・スミスマタイ1:21-22, 37



イエスさまはまた、さいりんのまえにはたくさんのせんそうやきさん、おそろしいびょうき、じしんがおきると言われました。多くの人びとが人をたすけることをやめて、わるくなります。

教義と聖約45:16, 26-27, 31-32; ジョセフ・スミスマタイ1:23, 28-30



ふくいんがぜんせかいにのべつたえられますが、多くの人は聞こうとしないでしょう。

教義と聖約45:28-29; ジョセフ・スミスマタイ1:31



日がくらくなり、月はかがやかなくなり、星が空からおちるでしょう。

マタイ24:29; マルコ13:24-25; ジョセフ・スミスマタイ1:33



イエス・キリストがもういちどいらっしゃるとき、力と大きなえいこうをもって雲にのってくだつて来られるのを人びとは見るでしょう。イエスさまは正しい人びとをあつめるためにてんしをおつかわしになるでしょう。

マタイ24:30-31;マルコ13:26-27;ジョセフ・スミスマタイ1:36-37



わたしたちは正しいことをすることでさいりんのよういができます。イエスさまがやくそくされたしるしを見るとき、すくいぬしがいらっしゃる日が近いことが分かります。イエスさまがいつまたいらっしゃるかせいかくに知っている人はいません。よういができるいれば、イエスさまといっしょにいることができるのです。

マタイ24:44;ルカ21:36;ジョセフ・スミスマタイ1:39-40



だい47しょう

## 10人のおとめ



**イ**エスさまは、けっこんしきに 行った 10人の おとめたちの たとえを お話しに なりました。おとめたちは 花むこが 来て、中へ 入れて くれるのを まっていました。しかし、花むこが いつ 来るかは 分かりませんでした。

マタイ25:1, 13



10人の おとめは あぶらで ともす あかりを もっていました。5人の おとめは しりよぶかくて、あぶらを よぶんに もっていました。

マタイ25:2, 4



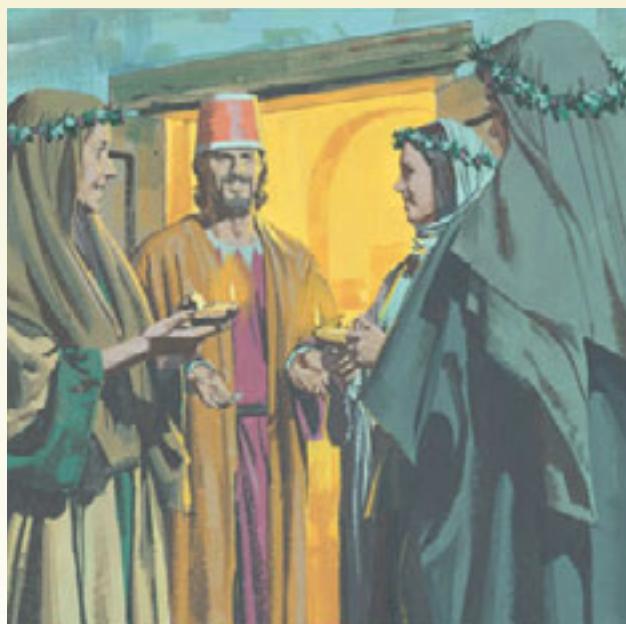
のこりの 5人は かしこくありませんでした。あかりに 入れている あぶらしか ありませんでした。

マタイ25:3



花むこは なかなか 来ませんでした。とうとう あかりの あぶらが なくなってしまいました。かしこい 5人の おとめは あかりに入れる あぶらを よぶんに もっていました。かしこくない 5人の おとめは あぶらを 買いに行かなければ なりませんでした。

マタイ25:5-9



その 5人が いない間に 花むこが 来ました。花むこは かしこい 5人の おとめを けっこんしきに 入れてくれました。

マタイ25:10



かしこくない 5人が もどって来たとき には 戸が しまっていました。5人は けっこんしきに 出ることが できませんでした。

マタイ25:10-12



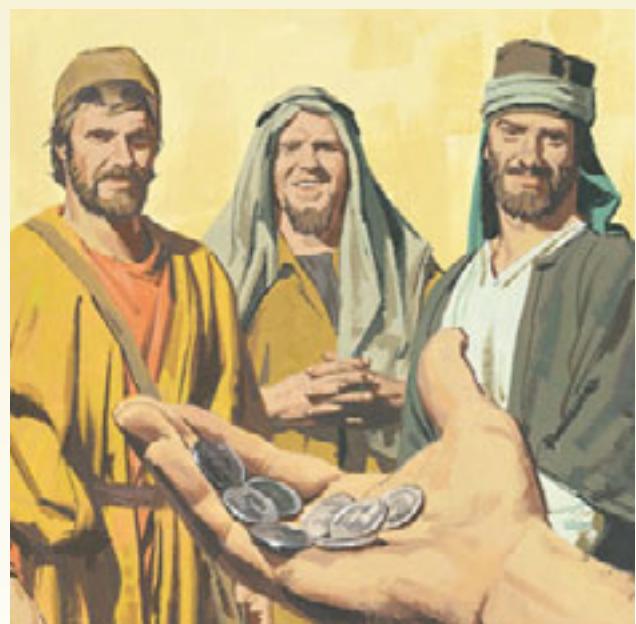
この 話の 花むこは イエスさまのことです。10人のおとめは 教会いんのことです。イエスさまが もう いちど いらっしゃるとき、よういができるている かいいんが いるでしょう。そのような 人は 神さまの いましめを よく まもって います。しかし よういの できていない かいいんも いるでしょう。そのような 人は すくいぬしが また いらっしゃった ときに いつしょにいる ことが できません。

マタイ25:13; 教義と聖約45:56-57; 88:86, 92;『キリスト・イエス』559-562



だい48しょう

## タラントのたとえ



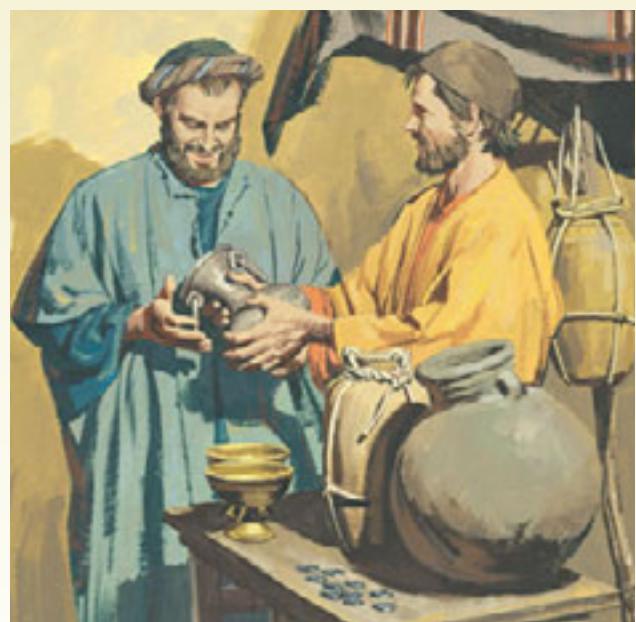
イエスさまは でしたちに たとえを お話しに なりました。ある 男が しもべたちに タラントという お金を あずけた 話です。タラントは 高い がくの お金です。

マタイ25:14-15



男は ひとりの しもべに 5タラント、もう ひとりの しもべに 2タラント、三人目の しもべに 1タラント あたえました。それから たびに 出かけました。

マタイ25:15



5タラントを もらった しもべは 一生けんめい はたらきました。そして、さらに 5タラント もうけて、10タラントに しました。

マタイ25:16



2タラントを もらった しもべも 一生けんめい はたらきました。さらに 2タラント もうけて、 4タラントに しました。

マタイ25:17



1タラントを もらった しもべは それを じめんに うめました。なくして しまうのが こわかったのです。はたらいて タラントを さらに ふやそうとは しませんでした。

マタイ25:18



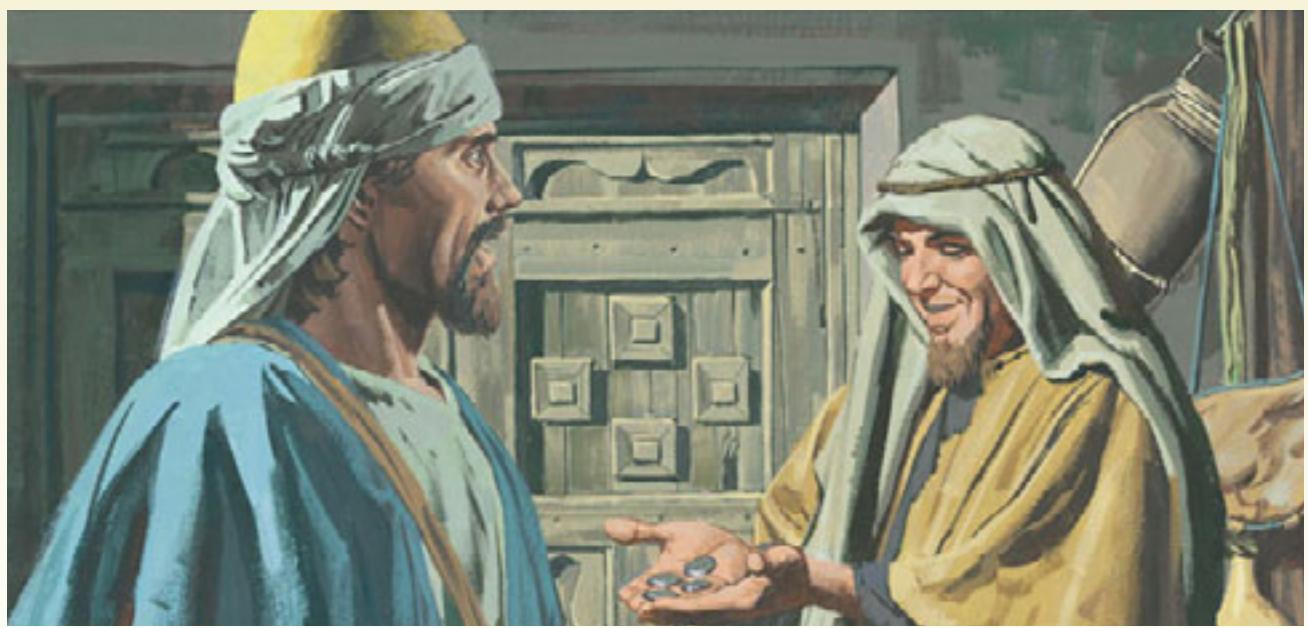
男は たびから もどると、 あたえた タラントを どうしたのか しもべたちに たずねました。

マタイ25:19



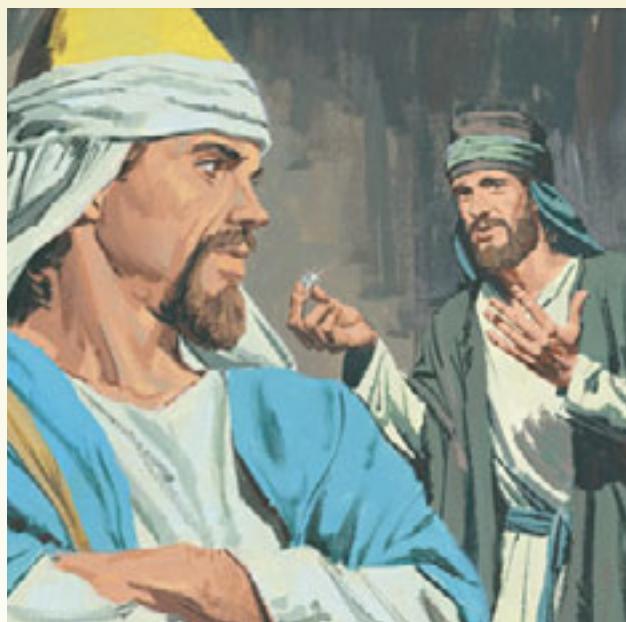
さいしょの しもべは 10タラントを さし出しました。<sup>だ</sup> 男は よろこびました。その しもべに <sup>おお</sup>多くの ことを まかせて、 いっしょに よろこぶように 言いました。

マタイ25:20-21



二人目の しもべは 4タラント さし出しました。男は また よろこびました。二人目の しもべにも 多くのことを まかせて、いっしょに よろこぶように 言いました。

マタイ25:22-23



三人目の しもべは じめんに うめて あった タラントを 男に かえしました。男は よろこびませんでした。その しもべは なまけものだと 言いました。タラントを ふやすために 一生けんめい はたらくべきだったのです。

マタイ25:24-27



男は 三人目の しもべから タラントを とりあげて、さいしょの しもべに あたえました。そして なまけものの しもべを おい出しました。この たとえの 男は イエスさまです。わたしたちは しもべたちです。あたえられた たまものを わたしたちが それぞれ どのように つかうか、イエスさまは ごらんになるのです。

マタイ25:28-30



だい49しょう

## さいしょのせいさんしき



ユダヤ人は毎年、すぎこしとよばれるまつりをひらきました。すぎこしのまつりによって、ユダヤ人はモーセのじだいに神さまがせんぞをすくい出されたことをおもいだすことができました。

出エジプト12:27；ルカ22:7



1



イエスさまと一緒にいる十二使徒たちにはすぎこしのごちそうを食べるばしょがひとつありました。すくいぬしはペテロとヤコブをつかわして、へやを見つけて、ごちそうのじゅんびをするように言われました。

ルカ22:8



ふたり  
二人は へやを みつけ、 ごちそうの じゅんびを しました。  
ルカ22:9-13



イエスさまと しとたち ぜんいんが そこに 行きました。 みんなで いつしょに すぎこしの ごちそうを 食べました。  
ルカ22:14



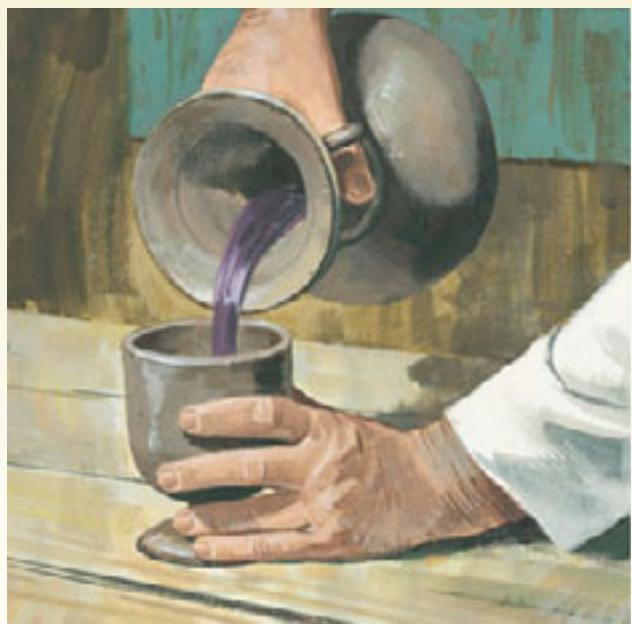
イエスさまは しとたちに、 はじめて せいさんを おくばりになりました。 パンを 手に とって しゅくふくし、 小さくさかれました。 そして しとたちに その パンを 食べるよう に 言われました。

マタイ26:26; ルカ22:19



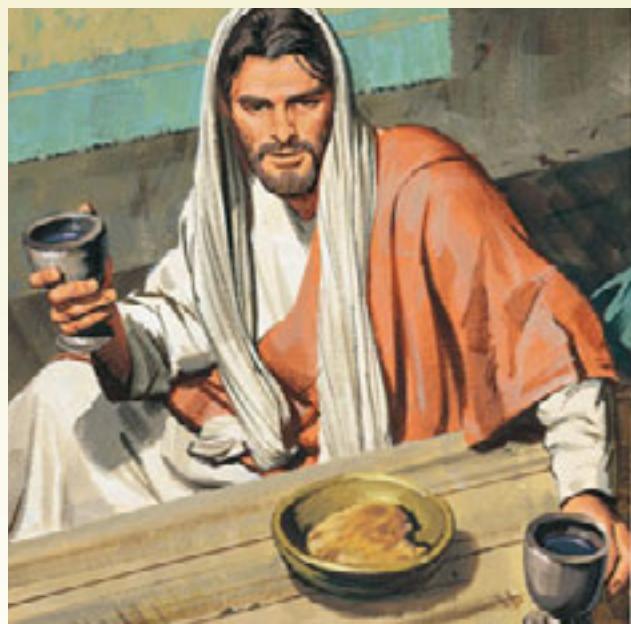
イエスさまは、 パンを 食べる ときに ご自分の 体を おもい出す ように 言われました。 そして イエスさまが みんなの ためになくなる ことを おぼえているようにと 言われました。

マタイ26:26; ルカ22:19



イエスさまは さかずきに ぶどうしゅを そそがれました。  
ぶどうしゅを しゅくふくして、 しとたちに のむように 言  
われました。

マタイ26:27



イエスさまは、 ぶどうしゅを のむときに ご自分の ちを お  
もい出すように 言われました。そして ご自分が すべての  
人の ために ちを ながして くるしむことを おぼえているよ  
うにと 言われました。

マタイ26:28；ルカ22:20



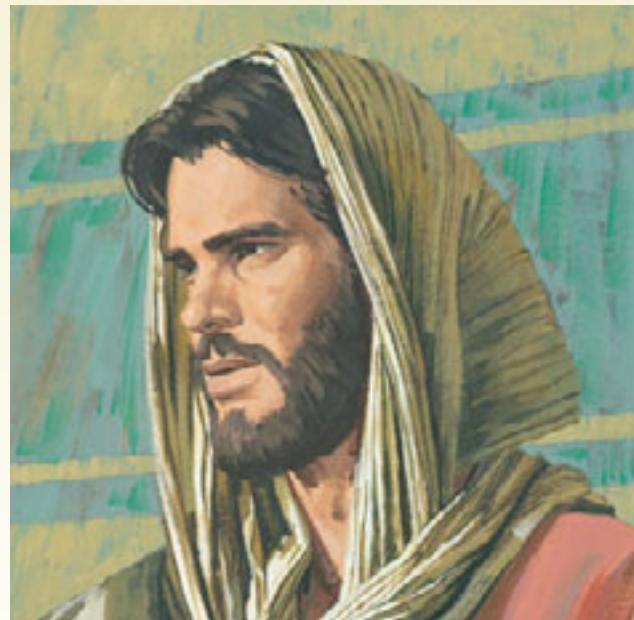
また イエスさまは、 もうすぐ ご自分が わるい ひとに ころされようと している ことを しとたちに お話しになりました。  
11人の しとは とても かなしみました。すくいぬしを あいしてて、 なくなって ほしく なかった からです。イエスさま  
は しとの 一人が わるい ひとを たすけることを ござんじでした。その しとの 名前は イスカリオテの ユダと いいました。

マタイ26:2, 14-16, 21-25



だい50しょう

## さいごのばんさんで はな 話された そのほかの教え



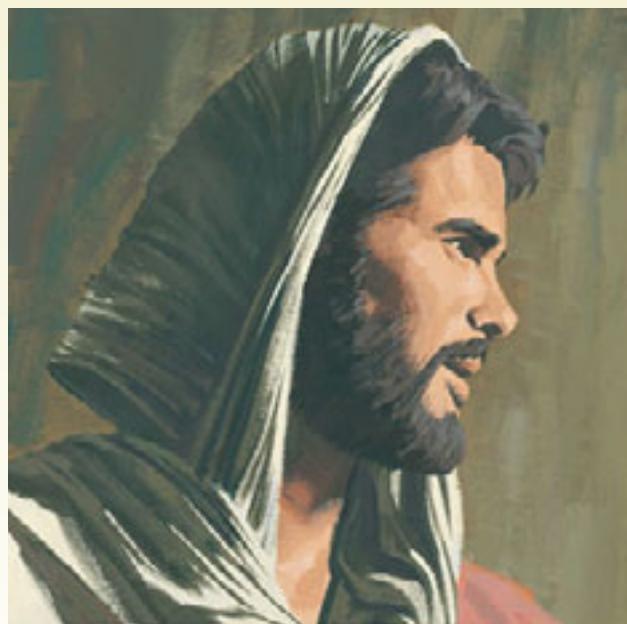
ごちそうを食べおわった後、イエスさまは しとたちに、ご自分が しとたちを あいしたように たがいに あいし合うべきであると お教えになりました。たがいに あいし合う なら、人びとは しとたちが イエスさまの でしであると 分かるのです。

ヨハネ13:34-35



イエスさまは、もし しとたちが イエスさまを あいする なら、いましめを まもるようにと 言われました。イエスさまは せいれいの たまものを さずけることを、しとたちに やくそくされました。せいれいは、ひとつような ことを すべて 教え、イエスさまが お教えになった ことを おもい出せるように たすけて くださいます。

ヨハネ14:15-18, 26



イエスさまは、ご自分はぶどうの木のようであると言われました。イエスさまのではしへばどうの木のえだにたとえられます。木にしっかりとつながっているえだけがよいみをむすびます。

ヨハネ15:1-2, 5



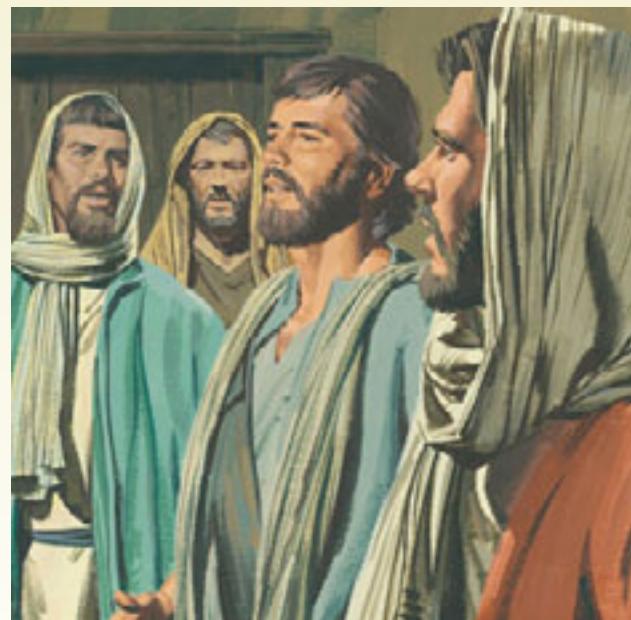
イエスさまはしとたちに、ふくいんにしたがって生活すれば、そのみ(はたらき)はよいものとなるとやくそくなさいました。しかしふくいんにしたがわなかつたら、木から切りとられたえだのようになつて、みをむすぶことができません。

ヨハネ15:3-8



イエス・キリストはしとたちがひとつになってはたらけるようにおいのりされました。イエスさまは、しとたちが教えることによって、人びとがイエスさまをしんじて、天のお父さまがあいしておられることを知るようになつてほしいとのぞんでいらっしゃいました。

ヨハネ17:1-4, 6, 11, 20-23



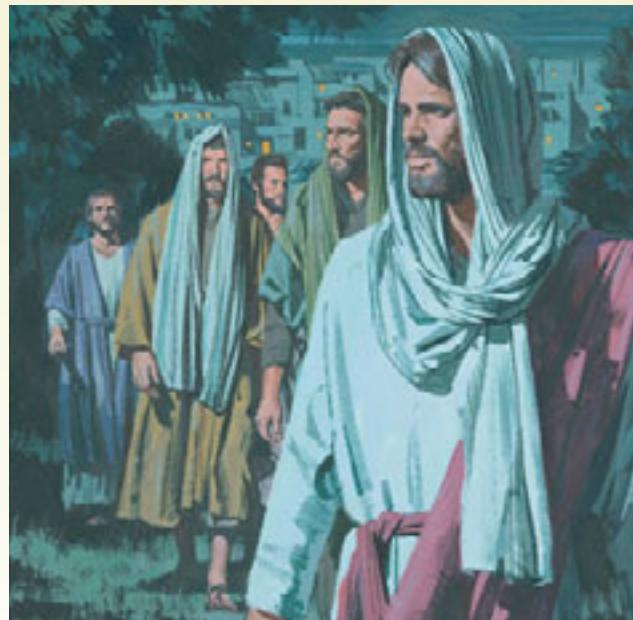
それから、イエスさまとしとたちはさんびかをうたへやを出ました。

マタイ26:30



だい51しょう

## イエス、ゲツセマネの そのでくるしまれる



イエスさまと しとたちは ゲツセマネの そのへ 行きました。ユダは いっしょでは ありません。イエスさまが おられる ばしょを ユダヤ人の じどうしゃに 教えに行つたのです。

マタイ26:36; マルコ14:43; ヨハネ18:2-3



すくいぬしは ペテロ、ヤコブ、ヨハネに いっしょに そのの 中へ 入るよう に 言われました。そして、ご自分が いのつて いる間 まっているように 言われました。

マタイ26:36-39; マルコ14:33-35



イエスさまは、すべての人のつみのためにくるしまなければならぬことをござんじでした。くるしみたくありませんでしたが、天のお父さまにしたがうことをおえらびになりました。

マタイ26:39-44



ペテロ、ヤコブ、ヨハネはイエスさまがいのっていらっしゃる間にねむってしました。イエスさまがもどられたと、3人はねていました。イエスさまは目をさましているように言われました。

マタイ26:40-41



イエスさまはもういちどおいのりをしに行かれました。ペテロ、ヤコブ、ヨハネはおきていたかったのですが、とてもつかれていて、またねむってしました。イエスさまがおもどりになったとき、また3人はねていました。イエスさまは行って、3ど目のおいのりをされました。

マタイ26:42-44



イエスさまは いのりながら、くるしみのあまり ふるえはじめました。てんしが 来て、イエスさまを 力づけました。イエスさまの くるしみが あまりにも 大きかった ので、ちが あせのように ふき出して きました。わたしたちが くいあらためた ときに ゆるして いただけるように、イエスさまは 人の すべての つみのために くるしめたのです。

ルカ22:41-44；教義と聖約19:16-19



イエスさまは ペテロ、ヤコブ、ヨハネを おこされました。ご自分は もうすぐ うらぎられて ころされると 言われました。わるい 人びとが イエスさまを つかまえに来る というのです。

マタイ26:45-46



だい52しょう

## イエスのしれん



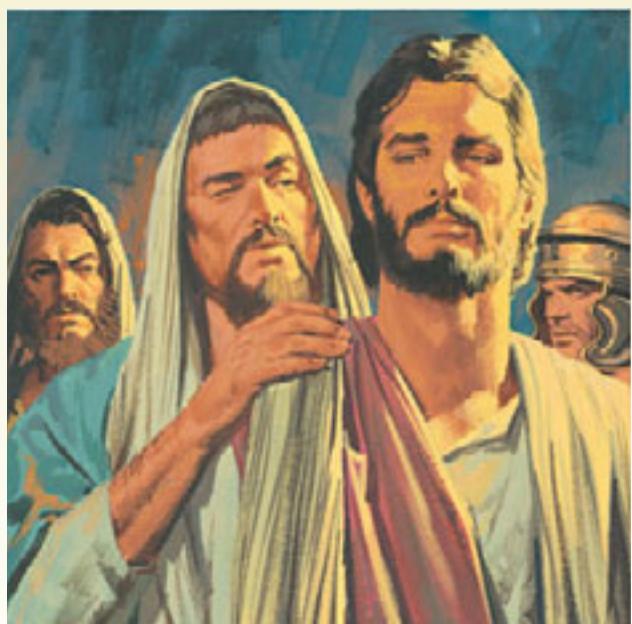
ユダヤ人の しどうしゃは、けんや ぼうを もつた 人びとを ゲツセマネの それに 行かせました。

マタイ26:47



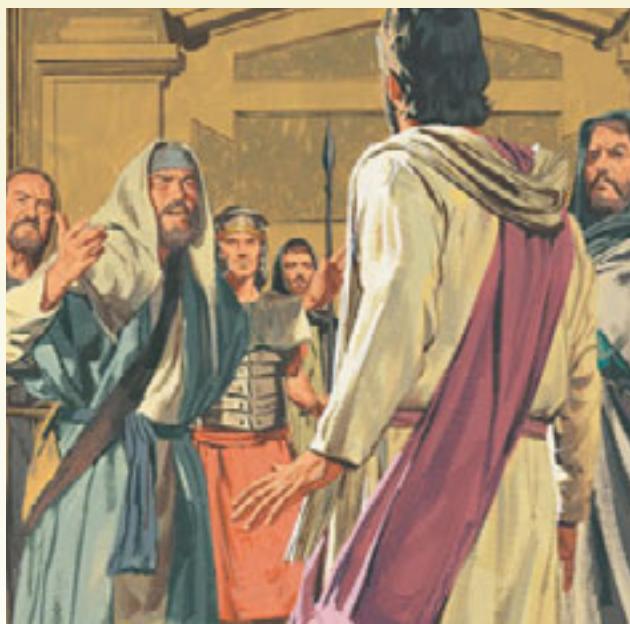
イスカリオテの ユダも いっしょでした。さいしちょうたちは ユダに お金を やり、自分たちがつかわした 人びとに イエスさまのおられる ばしょを 教えるように 言いました。

マタイ26:14-16, 47



ユダは イエスさまに せっぷんして、どの ひとが イエスさま で あるか その 人びとに 教えました。人びとは イエスさまを つかまえて つれて 行き、あざけって、たたきました。それから だいさいし カヤバの ところに つれて 行きました。

マタイ26:48-49, 57; ルカ22:54, 63-65



ユダヤ人の しどうしゃたちは イエスさまに「あなたは 神の子なのか」とたずね そう言うなら りっぽうに はんすると 言いました。しかし、イエスさまは ご自分が 神のおん子であると 言われました。しどうしゃたちは イエスさまが つみを おかしたので しむべきであると 言いました。

ルカ22:66-71



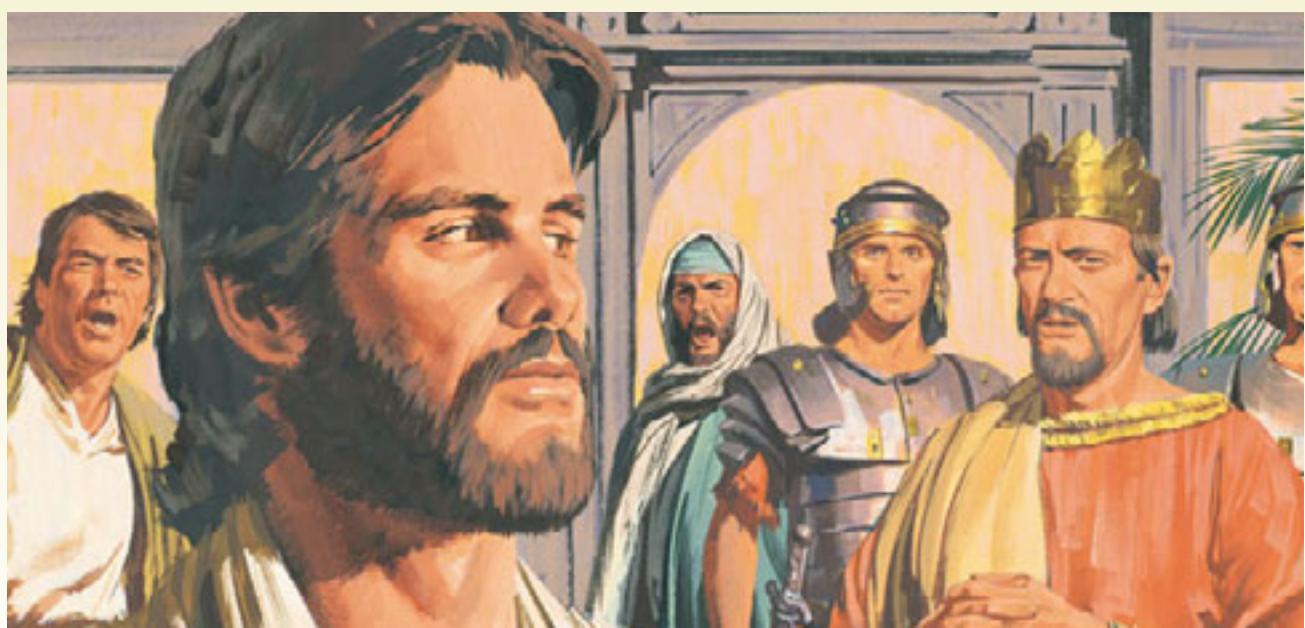
ユダヤ人の しどうしゃたちは イエスさまを ころす けんりょくを もっていませんでした。そこで、イエスさまを しけいに できる ポンテオ・ピラトの もとへ つれて 行きました。かれらは ピラトに、イエスさまが 人びとに ローマの ほうりつに したがわないように 教えたと 言いました。

ルカ23:1-2



ピラトは イエスさまが わるいことを したと おもいませんでした。ピラトは イエスさまを ゆるしてやりたいと おもいましたが、あつまっていた 人びとは イエスさまを 十字かに つけて ほしいと おもいました。

ルカ23:14-21



ピラトは それでも イエスさまを ゆるしてやりたいと おもいました。けれども、さいしたちや ひと  
じゆう  
人びとは イエスさまを 十字かに つけるように さけび つづけました。

ルカ23:22-23



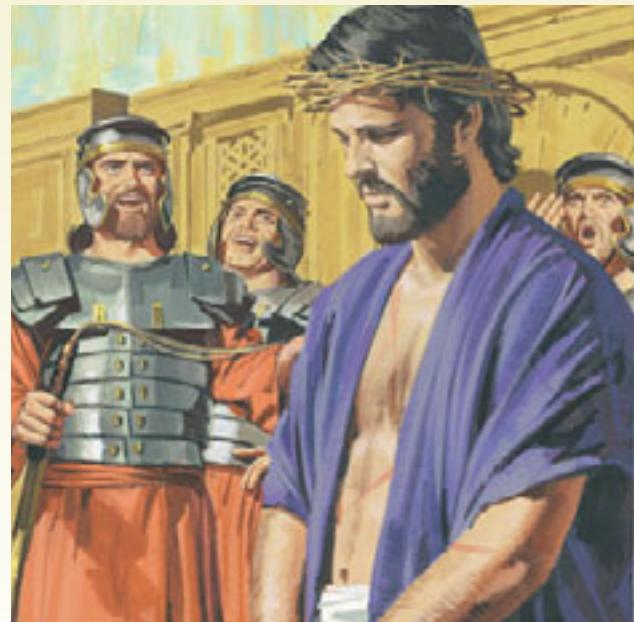
ピラトは 手を あらいました。イエスさまを 死なせることは 自分の せいではないと 言いました。人びとは、イエスさま  
の しのために、自分たちが せきにんを とると 言いました。ピラトは へいしたちに、イエスさまを 十字かに つけるよう  
に 命じました。

マタイ27:24-26



だい53しょう

## イエス、十字かに おかげになる



いしたちは むちで イエスさまを うちました。そして イエスさまに むらさき色の ころもを させました。また、いばらの かんむりを 作って、イエスさまの 頭につけました。さらに、イエスさまを あざわらい、つばきを かけました。そして イエスさまを「ユダヤ人の王」とよびました。

マルコ15：15-20



へいしたちが イエスさまを エルサレムに 近い おかに つれて行くと、大せいの ひとびとが あとを ついて行きました。へいしたちは イエスさまに ご自分の 十字かを はこばせました。イエスさまの 手足を くぎで 十字かに 打ちつけて、十字かを 立てました。ほかに 二人の 男も 十字かに つけました。その 二人は どろぼうでした。

ルカ23：27, 33; ヨハネ19：17-18



イエスさまはいのられました。ご自分を十字架につけたへいしたちをゆるしてくださるように天のお父さまにねがわれたのです。へいしたちはイエスさまがすくいぬしであられると知りませんでした。

ルカ23:34



イエスさまの母親のマリヤが十字架のそばに立っていました。しとのヨハネもいました。イエスさまはヨハネに、ご自分の母親のせわをするように言されました。ヨハネはイエスさまの母親を自分の家につれて行きました。

ヨハネ19:25-27



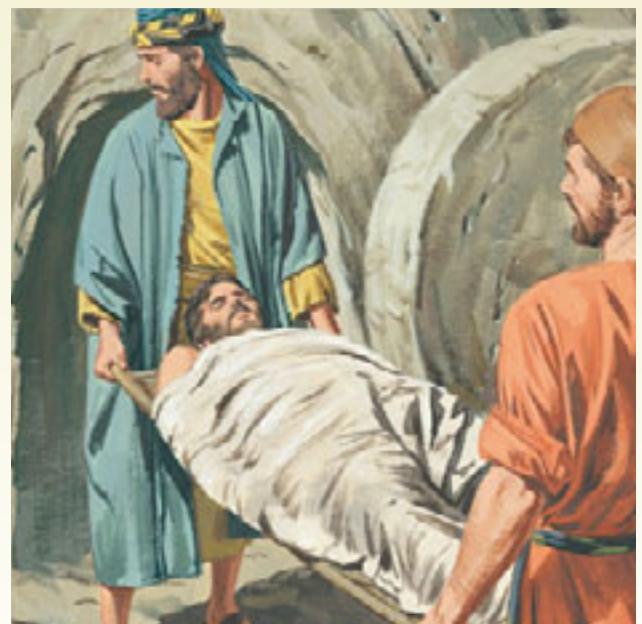
くらやみが 地を おおいました。 すくいぬしは なんじかん 十字かの 上で くるしました。 ついに すくいぬしの れいが からだ 体を はなれて、 すくいぬしは いきを ひきとられました。

マタイ27:45, 50



すくいぬしが おなくなりに なった とき、 じしんが おきて、  
岩が さけました。 しんでんの まくが まっぷたつに さけま  
した。 ローマの へいしたちは こわくなりました。

マタイ27:51, 54



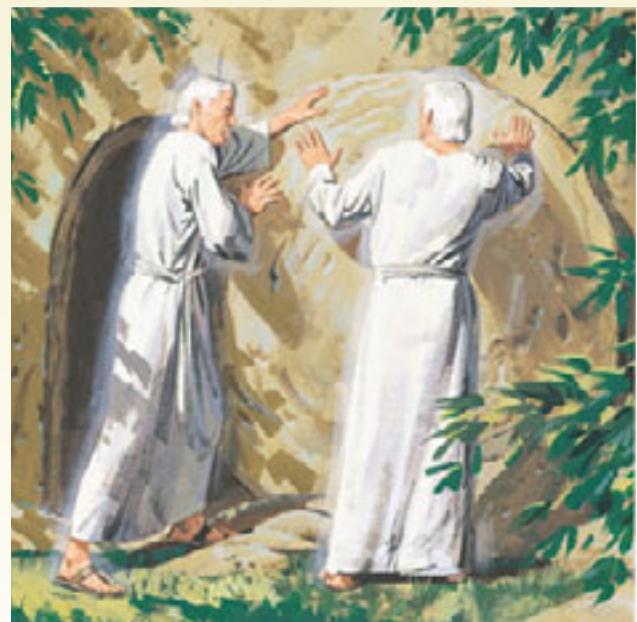
イエスさまの でしの ひとり 人が すくいぬしの からだ 体を 十字かか  
ら おろしました。 イエスさまの 体を ぬので くるみ、 な  
くなつた 人を 入れる はかに おきました。 はかの 前には  
おお いし 大きな 石が おかされました。

マタイ27:57-60



だい54しょう

## イエス、よみがえられる



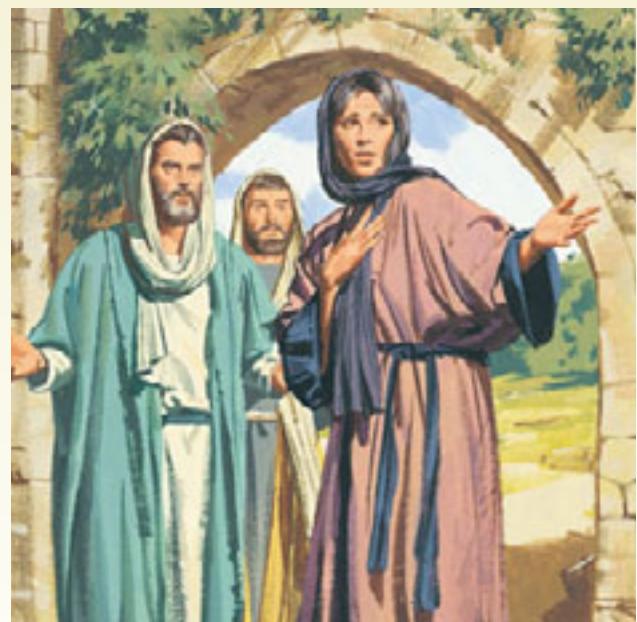
すくいぬしの からだは 日曜の 朝まで、 はかに あります。 そこへ、 二人の てんしが あらわれて、 はかの 前から 石を ころがしました。

マタイ28:1-2; ルカ24:1-4



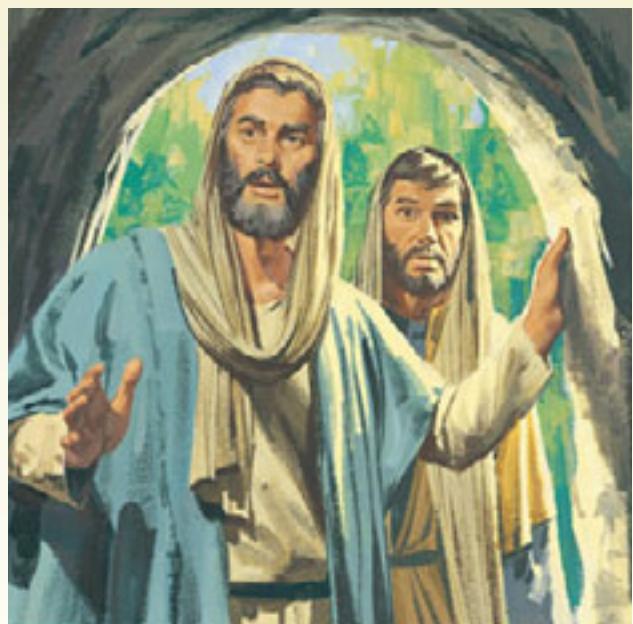
イエスさまに いやして いたいしたことのある マグダラの マリヤという 女が、 はかへ 行きました。 石が うごかされているのを見て、 おどろきました。 イエスさまの 体は、 はかの 中に ありません。

ヨハネ20:1-2



マリヤは 走って 行って、 だれかが すくいぬしの からだを ぬすんだと ペテロと ヨハネに 話しました。 イエスさまの 体が どこにあるのか 分からなかったのです。

ヨハネ20:2



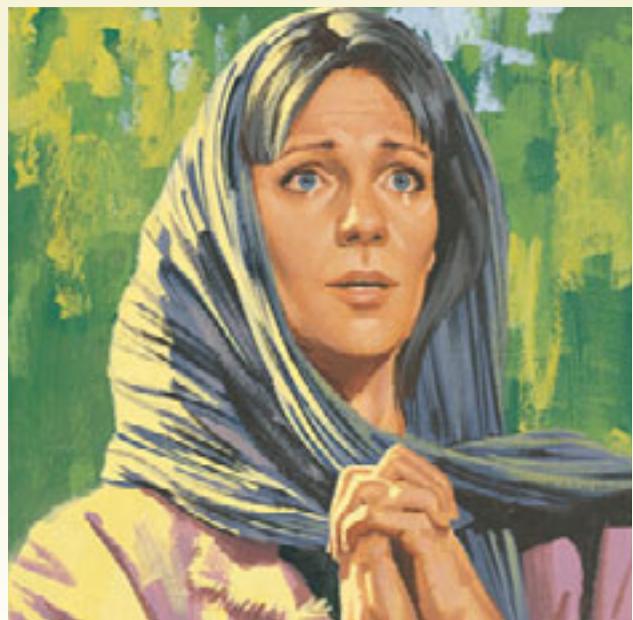
ペテロと ヨハネは はかまで 走って 行きました。イエスさまを まいてあつた ぬのを 見つけましたが、イエスさまの からだ 体は ありませんでした。ペテロと ヨハネは どうすればいいのか 分からずに 家に 帰りました。

ヨハネ20:3-7, 10



マグダラの マリヤは、 はかの そばに のこつて ないていま した。もういちど はかを 見ると、 二人の てんしが 見え ました。

ヨハネ20:11-12



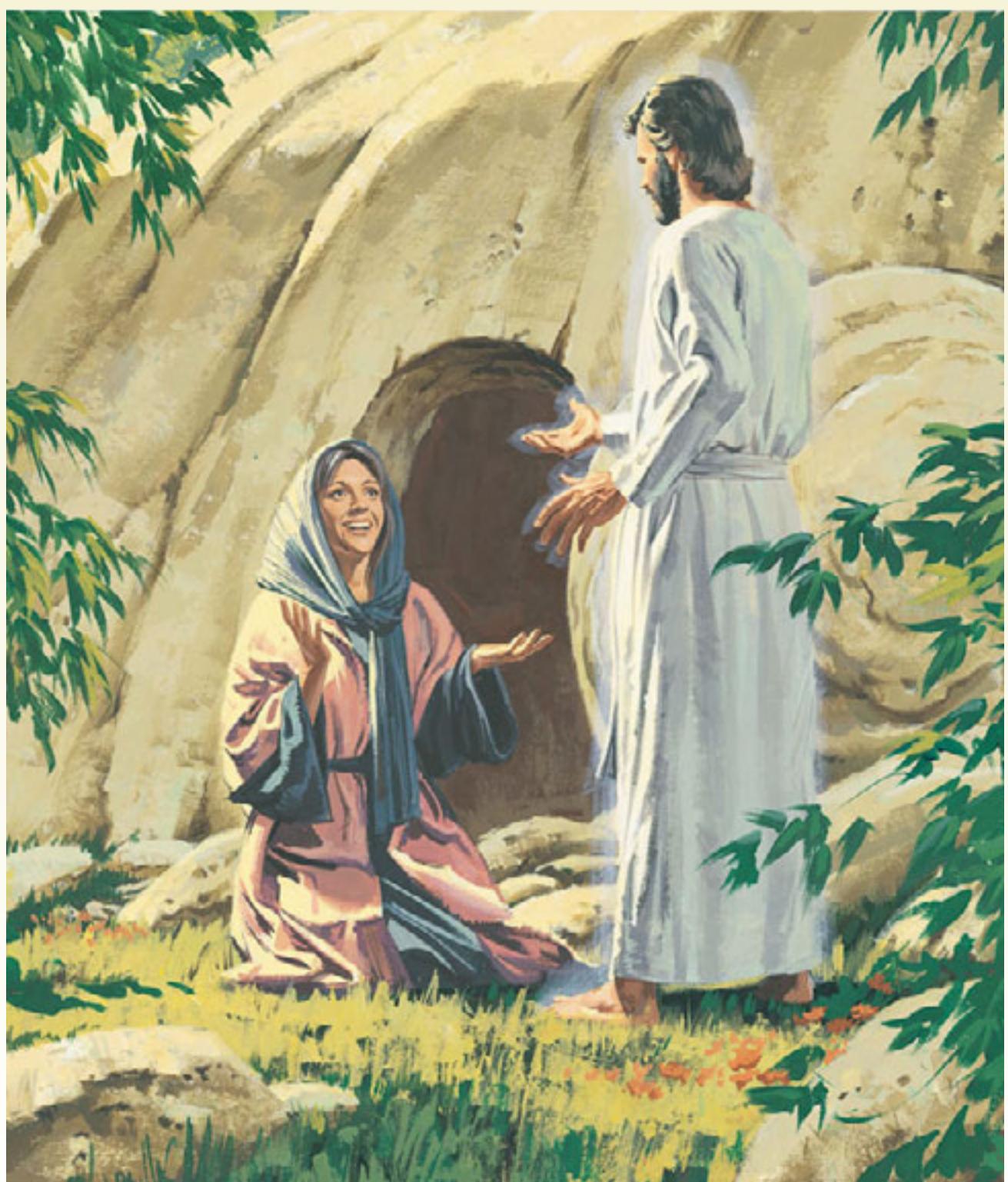
てんしたちは マグダラの マリヤに、 なぜ ないているのか たずねました。マリヤは、 だれかが イエスさまの からだ 体を ぬすんでしまって、 どこに あるのか 分からないのです、 と 答えました。

ヨハネ20:13



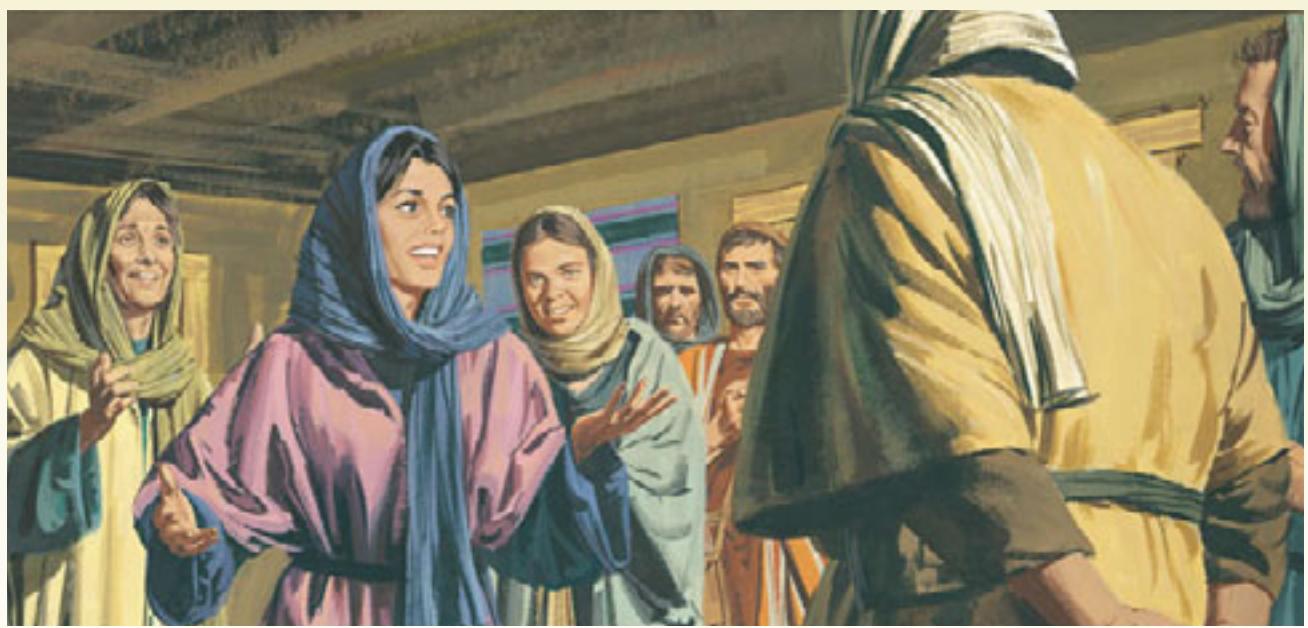
マリヤが ふりむくと、 人が いました。マリヤは はじめ、 そのの ばんにん だと おもいました。その人は、 なぜ な いているのか マリヤに たずねました。マリヤは その人に イエスさまの からだ 体が どこに あるか 知っているか たずねま した。

ヨハネ20:14-15



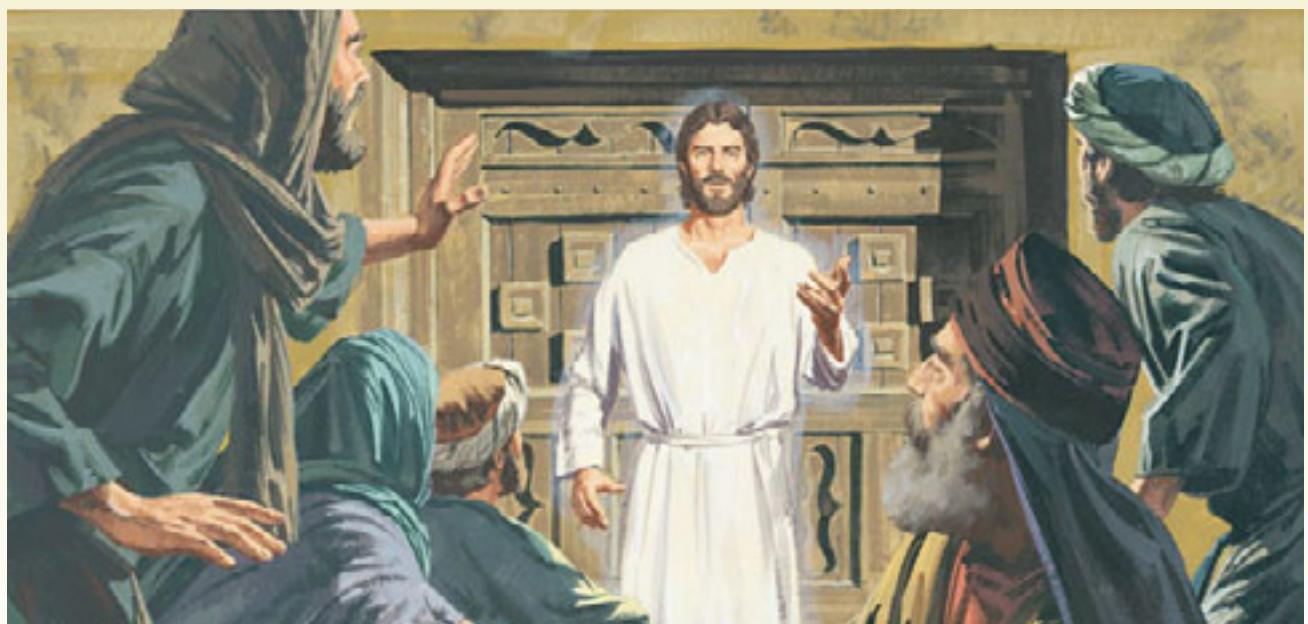
すると、その人が「マリヤよ」とよばれたので、マリヤはイエスさまだと分かりました。イエスさまは、ご自分がふつかつしたことを探しておっしゃいました。

ヨハネ20:15-17



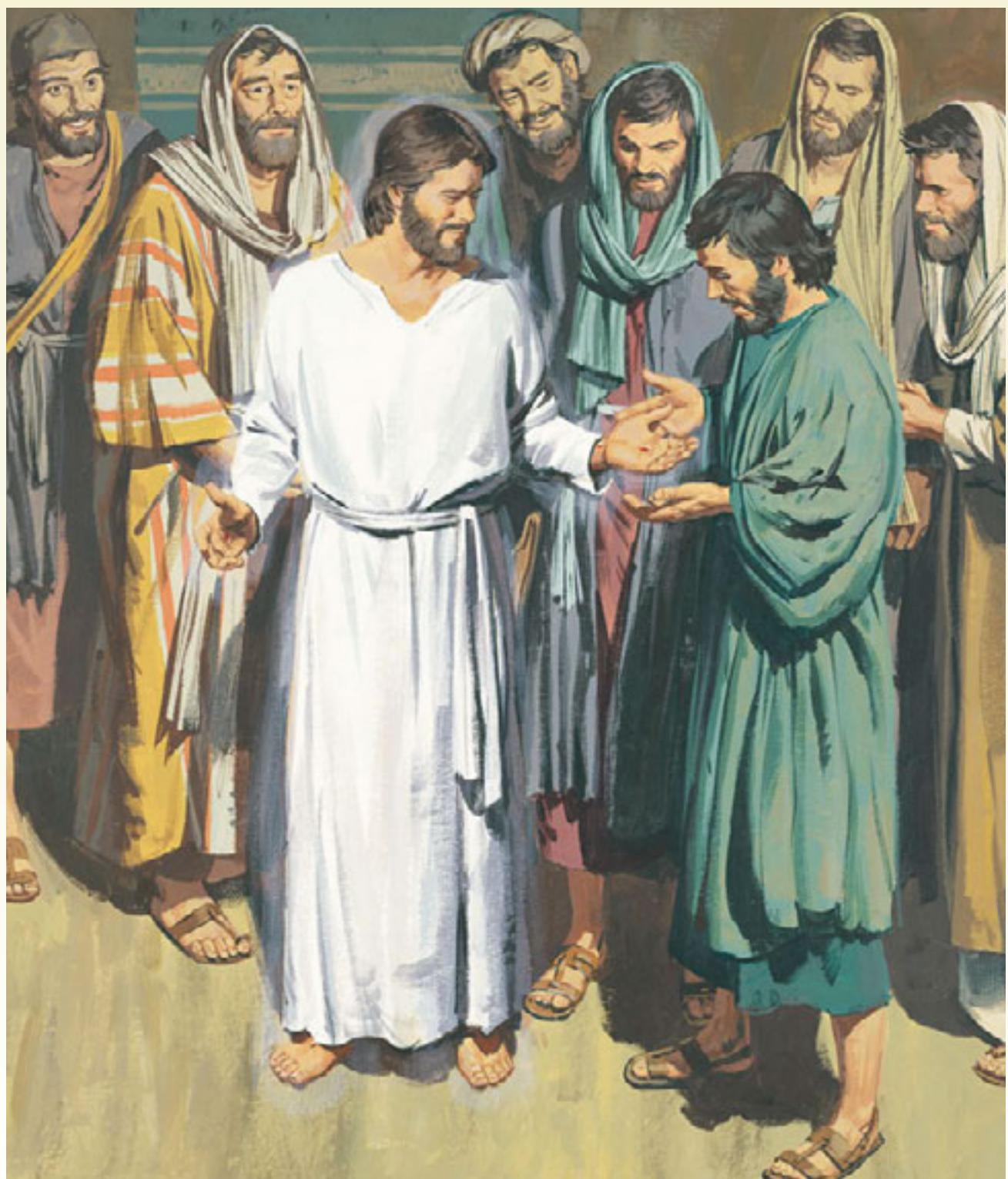
マグダラの マリヤと なんにん おんな 女は、 イエスさまが ふっかつされたことを しとたちに 話しました。しかし、 しとたちははじめ しんじませんでした。

ルカ24：10-11；ヨハネ20：18



あと 後で しとたちが たがいに 話していると、 イエスさまが へやに 入って来られました。 しとたちは こわくなりました。 イエスさまは おなくなりになったと、 まだ おもっていたからです。

ルカ24：36-37



すくいぬしは ご自分の 手や 足に さわるよう おっしゃいました。イエスさまは ふつかつされて、肉體と れいが また ひとつになっていたのです。

ルカ24:38-40



しとたちは イエスさまに お会いできて よろこびました。イエスさまは、食べものが あるか おたずねに なりました。しとたちは 魚と ミツバチの すを さし出しました。イエスさまは それを お食べになりました。

ルカ24:41-43



イエス・キリストは ふっかつされた さいしょの ひとです。イエスさまの 後に たくさんの人 が ふっかつして、エルサレムの人びとにもくげきされました。イエスさまは「わたしは よみがえり であり、いのち である」と おっしゃいました。イエスさまが 死に うちかたれたので、すべての 人は いつか ふっかつします。

マタイ27:52-53；ヨハネ11:25



だい55しょう

## しとたち、<sup>きょう かい</sup>教会をみちびく



13 つかつした後、<sup>のち</sup>イエスさまは 40日間 <sup>にち かん</sup>しとたちと ともに おられました。ふくいんや 教会について 多くの ことを お教えになりました。

使徒1:1-3



イエスさまは すべての ひとに ふくいんを <sup>おし</sup>教えるように おめいじになりました。そして 間もなく 自分は さって行くけれども、 せいれいが たすけてくださると おっしゃいました。

使徒1:4-8



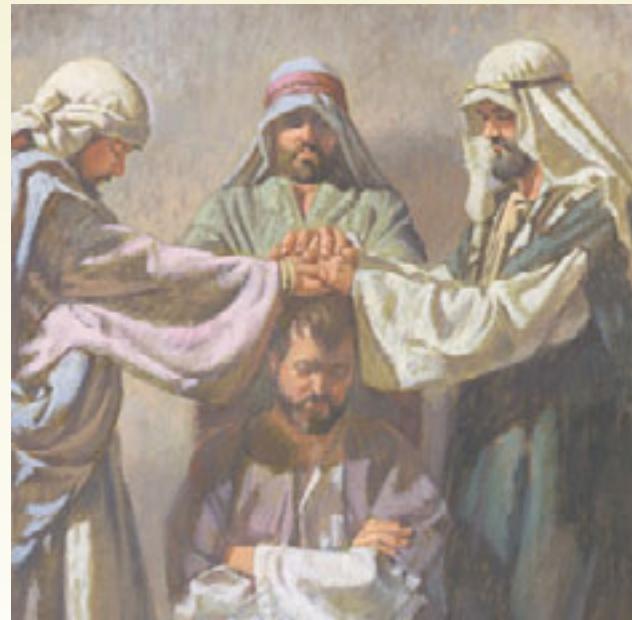
しとたちは イエスさまが 天へ のぼられるのを見ました。白い ころもを きた ふたりの てんしが、 イエスさまは また いつか 天から おりて来られると 言いました。

使徒1:9-11



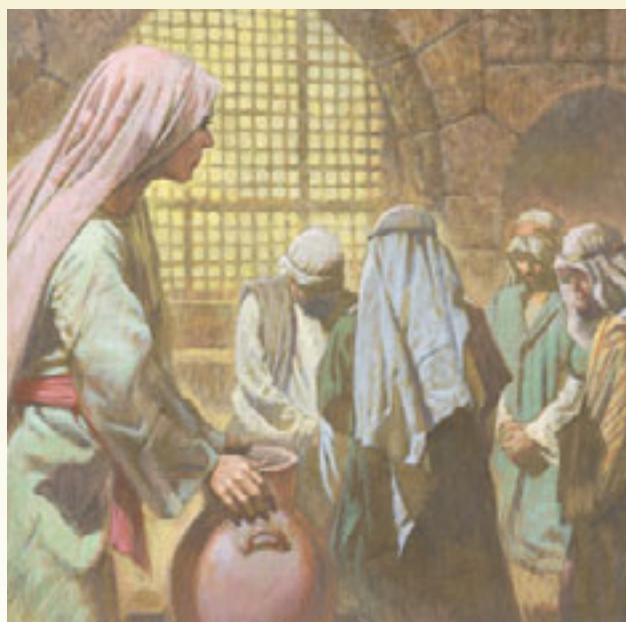
こうして しとたちは 地上の イエス・キリスト教会の しどうしゃに なりました。大かんちょうは ペテロで、 ヤコブと ヨハネが こもんでいた。

マタイ16:18-19; 教義と聖約81:1-2;『キリスト・イエス』215-217



ユダが 死んだため、 しとは 11人しか いませんでした。天のお父さまは 十二しとに マッテヤをおえらびになりました。しとたちは ぜんいん、 とくべつな しんけんの せきにんを うけていました。

マタイ27:3-5; 使徒1:15-17, 21-26; 教義と聖約102:8



しとや ほかの でしたちは しゅを しんじ、 しゅの いましめを まもり、 たがいに あいし合いました。

使徒2:41-47



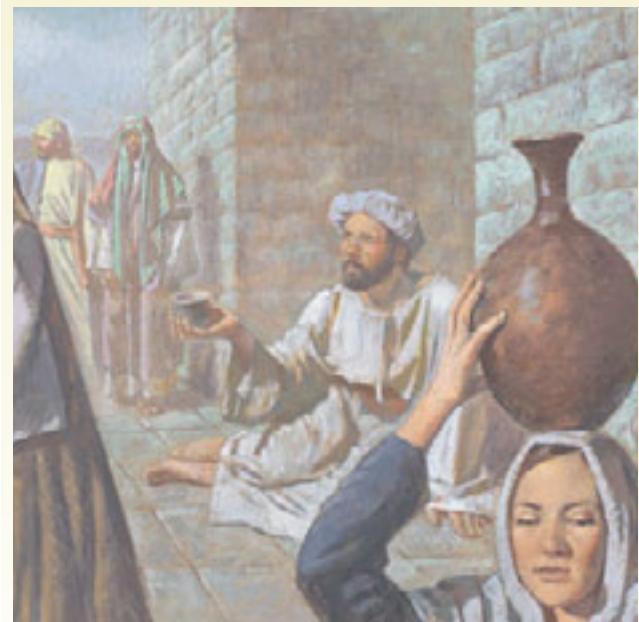
しとたちは しんけんと せいれいの 力によって、 多くのことを行いました。 びょうにんを いやし、 でんどうしました。 イエス・キリストと ふくいんについて 教えました。多くの ひとびとが しとの ことばを しんじ、 教会に入りました。 教会いんは「せいと」と よばれました。

使徒2:2-4, 32-33, 36-43, 47; 3:1-8; ローマ1:7



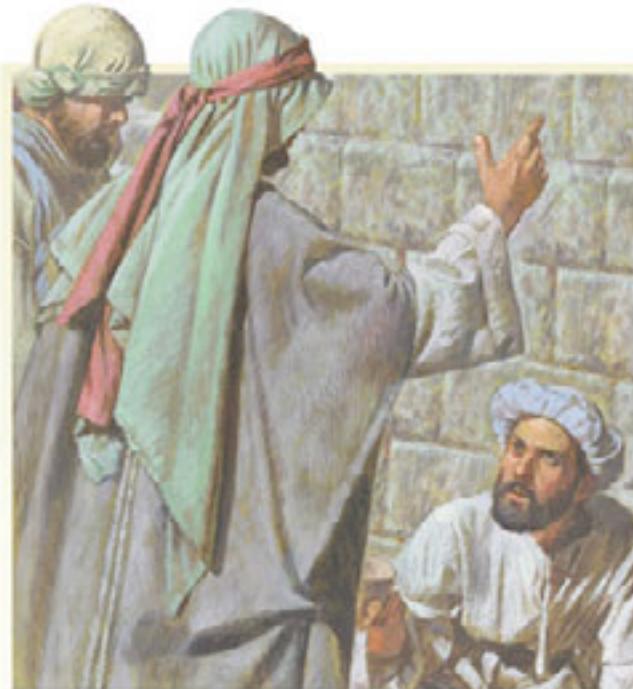
だい56しよう

## ペテロ、男をいやす



**歩**くことの できない 男が 毎日 しんでんへ はこばれて いました。男は しんでんの 門の そばに すわって、ほどこしを もとめました。ある日、ペテロと ヨハネが しんでんに入る ところを 男は 見かけました。

使徒3：1-3



男は ペテロと ヨハネに、お金を 下さいと 言いました。ペテロは、お金は もって いないが、ほかの ものを あげようと 答えました。

使徒3：3, 6



ペテロは イエス・キリストの み名によって 男を しゅくふくして いやしました。そして、男が 立ち上がるのを たすけました。

使徒3：6-7



男は生まれてはじめて歩きました。男が歩いたりとびはねたりしているのを大ぜいの人びとが目にしました。人びとには、それがきせきだと分かりました。ペテロが神さまの力をもっていることが分かったのです。ペテロは、イエス・キリストが男をいやす力を下さったのだとせつめいしました。ペテロはいたいなせんきょうでした。かれは、多くの人びとがイエス・キリストをしんじて、キリストにしたがえるようたすけました。

使徒3:8-13, 16; 4:4



だい57しょう

## わるい人びと、 ステパノをころす

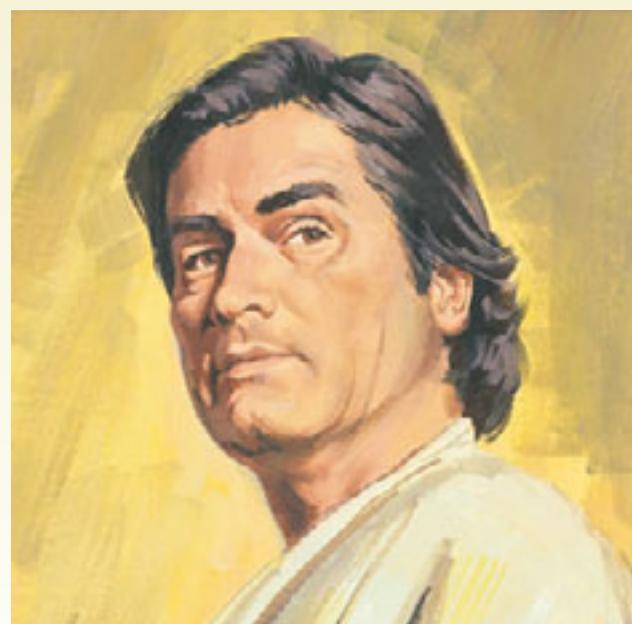


**ユ**ダヤ人の しどうしやの 多くは、 イエスさまが 死ん  
だら きせきが おこらなくなると おもっていました。  
しかし、 しとたちも きせきを おこなつので、 大ぜいの  
ひとびとが イエス・キリストを しんじて 教会に 入りました。  
使徒4：1-4, 13-16；5：14



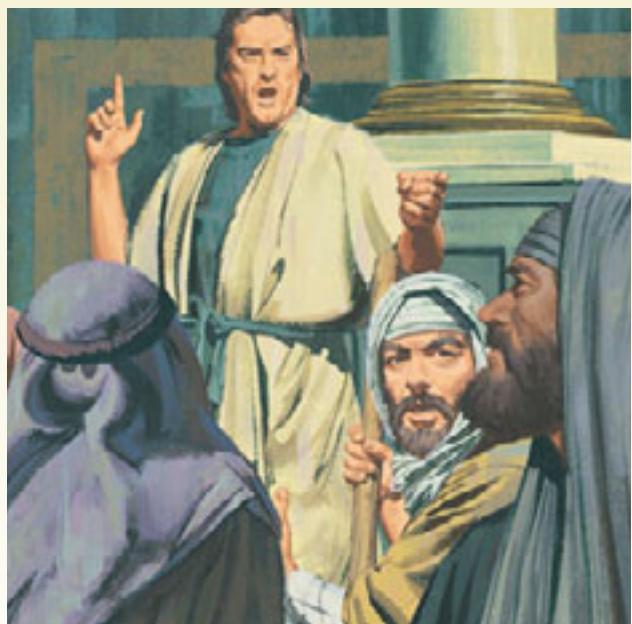
そのため、 たくさんの ユダヤ人 しどうしやは はらを 立て  
ました。 そして、 ペテロと ヨハネを ろうやに 入れました。  
ヘロデ・アグリッパ王は しとの ヤコブを ころさせました。

使徒4：3；12：1-2



しとたちは 教会を みちびくのを たすける 7人の ひとを め  
しました。 一人は ステパノという 正しい 人でした。 ステ  
パノは たくさんの ひとびとに ふくいんを 教えました。 する  
と、 わるい ひとびとが うそを ついて、 ステパノは ユダヤ  
人の りっぽうを まもらないように 教えていたと 言いました。  
そして ユダヤ人 しどうしやに さいばんを してもらお  
うと つれて行きました。

使徒6：3-12



ステパノは しどうしゃたちに 言いました。「あなたがたは わるい 人びとです。神の おん子 イエス・キリストを ころした からです。」

使徒7: 51-54



ステパノが 天を 見上げると、天のお父さまと イエス・キリストが 見えました。そのことを ユダヤ人 しどうしゃに 言うと、しどうしゃたちは とても おこりました。

使徒7: 55-56



しどうしゃたちは、石を なげつけて ころす ために、ステパノを 町から 連れだしました。そして、うわぎを ぬいで、サウロという わかもの足もとに おきました。しゆ前、ステパノは 自分の れいを 天に うけ入れて くださるように 神さまに おねがいしました。また、自分を ころす 人びとを ゆるして くださるように いのりました。そして ステパノは 死にました。

使徒7: 58-60



だい58しょう

## シモンとしんけん



マリヤでも、たくさんの ひとが ふくいんを 聞いて しんじました。その ひとは バブテスマを うけましたが、せいれいは まだ うけて いませんでした。

使徒8:5, 12-16



ペテロと ヨハネは サマリヤへ 行きました。そして、ひとの 頭に 手を おいて、せいれいの たまものを さずけました。

使徒8:14-17



ペテロと ヨハネが ひとびとに せいれいの たまものを さずけているのを、シモンという 男が 見ていました。シモンは、二人の しどり ひとびとに せいれいの たまものを さずけることが できるのは しんけんを もって いるからだと 知りました。自分も しんけんが ほしいと おもいました。

使徒8:9, 18-19



シモンは ペテロと ヨハネに お金を さし出して、わたしに しんけんを くださいと 言いました。ペテロは、しんけんを お金で 買うことは できないと 答えました。しんけんは 神さまが 正しい人に さずけて くださる ものです。ペテロは シモンが 正しくないことを 知っていました。そして、くいあらためるように 言いました。

使徒8:18-24



だい59しよう

## サウロ、イエスについて し 知る



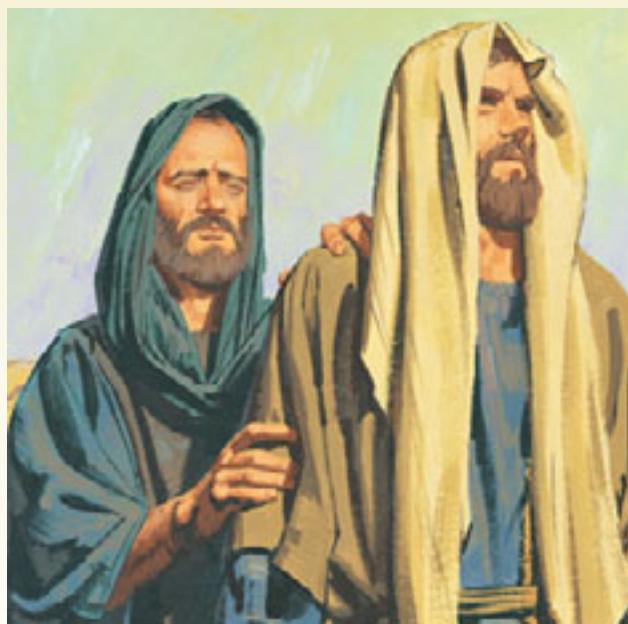
ひとびとがステパノをころしたとき、サウロはそれを見ていました。ある日、サウロは友だちといっしょにダマスコへ歩いていました。キリストのでしをろうに入れるつもりでした。

使徒7:58; 9:1-2



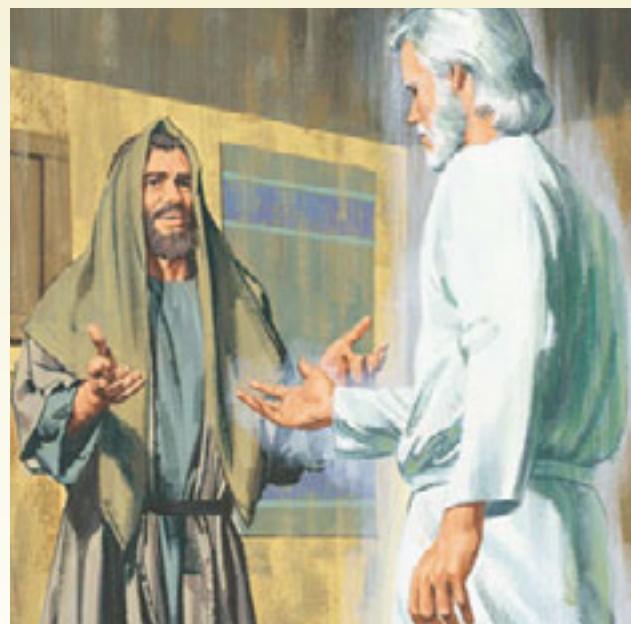
すると、天からまぶしい光がさして、サウロのまわりをてらしました。サウロはじめんにたおれました。そして、なぜせいとたちをくるしめるのかとおたずねになるイエスさまの声を聞きました。サウロはこわくなりました。どうしたらいいか、イエスさまにたずねました。すぐいぬしはダマスコへ行くようにおっしゃいました。そうすれば、何をしたらよいかつげられるであろう、とのことでした。

使徒9:3-6



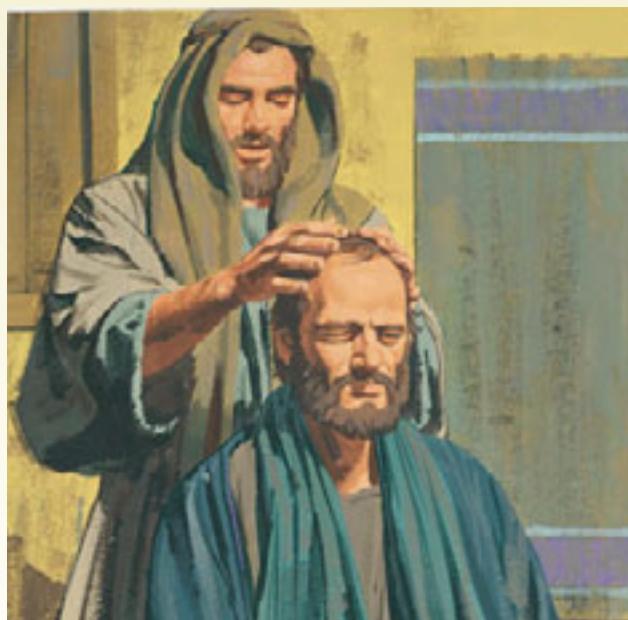
サウロは 目を あけましたが、 何も 見えませんでした。 目が 見えなくなっていたのです。 そこで、 友だちが ダマスコへ つれて 行って くれました。

使徒9：8-9



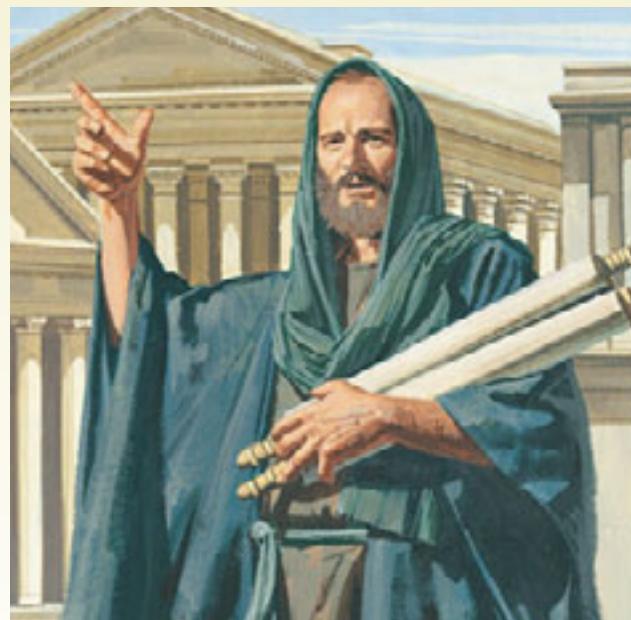
ダマスコには、 アナニヤという 名の、 イエス・キリストの でしが すんでいました。 イエスさまは じげんの 中で アナニヤに、 サウロの ところへ 行くように おっしゃいました。

使徒9：10-11



アナニヤは しんけんを もって いました。 サウロの 頭に 手を おいて、 目が また 見えるように しゅくふくしました。 いやされた後、 サウロは バプテスマを うけて せいれいの たまものを さずかりました。

使徒9：17-18



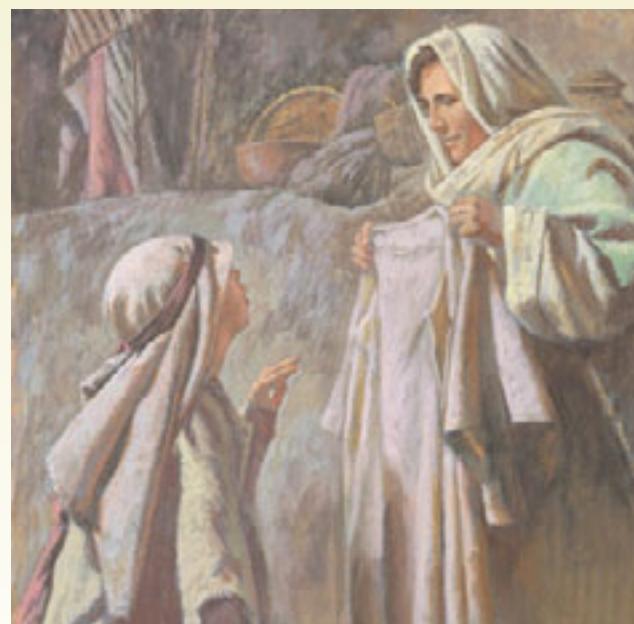
サウロは 名前を パウロに かえ、 しとに めされました。 教会の せんきょうしになり、 たくさん の 手紙を 書きました。 いろいろな ばしょに 行って、 ふくいんを 教えました。

使徒26：16-23；ローマ1：1



だい60しよう

## ペテロ、タビタを 生きかえらせる



ツバの町に、タビタという名の正しい女がすんでいました。タビタはイエス・キリストをしんじていました。多くの人びとをたすけて、たくさんのよいことをしました。

使徒9:36



ところがびょうきになって死んでしまいました。

使徒9:37



タビタの友だちはペテロをよびました。とうちゃくしたペテロはタビタの友だちに、へやの外に出てください、と言いました。

使徒9:38-40



ペテロはひざまずいていのると、タビタにおき上りなさいと言いました。すると、タビタは自をあけて立ち上りました。

使徒9:40



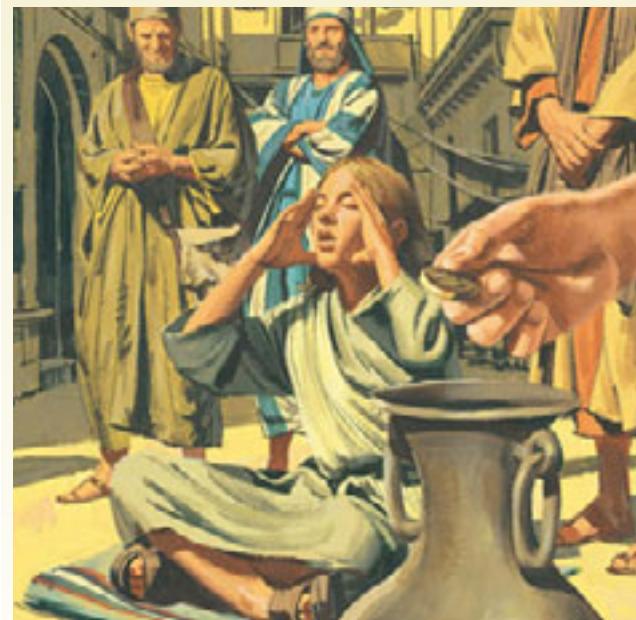
ペテロはタビタがおき上るのをたすけました。そして、とも友だちをよびました。みなはへやに入って来て、タビタが生きかえっているのを見ました。ペテロはしんけんの力をつかって、タビタを生きかえらせたのです。タビタが生きかえったことを知って、ヨッパでたくさんの人びとがイエス・キリストをしんじました。

使徒9:41-42



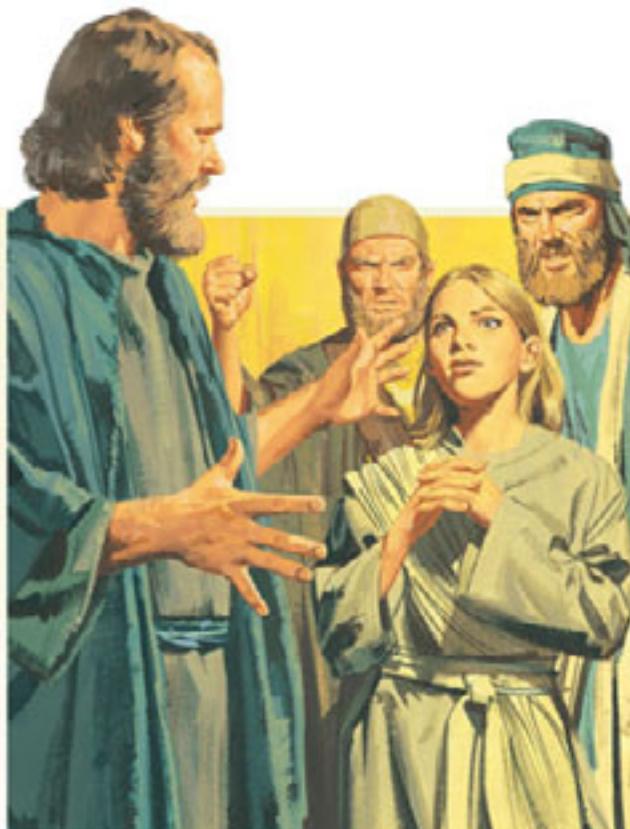
だい61じょう

## い ろうに入れられた パウロとシラス



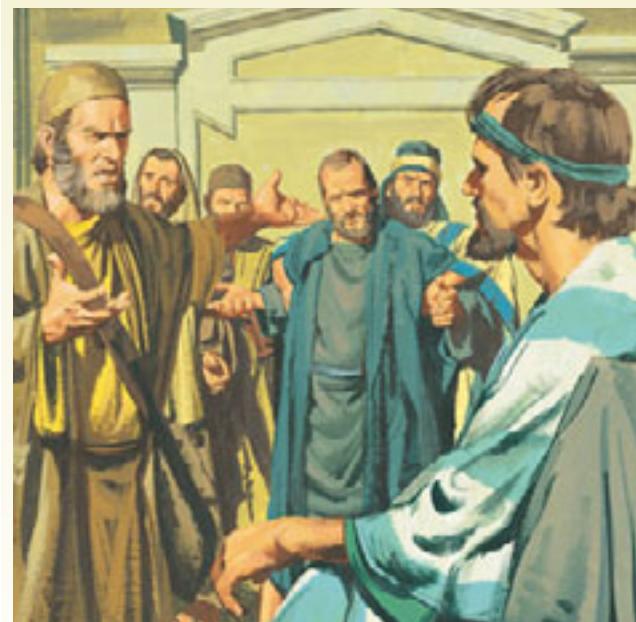
あくれいにつかれた少女がいました。人びとはあく  
れいが少女を通して語ることばを聞くのがすき  
でした。そこで人びとは少女のしゅじんたちにお金を  
はらって、あくれいのことばを聞きました。

使徒16:16



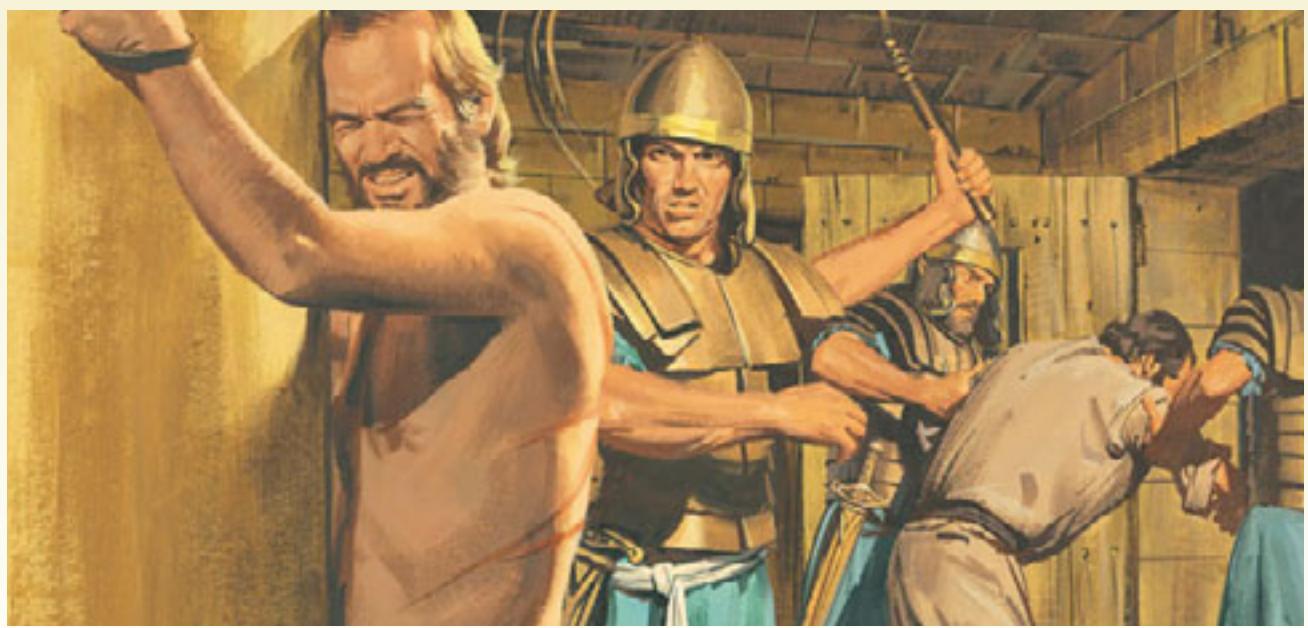
パウロとシラスがそばを通るといつも、その少女があとをついて来ました。そのたびに、あくれいが語り出しました。ある日、パウロはあくれいに、少女から出て行きなさいとめいじました。あくれいはいなくなりました。すると、少女のしゅじんたちがおこりました。お金をかせげなくなったからです。

使徒16:17-19



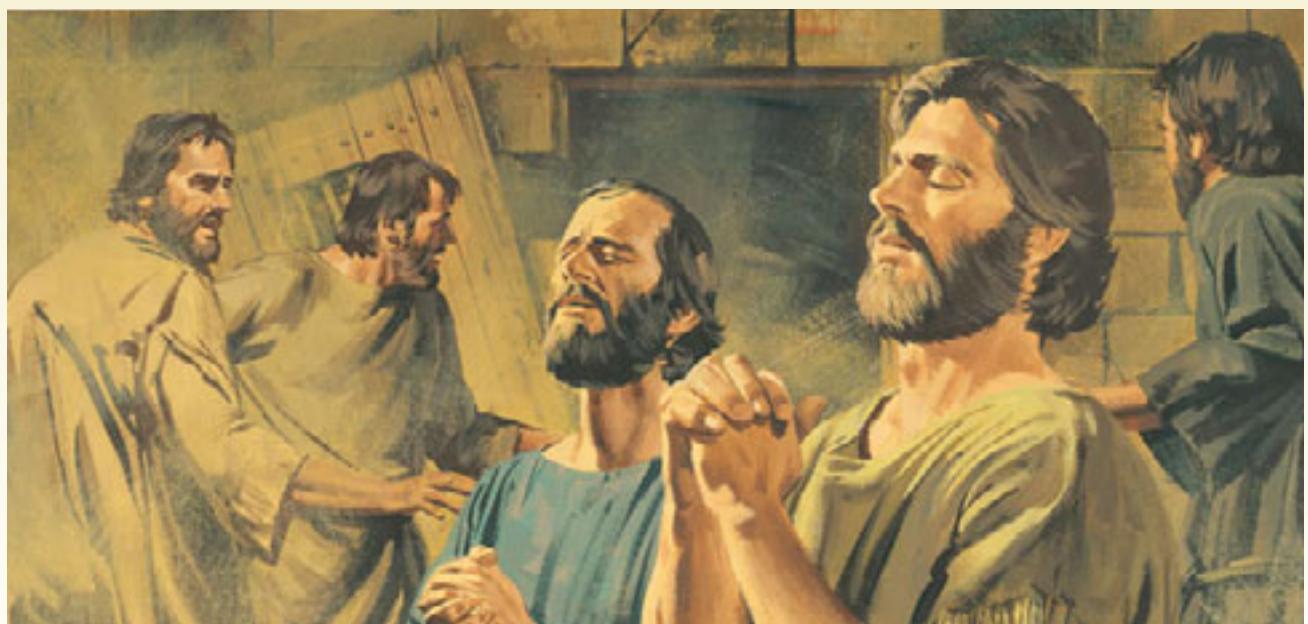
男たちはパウロとシラスを町のやくにんのところへつれて行きました。そして、パウロとシラスがもんだいをおこしたと言いました。

使徒16:19-22



やくにんたちは パウロと シラスを むちでうち、 ろうに 入れました。

使徒16:22-24



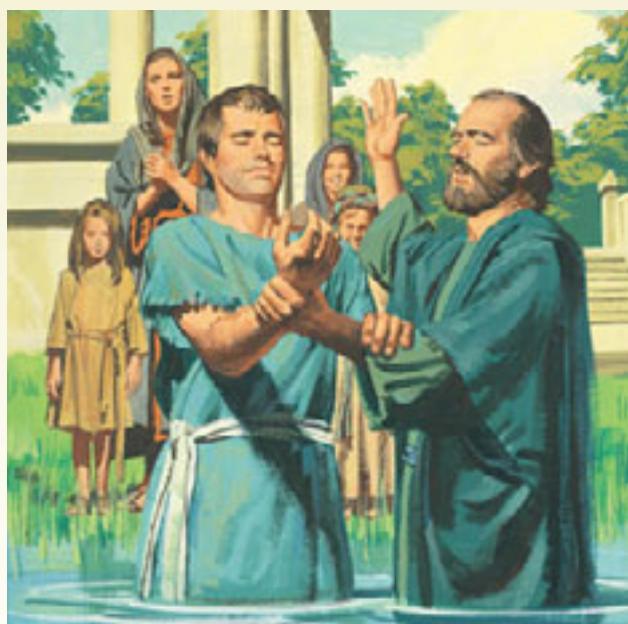
その夜、 パウロと シラスは 天のお父さまに いのったり、 さんびかを 歌つたり しました。 ろうにいる すべての 人が 二人の 声を 聞きました。 すると、 とつぜん 地が ゆればじめ、 ろうの とびらが ひらきました。

使徒16:25-26



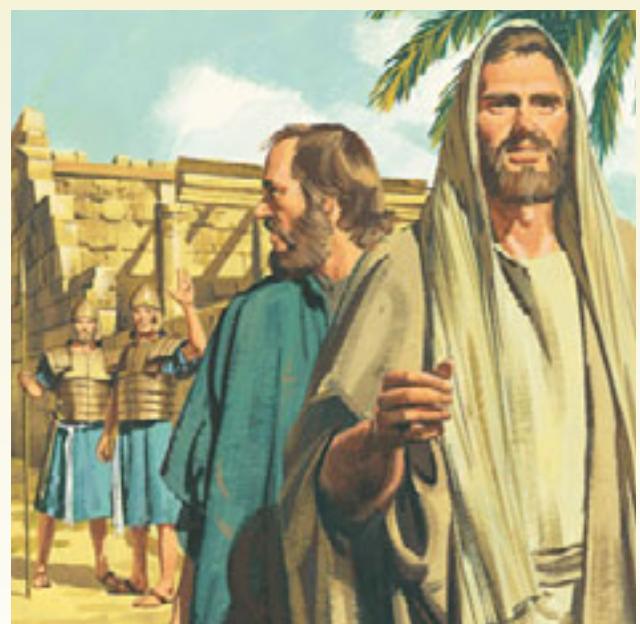
自をさましたろうばんはとびらがひらいているのを見て、しゅうじんたちがにげたとおもいました。ところがパウロはろうばんにしんぱいしないように言いました。しゅうじんはまだぜんいんそこにいたからです。ろうばんはパウロとシラスの足もとにひざまずいて、どうしたらすぐわれますかとたずねました。

使徒16:27-30



パウロとシラスはろうばんとそのかぞくにふくいんをおじいました。その夜、ろうばんとそのかぞくはバプテスマをうけました。

使徒16:31-33



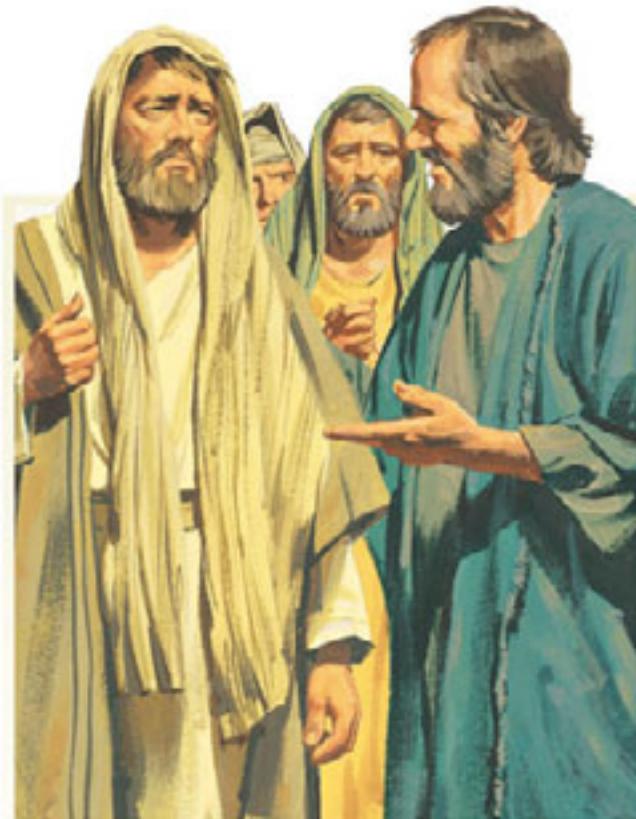
つぎのひ、町のやくにんたちはパウロとシラスをろうから出しました。パウロとシラスはほかの町に行って、またでんどうをしました。

使徒16:35-40



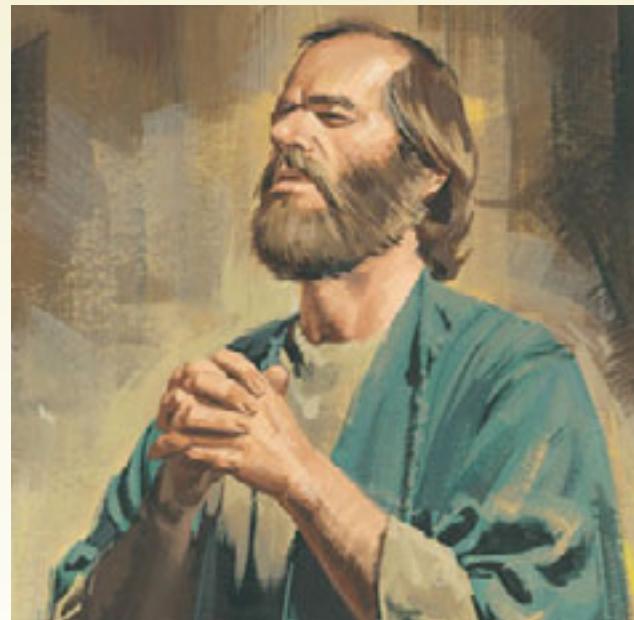
だい62しょう

## パウロ、せいれいに したがう



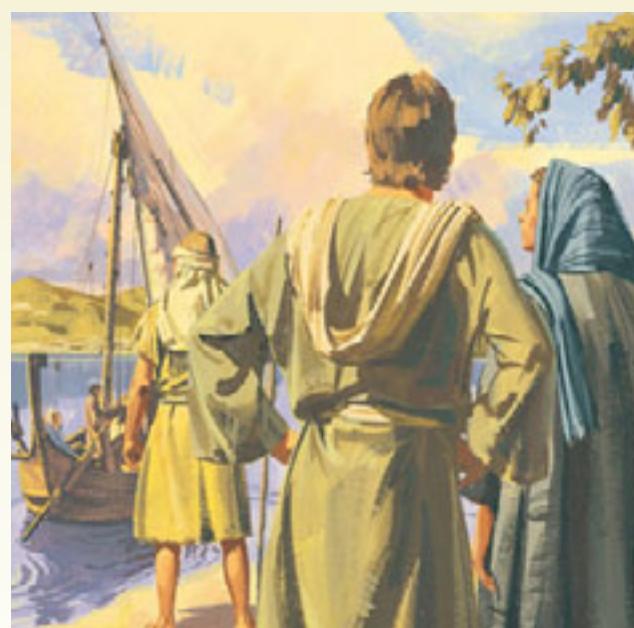
パウロは 友だちに わかれを つげました。もう 会うことはないだろうと 言いました。ふくいんに したがって 生活して、神さまの いましめを まもるように 言いました。また、しんじつで ないことを 教えようと する 人びとの 言うこと を 聞いては いけないと 言いました。

使徒20: 25, 28-32



せいれいは、しと パウロに エルサレムへ 行くように おつげに なりました。せいれいは、パウロが ろうに 入れられるであろうと 言われました。しかし、パウロは おそれませんでした。すくいぬしを あいしていたので、せいれいの おっしゃる とおりに しました。

使徒20: 22-24



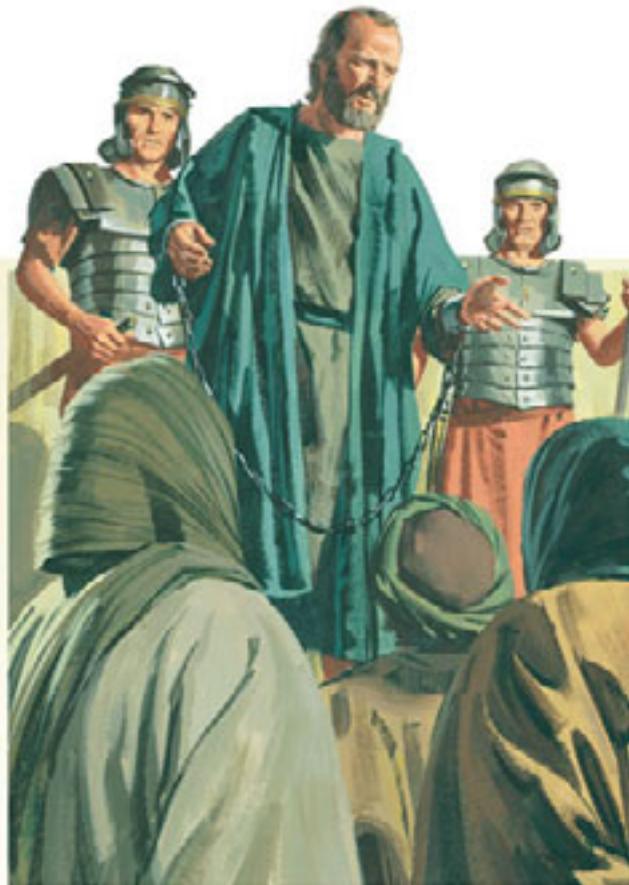
パウロは、たがいに あいし合って たすけ合いなさいと 言いました。パウロは 人びとと ひざまずいて いのりました。みんな なみだを ながしました。パウロと いっしょに ふねの ところまで 行き、パウロが エルサレムに むかって しゅっぱつするのを見おくりました。

使徒20: 35-38



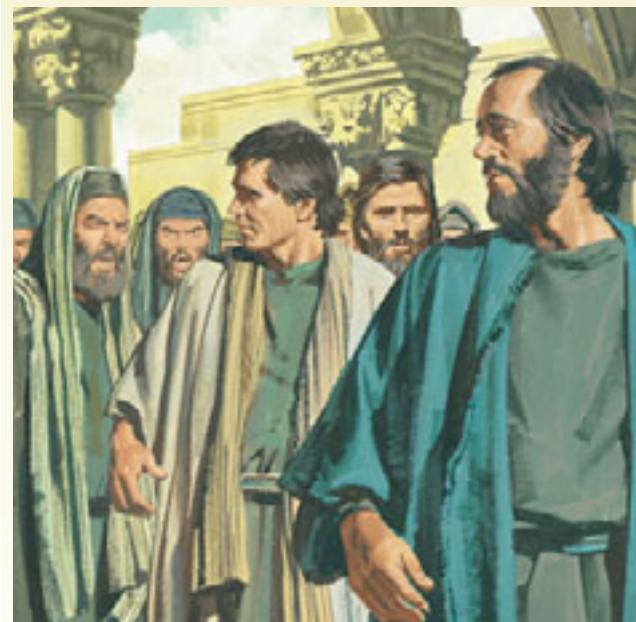
だい63しょう

## パウロ、でんどうを おえる



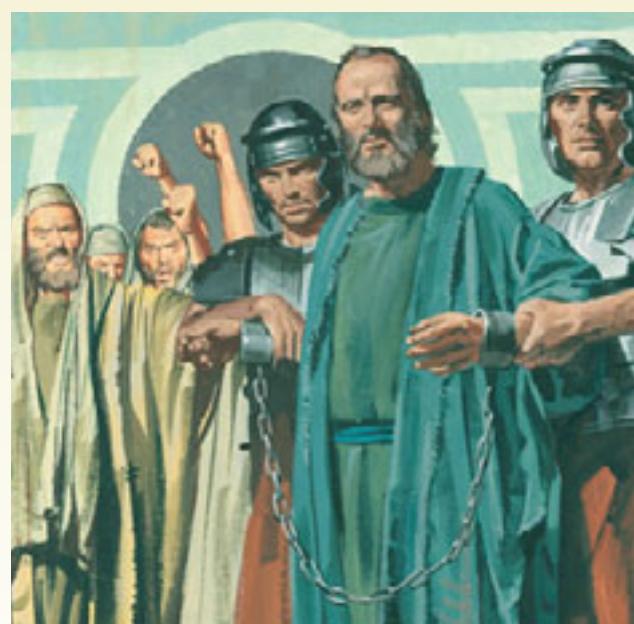
その後、ローマの へいしたちが パウロを たいほし、ユダヤ人たちに むけて 話を させました。パウロは、天から光が 見えて、すくいぬしの 声を 聞いたと あかし しました。また、イエスさまから ふくいんを のべつたえるように めいじられたことを 話しました。

使徒21:33-40; 22:1-15



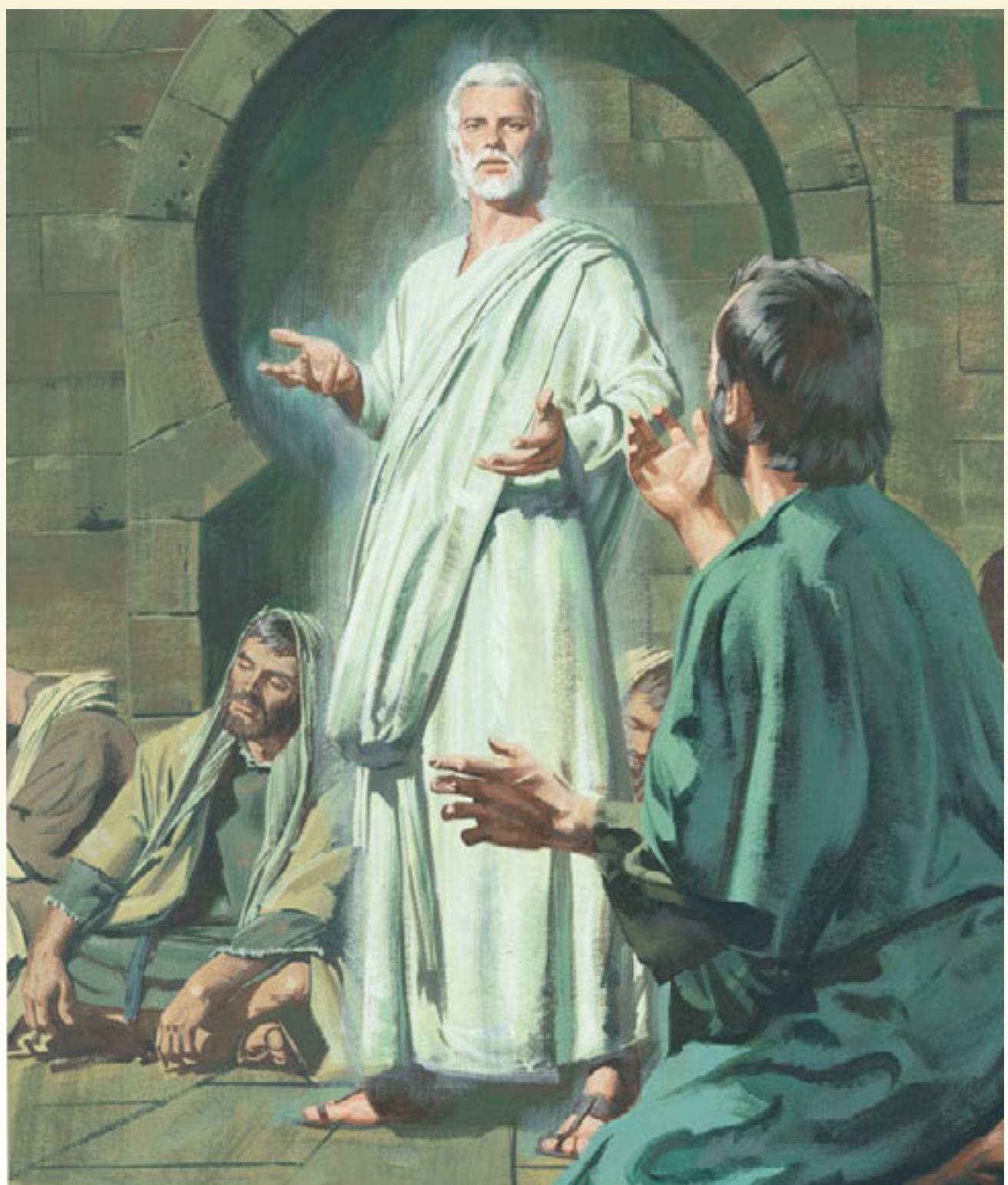
パウロは エルサレムの しんでんへ 行きました。何人かの ユダヤ人は、パウロが 前に ユダヤ人でない 人びとを しんでんの 中に 入れたと おもって いました。これを 聞いて、ユダヤ人たちは おこり、パウロを しんでんから つれ出して、むちで うちました。

使徒21:26-32



人びとは パウロの 言うことを しんじようとせず、かれを ころしたいと おもいました。へいしたちは 夜の間 パウロを ろうに 入れました。

使徒22:22-30



すくいぬしは ろうで パウロの ところに 来て、 おそれることは ないと おっしゃいました。そして、 パウロが ローマへ 行つて、 そこで ふくいんを 教える ことになる、 と言われました。

使徒23:11



ローマ**ひと**たちは パウロを まもるために ほかの **まち**に かれを おくりました。そこには アグリッパ**おう**王が いました。パウロは アグリッパ**おう**王に、自分が 前は パリサイ人で、イエスさまを **しんじ**た 人**ひと**とを にくんでいた ことを 話しました。イエスさまの でしを ろうに入れていた ほどです。しかし、天から 光が 見えて、すくいぬしの 声を 聞きました。そして イエスさまを **しんじ**るようになったのです。

使徒23：12-35；25：13-23；26：1-15



パウロはアグリッパ王に、ふくいんがしんじつであることをあかししました。そして、イエスさまはふつかつされた、と言いました。じげんの中で、イエス・キリストはふくいんを教えるようにパウロにおめいじになりました。パウロがしたがったので、大せいの人がパウロをにくんでいました。

使徒26:16-23



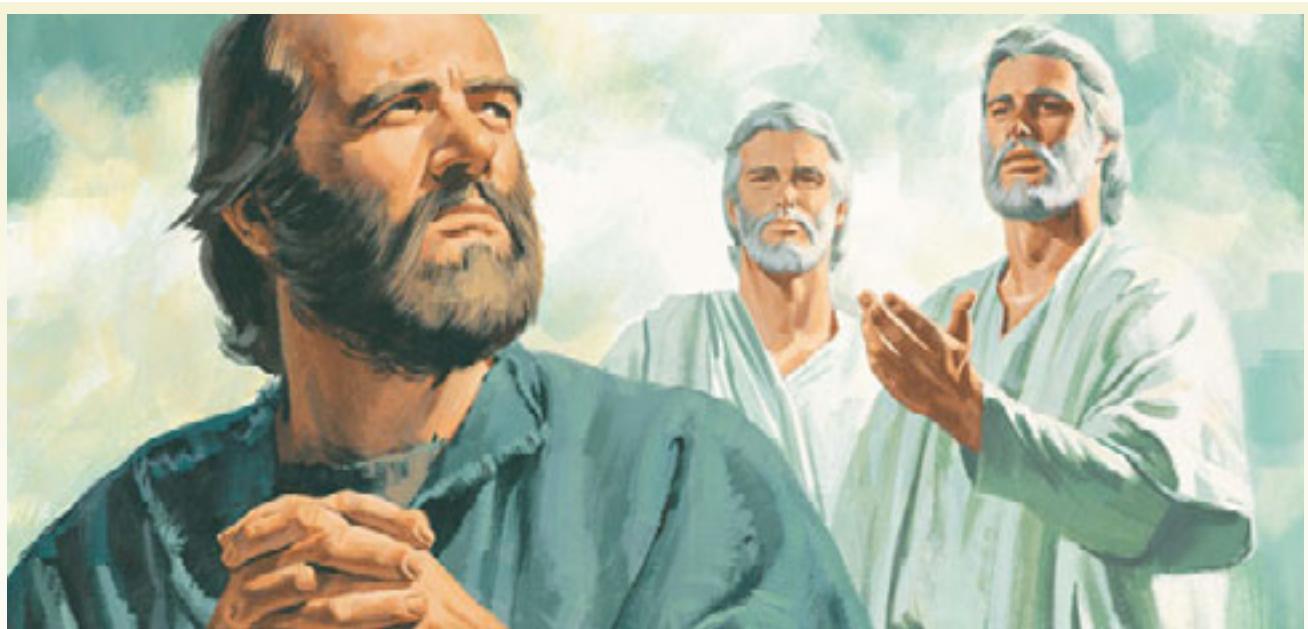
アグリッパ王は、パウロの話を聞いてイエスさまをしんじたい気もちになったと言いました。王はパウロをころすひつようはないとおもいました。しかし、パウロをローマへおくって、さばいてもらわなければなりませんでした。

使徒26:27-32



パウロは 2年間 ローマの ろうに 入れられました。多くの ひとびとが 会いに 来ました。パウロは その ひとびとに ふくいんを 教えました。また、ほかの ばしょに いる せいとには 手紙を 書きました。パウロの いくつかの 手紙は 新約聖書に あります。

使徒28:16-31



パウロは 自分が ころされる ことを 知っていましたが、おそれませんでした。神さまの いましめを まもって、ふくいんを 教えて きました。でんどうを さいごまで やりとげたのです。パウロは 天のお父さまが あいしてくださっている ことを 知っていました。そして、死んだ後、天のお父さまと イエス・キリストといっしょに すめる ことも 知っていたのです。

2テモ4:6-8

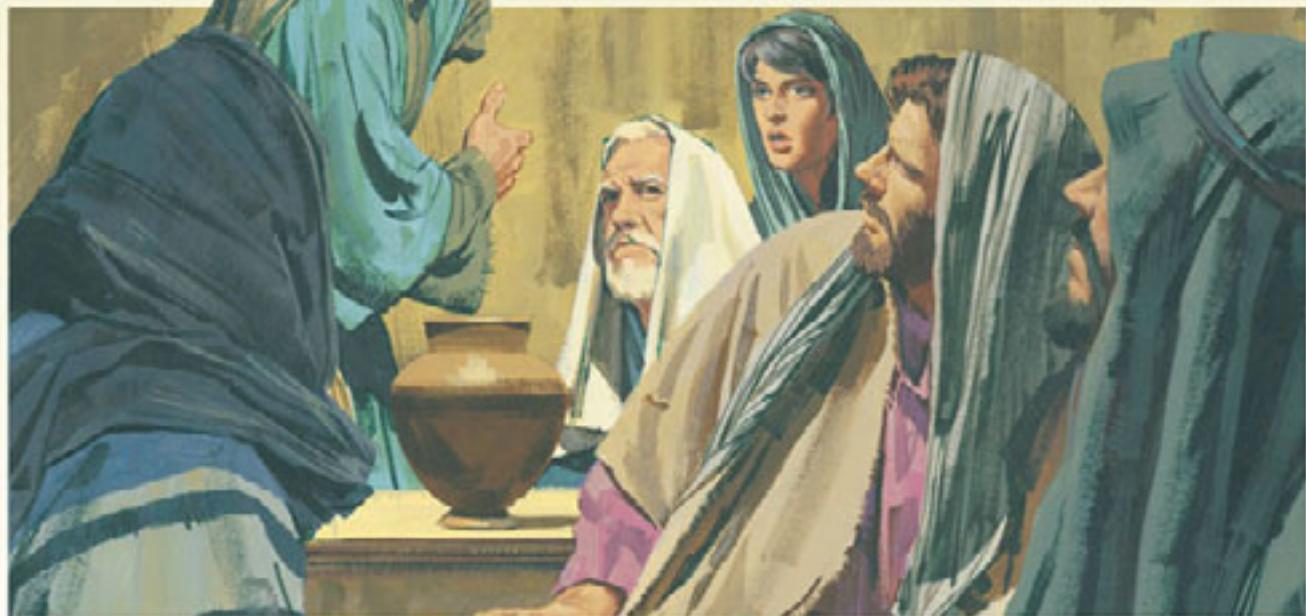


# しん やく せい しょ 新約聖書のあとじだい



きょう かい 会の しどうしゃは ひと 人びとに イエス・キリストに ついて 教える ために ねっしんに はたらきました。せいとの もとを おとすれたり、せいとに 手紙を 書いたり しました。いろいろな ばしょで 人びとが 教会に 入りました。わるい 人びとは、みなに イエス・キリストを しんじて ほしく ありませんでした。

使徒6:2-4, 7:11-19-21



わるい 人びとは いましめを かえたいと おもいました。いちぶの せいとたちは、その ひと 人びとの 話に 耳を かたむけるよ うになりました。やがて、多くの ひと 人びとが イエスさまを しんじるのを やめて、いましめを まもらなく なりました。

ガラテヤ1:6-8; テス1:10-11; 1ヨハネ2:18-19



おお ひと ひと ひと ひと ひと  
しとや 大ぜいの せいとが ころされ、 教会を みちびく 人が いなくなりました。 しんけんの かぎが 地上から とりされ、  
ひと ひと ひと ひと ひと ひと  
ひとびとを みちびく よげんしゃが いなくなりました。 こうして、 イエス・キリストの 教会は もはや 地上に なくなつて し  
まいりました。 しとの ペテロと パウロは かつて こういう ことが おきると 言っていました。

マタイ23:34;24:8-10;ローマ8:36;1コリント4:9-13;1ペテロ4:12;『キリスト・イエス』721-722



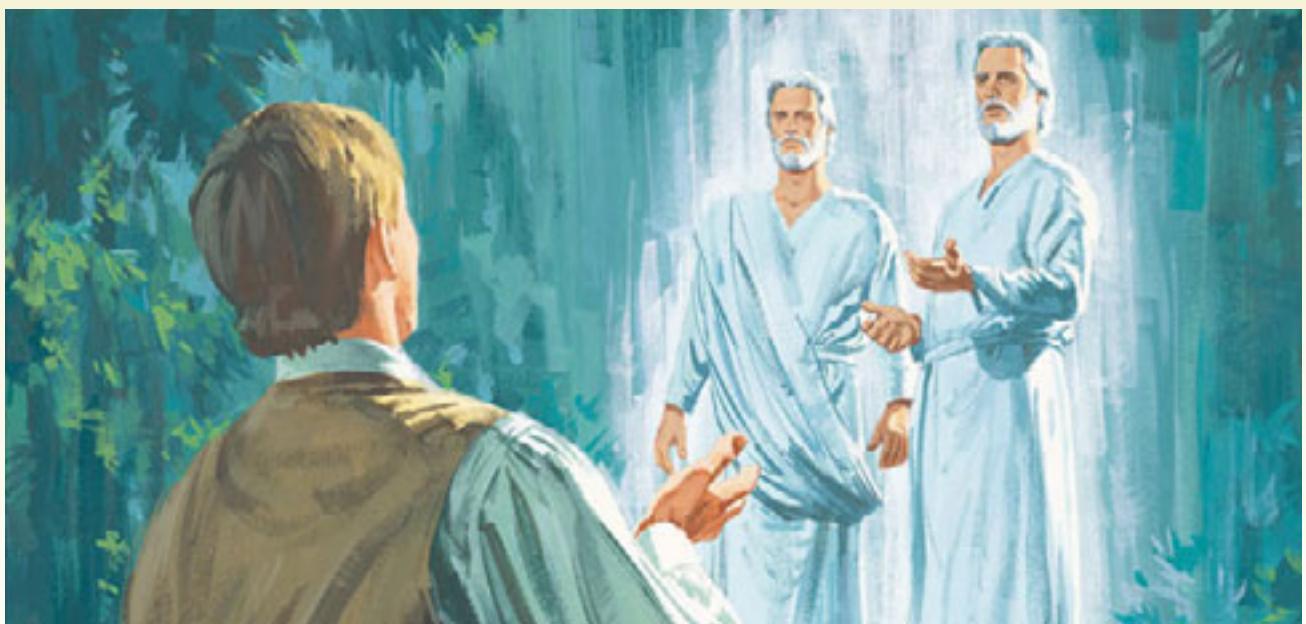
なんびやくねん きょうかい  
何百年かが すぎました。 いろいろな 教会が ありましたが、 しとや 神さまの しんけんがある 教会は ありませんでした。  
どれも イエス・キリストの 教会では なかつたのです。 しかし、 よげんしゃたちは 何百年も 後に イエス・キリストの 教  
かい ちじょう い  
会が 地上に かいふくされると 言っていました。

使徒3:19-26;2テサロニケ2:1-4;2テモテ4:3-4



1820年、ジョセフ・スミスという少年は、どの教会がイエス・キリストの教会か知りたいとおもいました。ジョセフは家の近くの森へ行っていました。どの教会が正しいか教えてくださいと神さまにおねがいしました。

ジョセフ・スミス—歴史1:3, 5, 10, 14-15



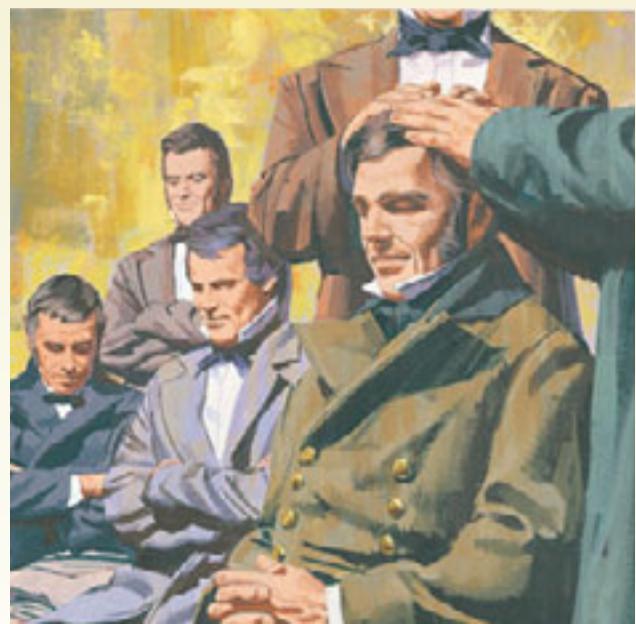
天のお父さまとイエス・キリストがジョセフ・スミスをおとすれられました。すぐいぬしはジョセフに、どの教会もご自分の教会ではないのでどれにも入ってはならない、とおっしゃいました。

ジョセフ・スミス—歴史1:17-19



神さまは ジョセフにより キリストの教会を 地上に もどすために てんしを つかわして、 ジョセフに しんけんを さずけられました。また、 ジョセフが モルモン書を ほんやくするのを たすけられました。こうして、 1830年4月6日、 キリストの教会が もういちど 地上に 作られました。

ジョセフ・スミスー歴史1:33, 66-75



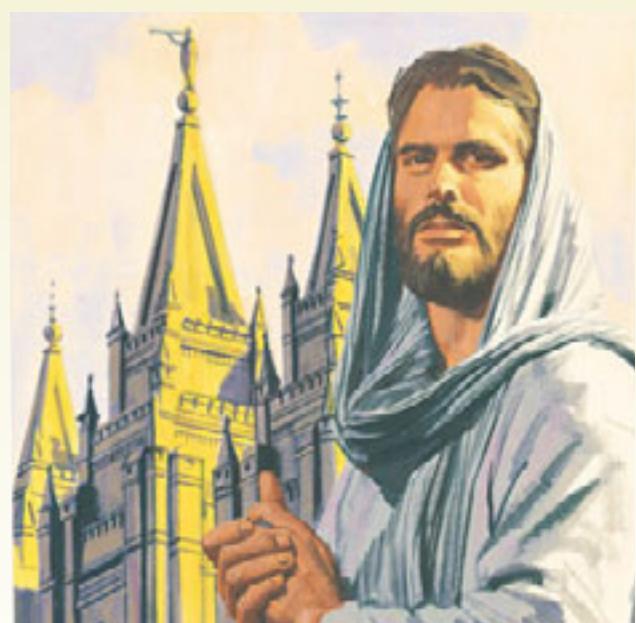
イエスさまが 地上に いたときに 十二しとを えらばれたように、 神さまは ジョセフ・スミスが 十二しとを えらぶのを おたすけになりました。かれらは ジョセフが 教会を みちびくのを たすける ひとです。しとたちは ふくいんを教えて、 きせきを おこなう 力を さずけられます。

教義と聖約102:3; 107:22-23, 35



イエスさまは すべての人が 教会について 知ることを のぞんで おられます。そこで、 まつじつ せいと イエス・キリスト教会について すべての人に 教えるために、 せんきょうしを おくるよう、 ジョセフ・スミスにおめいじになりました。

教義と聖約1:18, 30



まつじつせいと イエス・キリスト教会は、 イエスさまが 地上に 生きて おられた ときに そしきされた 教会と 同じ 教会です。

教義と聖約115:4

# 新約聖書ものがたりに出てくることば

**あかし** せいれいがつたえてくださる、 ふくいんがしんじつであるという気もちやおもい。

**あかしする** あることがしんじつであると知っていることを人につたえること。

**あく** よくないもの。神さまから出でていないもの。

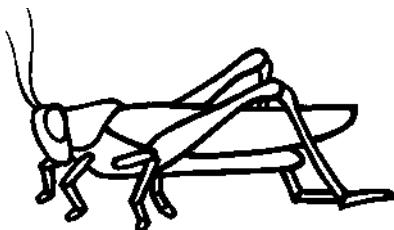
**あくま** サタンのもう一つの名前。

**あざけりわらう** ばかにすること。

**あれ野** 町などがなく、 すんでいる人があまりいないばしょ。

**あんそく日** 教会に行ったり、 神さまについてさらに学んだりして、 神さまをれいはいするとくべつな日。

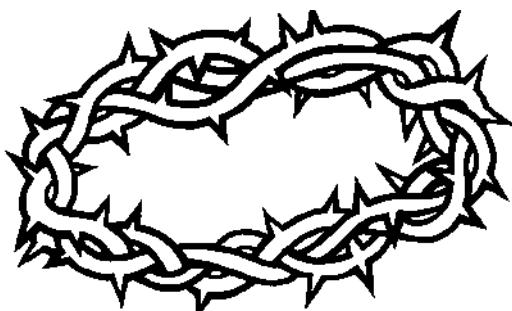
**いなご** 空をとぶ大きなこんちゅう。ときどき食べものとしてもちいられることがある。



**いのり** いのるときに言うことば。

**いのる** 神さまに語りかけ、 かんしゃをのべて、 しゅくふくをおねがいすること。

**いばらのかんむり** するどいとげの付いたえだをまるくあんだもの。イエスさまの頭におされた。



**いましめ** 人がしあわせになれるように、 神さまがするようにおっしゃること。

**いやす** びょうきやけがをしている人をなおすこと。

**いわう** とくべつなことをして大切な日をおもい出すこと。

**うそをつく** ほんとうのことを言わないこと。

**うらぎる** 友だちにはむかうこと。または、 友だちをてきにひきわたすこと。

**えいえんに** いつも。

**えいえんのいのち** 天のお父さまのようになって、 お父さまとえいえんにいっしょにすむこと。

**えいぞくする** 終わりがないもの。えいえんにつづくこと。

**えらぶ** いくつかの中からきめること。

**おじぎ** うやまう気もちをあらわすために頭を下げる事。



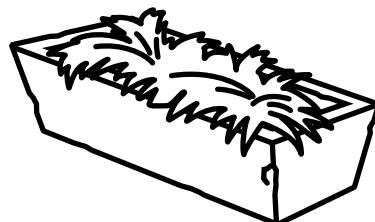
**おぼれる** 水の中に長い時間いたために、 しぬこと。

**おもいひふびょうの人** 体 中に はれものができるびょうきにかかった人。

**かいいん** 教会やそのほかのグループに入っている人。

**かいどう** ユダヤ人が神さまをれいはいするためにあつまるたてもの。

**かいばおけ** どうぶつのえさを入れるためのはこ。



**神さまの王国** この教会。または、 正しい人が死んだ後に天のお父さまといっしょにすむばしょ。

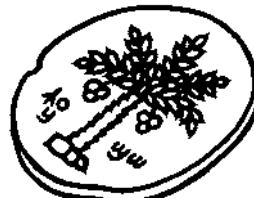
**ききん** ジゅうぶんなさくもつがそだたなかつたために食べものが定りなくなること。

**ぎせい** 大切なものを神さまや人のためにさし出すこと。

**きせき** 神さまの力によっておきるとくべつなこと。

**教会に入る** 教会のかいいいんになること。

**ぎんか** ぎんでできた、 たいらなお金。



**くいあらためる** 自分がしたことをこうかいして、 もうしないとやくそくすること。

**くるしむ** 強いいたみをかんじること。

**けいじ** 神さまがごじしんの子どもたちにおつたえになること。

**けが** 人の体がひどくきずつくこと。

**けっこんしき** だんせいとじょせいがけっこんするためのぎょうじ。

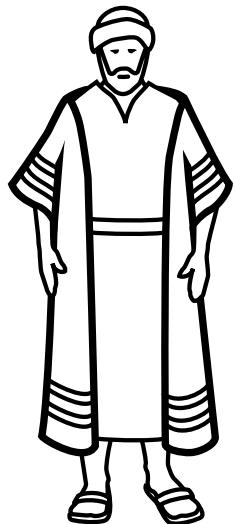
**けんのう** しんけんなどの力をつかうけんり。または、りつぽうにしたがわない人にはつをあたえるけんりをもつこと。

**ごちそう** とくべつな白に食べる、ごうかなしょくじ。

**こつにくの体** 地上の人びとがもっている体。ひふ、ほね、きんにく、ちでできている。

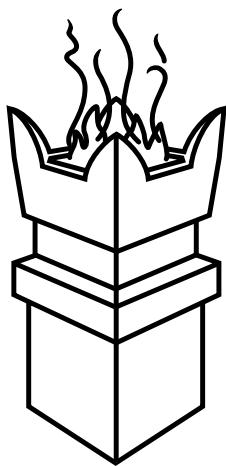
**こもん** だれかをたすけたり、じょげんしたりする人。

**ころも** きもの上につける、たれさがった、長いいふく。



**さいし** 教会のしどうしゃ。

**さいだん** イエスさまが地上で生きておられたじだい、しんでんにおかれていた、テーブルにいた形のしんせいな台。人びとはさいだんの上で神さまにいけにえをささげた。



**さいばん** ある人がほうりつをやぶったかどうかしようめいしようとすること。

**さいりん** イエスさまがもういちど地上に来て、正しい人をすくって、わるい人をほろぼされること。

**さばく** 水やしょくぶつ、どうぶつがわずかしかない土地。

**さんびか** 教会の歌、または神さまをほめたたえる歌。

**じげん** 天のお父さまがおあたえになるけいじの一つ。

**じしん** じめんが強くゆれること。

**したがう** その人と同じことをすること。

**しと** イエス・キリスト教会のしどうしゃ。しとはイエス・キリストについてあかしし、ふくいんを教える。

**しどうしゃ** 何人かの人びとをみちびいて、めんどうを見る人。

**しもべ** ほかの人または神さまにほうししたり、はたらいたりする人。

**十字かにつける** イエス・キリストがおかげになったように、十字の形をした木に人をつるしてころすこと。

**じゅうじゅん** もとめられたことやめいじられたことをすること。

**じゅうぶんの一** 教会をはってんさせるために神さまにさげるお金。

**しゅくふく** 人をなぐさめたり、いやしたりしてくださるよう天のお父さまにおねがいするとくべつないのり。このいのりは、しんけんの力によってさすけられる。神さまが下さるたすけ。

**しゅくふくする** よいものがあたえること。または人をたすけること。

**しりょぶかい** とてもかしこくて、人、ほうりつ、せいぶんをりかいしている人。また、先のことをきちんと計画できる人。

**しんけん** 神さまにかわってこうどうするためのけんのう。

**しんこう** イエス・キリストをしんじて、たよること。

**しんじる** あることがらにたいして、正しい、またはしんじつであるとかんじること。

**しんせいな** きよく、けがれのないもので、神さまがおつかいになるためにとっておかれているもの。

**しんせいなもの** 神さまからいただいたもので、うやまい、けいけんな気もちで大切にしなければならないもの。

**しんでん** 地上にある神さまのみや。神さまをれいはいするばしょ。しんせいなぎしきが行われるしんせいなばしょ。



**しんり** しんじつで正しいこと。

**すいくん** ふくいんについて人びとに教えた話。

**すぎこし** モーセのじだいに神さまがたみをエジプト人からすくい出してくださったことをおもい出すための、ユダヤ人のとくべつなまつり。

**すくい** 天のお父さまとふたたびすめるように、つみと死がとりのぞかれること。

**すぐう** きけんからたすけ出すこと。イエスさまは肉体の死とつみのきけんからわたしたちをすぐうために、なくなりました。

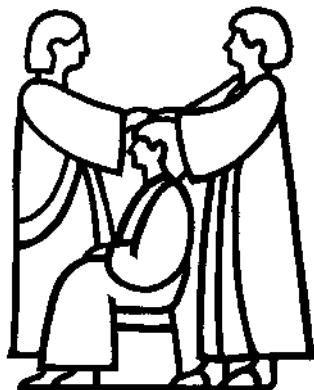
**せいきん** 人びとがせいふにおさめるお金。

**せいさん** パンと水をしゅくふくして教会のかいいんにくばるぎしき。イエス・キリストのことと、いましめをまることをおもい出させるためのもの。このぎしきはしんけんをもつだんせいによって行われる。

**せいてん** 神さまがよげんしゃを通しておっしゃったことばが書かれたしょもつ。

**せいと** イエス・キリストのまことの教会のかいいん。

**せいにんする** しんけんのけんのうをもつ人が、ほかの人あたまに手をおいてしんけんの力とけんのうをさすけること。



**せいふくする** 力ちからで国くにをうばったり、ひと人をとらえたりすること。

**せいれいにみたされる** せいれいによってその人のおもいや心がしんりでいっぱいになること。

**せいれいのたまもの** せいれいのたすけをいただくなげんり。バプテスマの後、しんけんのけんのうをもつ人によってさすけられる。

**せんきょうし** でんどうに出て行く人。外国に行くようになめされることもある。

**せんそう** てきとたかうこと。

**そしきする** イエス・キリストの教会をととのえること。

**正しい人** 神さまのいましめにしたがう人。

**たとえ** げんそくやたいせつなことを教えるための話。

**たび** 一つのばしょからべつのばしょへ行くこと。

**たまもの、おくりもの** 神さまや人からもらうよいもの。

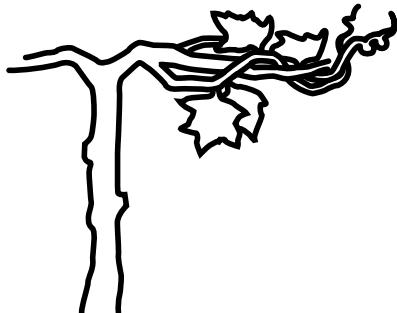
**だんじき** 食べものやのみものをとらずに、天のお父さまにしゅくふくをもとめること。

**力** 何かを行なうための力。「しんけん」も見ましょう。

**つみ** 天のお父さまのいましめにしたがわないこと。

**つみ人** 天のお父さまのいましめにしたがわない人。

**つる【ぶどうの木】** ぶどうなど、まがったえだのついた、しょくぶつのくき。つるは、えだがかれないようにする。



**でし** イエス・キリストをしんじて、イエスさまのようになろうとする人。

**天国** 天のお父さまとイエス・キリストがすんでおられるばしょ。

**てんし** 神さまからおくられる天のつかい。

**でんどう** イエス・キリストのふくいんを人びとに教えたり、地上で神さまの王国を強くしたりするために出かけて行く、とくべつなほうしの時間。

**とげ** しょくぶつのとがったぶぶん。さわるとけがをすることがある。

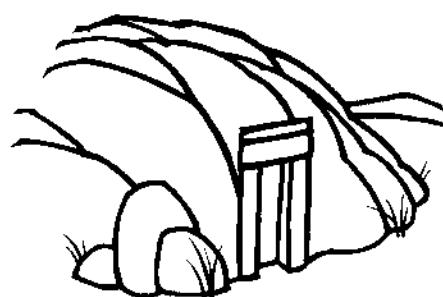
**となり人** 近くにすむ人。自分でいがいの、神さまのすべての子どもたち。

**どろぼう【ごうとう】** ひと人からものをぬすむ人。

**なまけもの** すすんではたらこうとしない人。

**ぬすむ** ほかの人のものをとること。

**はか** 死んだ人をほうむるばしょ。



**はかせたち** イエスさまがおさな子のときに東の國から会いに来た人びと。

**花むこ** けっこんする男の人。

**バプテスマ【バプテスマをほどこす】** 神さまからしんけんのけんのうをうけた人がべつの人を水にかんぜんにしずめて、ふたたび水からおこすぎしき。バプテスマはイエス・キリスト教会のかいいいんになるためにひつようです。「せいれいのたまもの」も見ましょう。

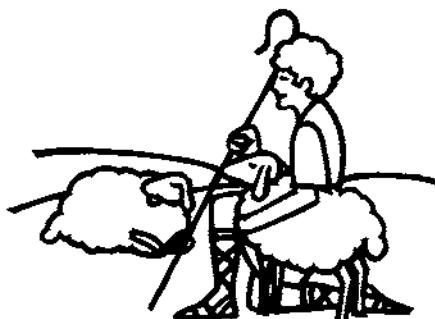


**はれもの** からだ体のぶぶんでいたみがあつたり、ちが出たりするところ。

**ひざまずく【ひざまずいた】** りょうほうのひざをじめんやゆかにつけること。



**ひつじかい** ひつじのせわをする人。

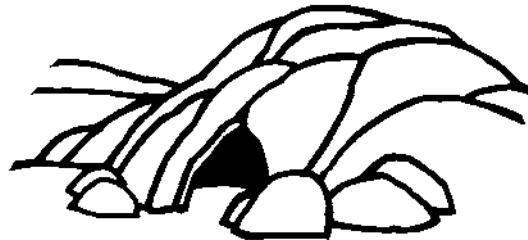


**ふくいん** 天のお父さまのもとにかえっていっしょにすむためにどのように生活すればよいかをしめす、イエス・キリストの教え。天のお父さまのすくいの計画。

**ふつかつする** 死んだ後に体とれいがまた一つに合わさること。

**ぶどうしゅ** ぶどうから作られるのみもの。

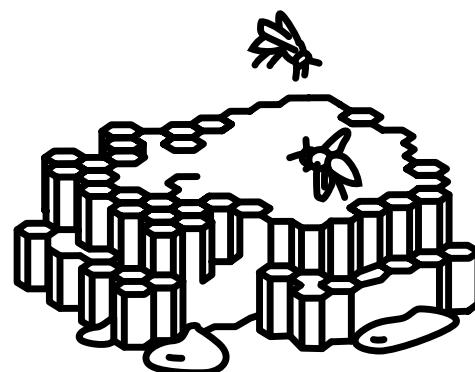
**へいし** おう王やとうちしゃのめいれいをじっこうする人。  
**へいわをつくり出す人** ひと人びとがたがいにたいしてはらを立てたりしないようにたすける人。  
**へんぼう** てん天のお父さまの前にいてもだいじょうぶなように、みじかい間だけ人のじょうたいがかわること。  
**ほうむる【うめる】** ひと死んだ人の体をほらあなに入れたり、じめんの中に入れて土でおおったりすること。かくしたいものを土の中に入れること。  
**ほめたたえる** だれかについてほめたりよいことを言つたりすること。  
**ほらあな** おかのよこにあけたあな。



**ほんやくする** ある国のことばで書いたり話したりしたこと、を、同じいみになるようにべつの国のことばにかえること。

**みちびく** ほかの人に道をしめすこと。

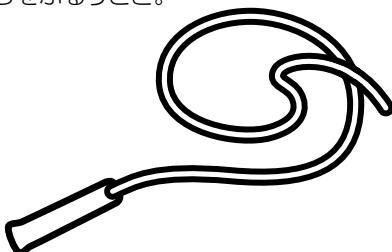
**ミツバチのす** ミツバチが作る、ろうでできたへや。ミツバチはそのろうでできたへやにはちみつをためる。



**耳がふじゅう** 耳がきこえない。

**みをむすぶ** みをつけること。

**むち【むちでうつ】** 細いひもまたはなわ。人やものをうつためにむちをふるうこと。



---

**めいじる** ひと 人またはものになにかをするようにいふこと。  
**もうもく** めみ 目が見えないこと。

**やくそく** あることをすると言ふこと。

**やど** たびをする人がしょくじをしたり、とまつたりできる  
ばしょ。

**やどやのしゅじん** やどをけいえいしているひと。

**山** 山または大きなおか

**やもめ** おっとをなくしたじよせい。

**ゆうわくする** 人に間ちがったことをさせようとするこ

**ゆるす** わるいことやひどいことをした人におこる気もちを  
なくすこと。

**よげんしゃ** かみ 神さまからめされて、神さまがたみにのぞん  
でおられることをつたえる人。

**れい** 天の父さまの子どもの中で、こつにくの体をもつ  
ていない人。

**れいはいする** かみ 神さまをほめたたえて、あいし、神さまに  
したがうこと。

**ろう** ほうりつをやぶった人びとが入れられるばしょ。

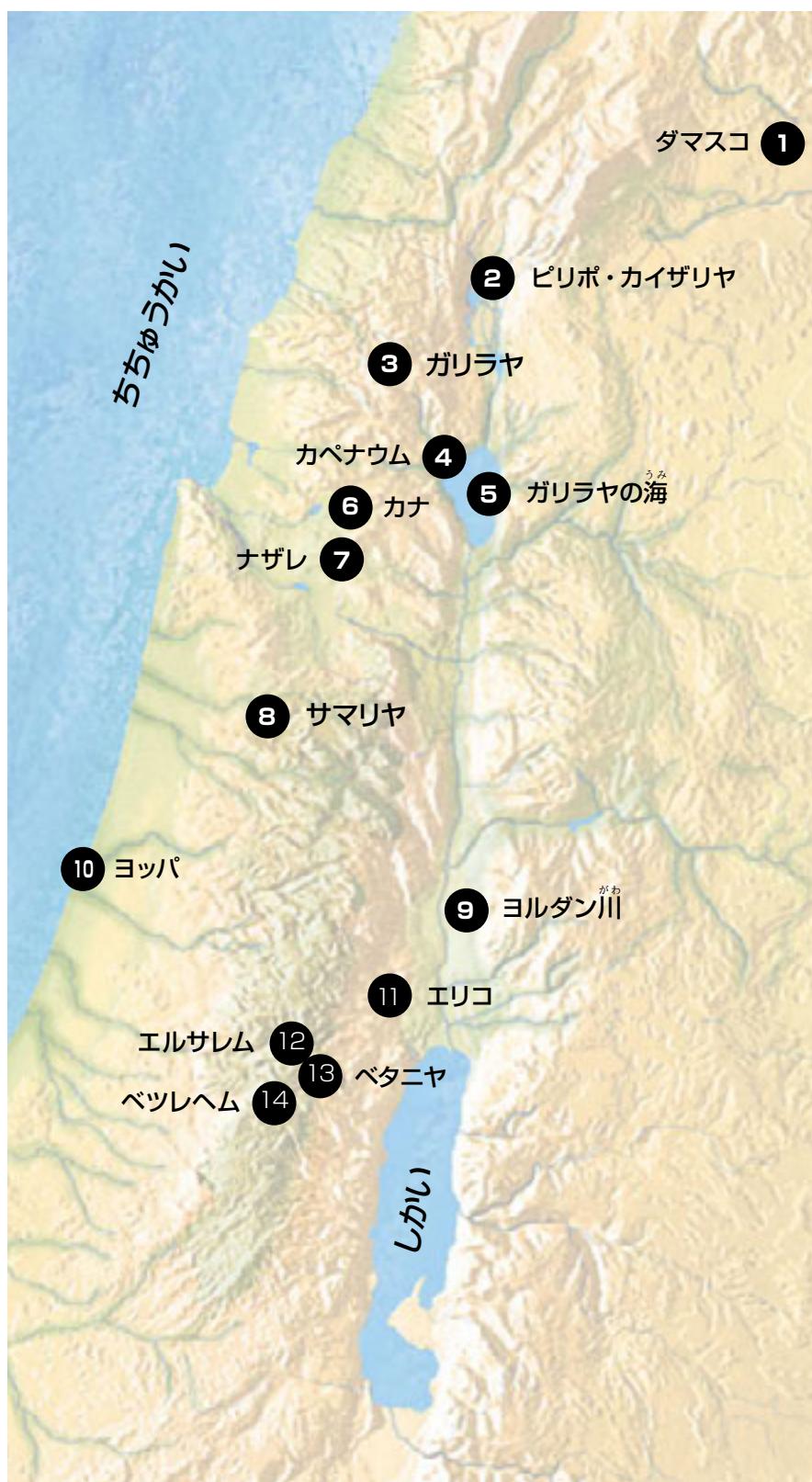
**ろうばん【ばんにん】** ろうのしゅうじんを見はる人びと。  
[人やばしょ、ものを見はる人。]

**わるい人** わるいことをしたり言ったりする人。

# 新約聖書ものがたりに出てくるばしょ

(かっこの中の数字は、そのばしょでおきたことが書かれているをあらわしています。)

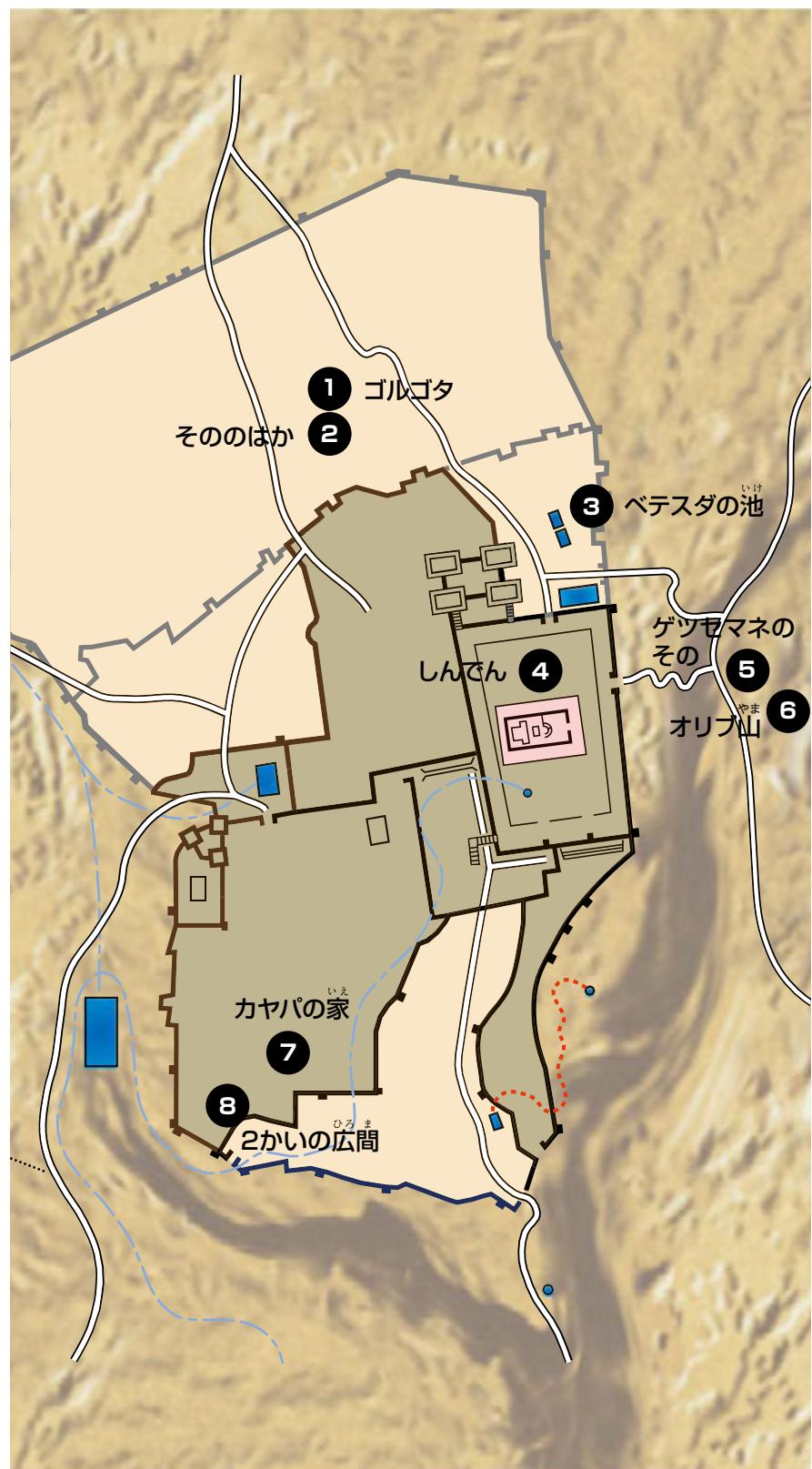
## ちず 1——新約聖書のじだいのせいち



1. ダマスコ パウロがこの町へ行くとちゅう、イエスさまがあらわれて、くいあらためるようにおっしゃいました(59)。
2. ピリポ・カイザリヤ イエスさまはここでご自分の死とふっかつについてあかしされ、ペテロはイエスさまが神のおん子であられるとあかししました(32)。
3. ガリラヤ イエスさまはこのちいきでなんどもふくいんを教えて、びょうにんをいやしたりされました(19-20, 34, 36)。
4. カペナウム イエスさまはこの町でたくさんのかせきを行われました(23-25, 30)。
5. ガリラヤの海 イエスさまはこの海の近くで大せいの人びとにふくいんをお教えになりました。ガリラヤの海であらしをしめて、水の上をお歩きになりました(18, 21, 29)。
6. カナ イエスさまはここでひらかれたけっこんしきで水をぶどうしゅにおかえになりました。カナに男がやって来て、びょうきのむすこをなおしていただきたいとイエスさまに言いました(12, 16)。
7. ナザレ イエスさまはこの町で大きくなられました(2, 4, 9, 17)。
8. サマリヤ イエスさまはこの地のいどで女に生ける水についてお教えになりました。ほとんどのユダヤ人はサマリヤ人をくんでいました(15, 58)。
9. ヨルダン川 バプテスマのヨハネはこの川でイエス・キリストにバプテスマをほどこしました(10)。
10. ヨッパ ペテロはここでタビタを生きかえさせました(60)。
11. エリコ よいサマリヤ人のたとえの中で、この町へむかう道で男がころされかけました(35)。
12. エルサレム イエスさまとでしたちはこの町でよく教えました。イエスさまはここで死に、ふっかつされました(6, 39-40, 44-57, 63)。エルサレムでおきたほかのできごとはちず2を見ましょう。
13. ベタニヤ イエスさまがよみがえられたラザロはしまいのマリヤとマルタといっしょにこの町にすんでいました(43)。
14. ベツレヘム イエス・キリストはここでお生まれになりました(5, 7)。

## ちず 2——イエスさまのじだいのエルサレム

1. ゴルゴタ イエス・キリストが十字架じゅうじかにつけられておなくなりになったばしょだとわれています(53)。
2. そののはか イエス・キリストがほうむられ、ぶっかつされ、マグダラのマリヤと語ごられたばしょではないかと言われています(53, 54)。
3. ベテスタの池いけ イエスさまはここであるそく日に男をいやされました(27)。
4. しんでん ここでてんしガブリエルは、ザカリヤにむすこが生まれるとやくそくしました。その子がバプテスマのヨハネです。イエスさまはこのしんでんでお教えになりました。いけにえのためにどうぶつを売っていた人びとをしんでんからおい出されました(1, 6, 9, 11, 13, 45, 56)。
5. ゲツセマネのそのなか このそのの中で、イエス・キリストはいのり、人のみのみのためにくるしみ、イスカリオテのユダにうらざられて、つかまえられました(51, 52)。
6. オリブ山やま イエスさまはここでさいりんについてお教えになりました(46)。
7. カヤバの家いえ ユダヤ人のしどうしゃたちがイエスさまをといただして、ほうりつをやぶったとしてせめたのはこのばしょだとわれています(52)。
8. 2かいの広間ひろま イエスさまとしとたちがすぎこしのしょくじをしたへやはこのあたりにあったと言われています。イエスさまはゲツセマネのそのにいらっしゃる少し前にしとたちにせいさんについてお教えになりました(49, 50)。



# ほかのじゅうようなばしょ

---

## アメリカたいりく

イエス・キリストはふっかつした後にアメリカたいりくのたみをおとずれて、ふくいんをお教えになりました。しゅは、アメリカの教会をみちびくために12人のでしをめされました(40)。

**エジプト** せいちイスラエルの南にある國。ヨセフはてんしから、ヘロデがおさな子イエスをころせないように、かぞくをつれてエジプトへ行くようにつけられました(8)。

**せいち** イエスさまがすんでいて、人びとを教えられた土地。ユダヤ、サマリヤ、ガリラヤはみなせいかにふくまれています(はじめに)。

**ちきゅう** わたしたちがすんでいる星。イエス・キリストがちきゅうをつくってくださいました(はじめに)。

**天国** 天のお父さまがすんでおられるばしょ(はじめに)。

**ローマ** ローマていこくのしゅと。パウロはローマのろうに入れられている間、ふくいんをお教えました(63)。

# 新約聖書ものがたりに出てくるじんぶつ

**アグリッパ** イスラエルをおさめていたローマ人の王。パウロはアグリッパにイエス・キリストについて教えました。

**アナニヤ** ダマスコにすんでいたイエス・キリストのでし。パウロがじげんを見て目が見えなくなつた後、しゆくふくしてせわをしました。

**アンナ** イエスさまがおさな子のときには、あやめ。イエスさまが神のおん子で、あがないぬしであれることを人びとに教えました。

**イエス・キリスト** 神のおん子、よのすくいぬし。人のためのためのくるしみ、おなくなりになりました。

**イザヤ** イエスさまについてきろくした旧約じだいのよげんしゃ。

**イスカリオテのユダ** イエスさまのしとの一人。ユダはぎんか30まいのためにイエスさまをわるい人びとにひきわたしました。

**エリサベツ** バプテスマのヨハネの母親。

**エリヤ** 旧約じだいのよげんしゃ。

**ガブリエル** マリヤをおとすれて、イエスさまの母親になることをつげたてんし。ガブリエルはザカリヤのもともとおとすれて、むすこをさずかることをつけました。そのむすこはのちにバプテスマのヨハネとなりました。

**神さま** 天のお父さま。イエス・キリストのことをさすこともあります。

**カヤパ** イエスさまのさいばんで、ゆうざいのはんけつにくわわったユダヤ人だいさいし。

**サウロ** 「パウロ」を見ましょう。

**ザカリヤ** バプテスマのヨハネの父親。

**サタン** 天のお父さまのれいのむすこの一人。天のお父さまにしたがわなかつたので天からおい出され、あくまとなりました。サタンは人に間ちがつたことをさせようとゆうわくします。

**サマリヤ人** イエスさまがすんでいらっしゃった地にいたたみ。ユダヤ人とサマリヤ人はふつう、おたがいをきらっていました。

**シメオン** エルサレムのしんでんでおさな子イエスを見た、正しい人。

**シモン** サマリヤ人。ペテロとヨハネからしんけんを買おうとしました。しんけんはお金で買うものではないと言われました。

**ヨセフ・スミス** ジョセフ・スミスが少年のとき、天のお父さまとイエス・キリストがおとすれられました。そのとき地上にあったどの教会にも入ってはならないとおっしゃいました。みなしんりからはなれてしまっていたからです。ジョセフ・スミスを通してイエス・キリストの教会が地上にかいふくされました。

**シラス** せんきょうし。パウロの友だち。

**すくいぬし** イエス・キリストはすくいぬしであられます。わたしたちのつみのためにくるしんでおなくなりになりました。しゆのおかげで、くいあらためる人はつみをゆるされて、えいえんに生きることができます。

**ステパン** イエス・キリスト教会の正しいしどうしゃ。パリ

サイ人にころされました。

**せいれい** 3人おられる神会のうちのお一方。イエス・キリストと天のお父さまをたすけていらっしゃいます。人がしんりを知るのをたすける力をもっておられます。れいのお方であり、こつにくの体をもっておられません。

**タビタ** ペテロが死から生きかえらせた、正しい女。

**天のお父さま** わたしたちのれいのお父さま。いのりは天のお父さまにささげます。

**ニコデモ** イエスさまがすくいぬしであられるとしんじていた、ユダヤ人のしどうしゃ。イエスさまはニコデモにバプテスマについてお教えになりました。

**パウロ** はじめ、イエスさまでのしをきらっていましたが、イエスさまにじげんでお会いしてからふくいんをうけ入れました。それからは神さまにつかえて、しととなりました。サウロともよばれています。

**バプテスマのヨハネ** イエスさまにバプテスマをほどこしたよげんしゃ。ザカリヤとエリサベツのむすこ。

**パリサイ人** ユダヤ人のしどうしゃ。ほとんどのパリサイ人はイエスさまとそのでしたちをにくんでいました。

**ペテロ** イエスさまの十二しとの一人で、イエスさまの死後は教会の大かんちょうとなりました。

**ヘロデ** イエスさまがお生まれになったとき、エルサレムをおさめていたわるい王。おさな子イエスをころすためにベツレヘムのおさな子をぜんいんころさせました。

**ポンテオ・ピラト** エルサレムのローマ人そうとく。ユダヤ人たちはピラトにイエスさまを十字かにかけるように言い、ピラトはイエスさまがころされるのをきよかしました。

**マグダラのマリヤ** イエスさまの友だちで、ふつかつされた後にイエスさまにさいしょにお会いした人。

**マッティヤ** イスカリオテのユダにかわって十二しとになったイエスさまのでし。

**マリヤ** イエスさまの母親。

**マリヤとマルタ** ラザロのしまいでイエスさまの友だち。

**メシヤ** イエス・キリストのもう一つの名前。

**モーセ** 旧約じだいのよげんしゃ。

**ヤイロ** カペナウムのユダヤ人のやくにん。イエスさまはヤイロのむすめをしからよみがえらせられました。

**ヤコブ** イエスさまの十二しとの一人。イエスさまがおなくなりになつた後、ペテロのこもんになりました。

**ユダヤ人** ユダ王国のイスラエル人。イエスさまはユダヤ人でした。

**ヨセフ** マリヤのおっと。ヨセフはイエスさまとマリヤをだいじにしていました。

**ヨハネ** イエスさまの十二しとの一人。イエスさまがおなくなりになつた後、ペテロのこもんになりました。

**ラザロ** イエスさまがしからよみがえらせられた男。

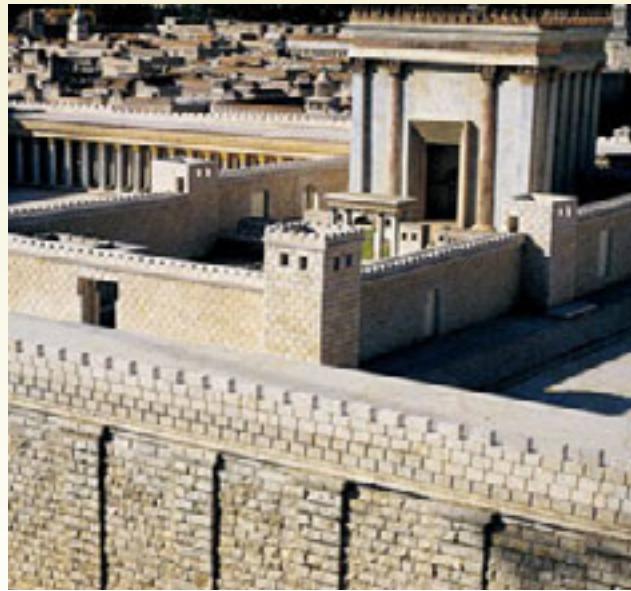
**ローマ人** イエスさまが生きておられる間、イエスさまのすんでいる地をしほいしていたたみ。

# せいのしゃしん

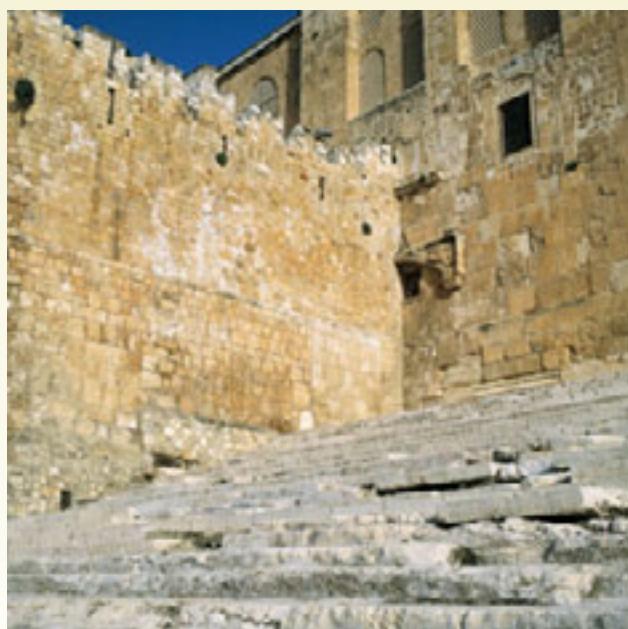
(かっこの中の数字は、そのしゃしんのばしょまたはその近くでおきたできごとのじょうをあらわしています。)



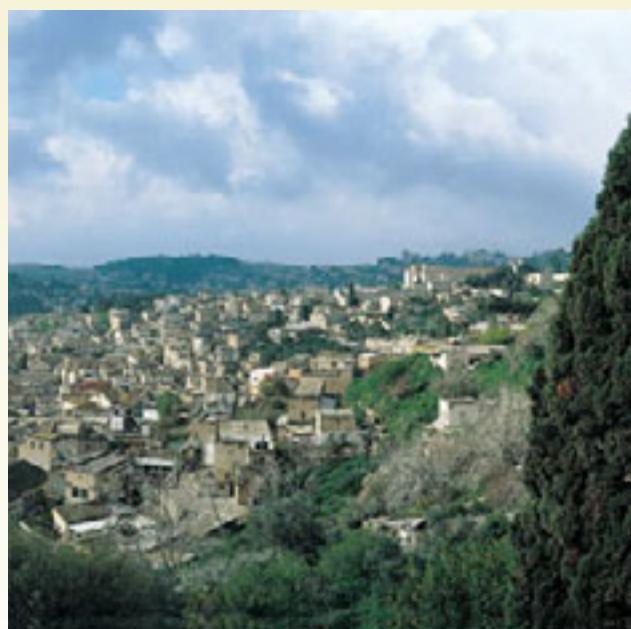
**ベツレヘム** イエス・キリストはこの町でお生まれになりました(5, 7)。



**しんでん** エルサレムのしんでんのもけい。イエスさまはここでふくいんを教えたり、いけにえのためのどうぶつを売っていた人びとをおい出したりされました(1, 6, 9, 11, 13, 45, 56)。



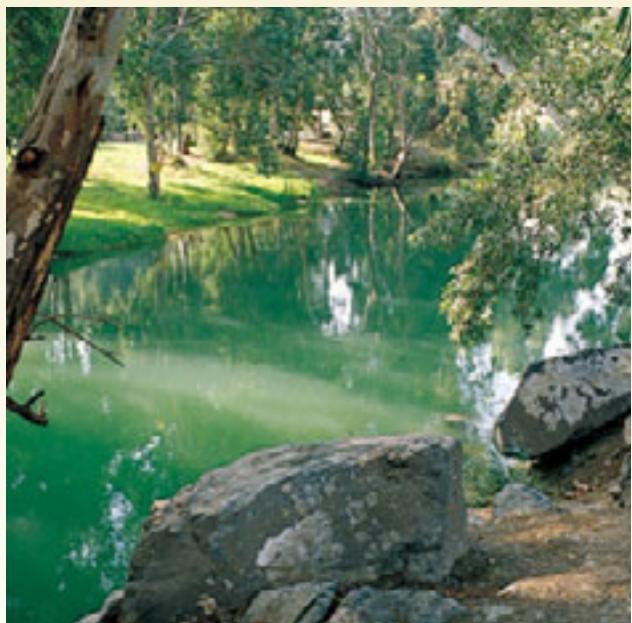
**しんでんのかいだん** じっさいにしんでんの前にあったかいだん。



**ナザレ** イエスさまはこの町でおそだちになりました(2, 4, 9, 17)。



**エルサレム** イエスさまとしとたちはよくこの町で教えました。イエスさまはここでなくなり、ふつかつされました(6, 39-40, 44-57, 63)。



**ヨルダン川** バプテスマのヨハネはこの川のどこかでイエス・キリストにバプテスマをほどこしました(10)。



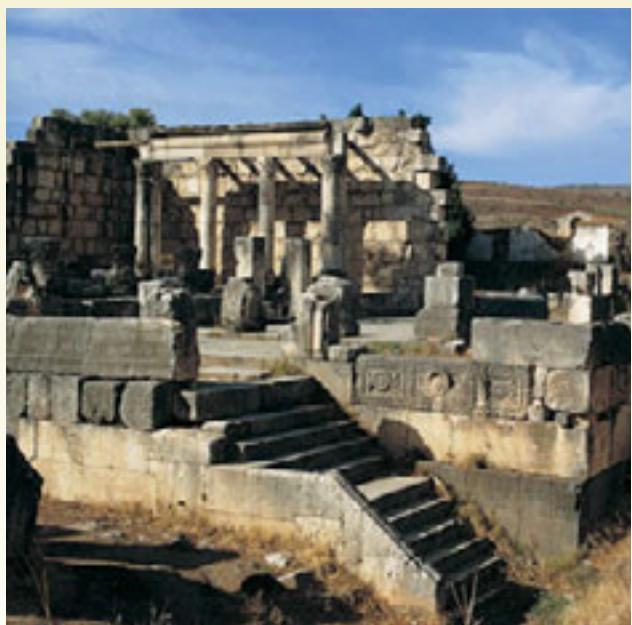
**ユダヤのあれ野** バプテスマの後、イエス・キリストはこのあれ野でだんじきし、あくまのゆうわくをおうけになりました(11)。



**サマリヤ** この地のいどで、イエスさまは女に、生ける水についてお教えになりました。ほとんどのユダヤ人はサマリヤの人びとをにくんでいました(15, 58)。



**ガリラヤとガリラヤの海** イエスさまが山上のすいくんを  
お教えになったのは、このおかの上だとしんじられています。  
後ろにガリラヤの海が見えます。イエスさまはこの近くで、  
しともふくめて、大せいの人びとにふくいんをお教えになりました。イエスさまはガリラヤの海であらしをおしすめになりました（18-22, 29, 34, 36）。



**カペナウム** このいせきはカペナウムの町の中にあります。  
イエスさまはこの町でたくさんのきせきを行われました（23-25, 30）。



**ピリポ・カイザリヤ** この地でイエスさまはご自分の死とふつかつについてあかしされ、ペテロはイエスさまが神のおん子であられるとあかししました（32）。



**エリコ** よいサマリヤ人のたとえで、男はこの町へ向かうとちゅうでころされかけました（35）。



**タボル山** イエス・キリストのへんばうがおきたばしょはこの山ではないかと言われています(33)。



**ゲツセマネのその** イエス・キリストは、このそのいのり、わたしたちのつみのためにくるしまれ、イスカリオテのユダにうらぎられ、人びとにとらえられました(51, 52)。



**ゴルゴタ** イエス・キリストが十字架でおなくなりになったばしょはここではないかと言われています(53)。



**そののはか** イエス・キリストがほうむられて、ふっかつしてマグダラのマリヤと語られたばしょは、ここではないかと言われています(53, 54)。

# 新約聖書のねんぴょう

イエスさまがお生まれになる前からきげん2年まで

きげん11年

きげん31年

きげん32年

- 1 エリサベツとザカリヤ
- 2 マリヤとてんし
- 3 バプテスマのヨハネのたんじょう
- 4 ヨセフとてんし

(きげん0-2年)

- 5 イエス・キリストのこうたん
- 6 みやまいり
- 7 はかせたち
- 8 わるいヘロデ王

9 少年イエス

10 イエス、バプテスマをおうけになる

11 イエス、ゆうわくをおうけになる

12 カナでのけつこんしき

13 イエスと天のお父さまのみや

14 ニコデモ

15 いどのそばに来た女

16 やくにんのむすこ

17 ひとびと、ナザレではらを立てる

18 イエス、しとをおえらびになる

19 山上のすいくん

20 イエス、いのりについてお教えになる

21 イエス、風となみにおめいじになる

22 あくれいにつかれた男

23 歩けなかつた男



## きげん33年

- 28 イエス、5,000人に  
たべものをおあたえ  
になる
- 29 イエス、<sup>みず</sup><sup>うえ</sup>ある  
水の上を歩か  
れる
- 30 いのちのパン
- 31 イエス、耳の聞こえな  
い男をいやされる
- 32 ペテロ、キリストにつ  
いてあかしする
- 33 えいこうをうけて、み  
すがたをあらわされる  
——しゆのへんぼう
- 34 あくれいにつかれた  
少年
- 35 よいサマリヤ人
- 36 イエス、3つのたとえ  
をお話しになる  
いなくなったひつじ  
なくなったざんか  
いなくなったむすこ
- 37 おもいひふびようにか  
かった10人の人
- 38 パリサイ人としゅせい人
- 39 イエス、もうもくの人  
をいやされる
- 40 よいひつじかい
- 41 イエス、子どもたちを  
しゅくふくされる
- 42 金もちの青年

## きげん34年

- 43 イエス、ラザロを生  
きかえらせる

すくいぬしのしょうがい  
さいごの1週間

- 44 すくいぬし、エルサレ  
ムへ上られる
- 45 やもめのレプタ
- 46 さいりん
- 47 10人のおとめ
- 48 タラント
- 49 さいしょのせいさんし  
き
- 50 さいごのばんさんで  
はな話されたそのほかの  
教え
- 51 イエス、ゲツセマネ  
のそでぐるしまれる
- 52 イエスのしれん
- 53 イエス、十字かにお  
かかりになる
- 54 イエス、よみがえられ  
る

## きげん34—70年

- 55 しとたち、<sup>きょうかい</sup>教会をみち  
びく
- 56 ペテロ、<sup>おとこ</sup>男をいやす
- 57 わるい人びと、ステバ  
ノをころす
- 58 シモンとしんけん
- 59 サウロ、イエスにつ  
いて知る
- 60 ペテロ、タビタを生き  
かえらせる
- 61 ろうに入れられたパウ  
ロとシラス
- 62 パウロ、せいれいにし  
たがう
- 63 パウロ、でんどうをお  
える











JAPANESE

4 0236618300 5  
36618300